

基本計画書

基本計画												
事項		記入欄								備考		
計画の区分		大学院の設置										
フリガナ 設置者		カッコウホジシヨ　ヨコハマショウカガクイタク 学校法人　横浜商科大学										
フリガナ 大学の名称		ヨコハマショウカガクイタクイタクイン 横浜商科大学大学院（Yokohama College of Commerce Graduate School）										
大学本部の位置		横浜市鶴見区東寺尾4丁目11番1号										
大学の目的		教育基本法及び学校教育法に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、「安んじて事を托さるる」人材を育成することを目的とする。										
新設研究科等の目的		社会・企業・組織が持つ経営上の人的、時間的なコストの問題などによりデータサイエンスの活用が十分に検討されてこなかった、検討することのできなかった規模でのビジネスの現場と高度なデータサイエンスのもたらす効能や知見を橋渡しするブリッジ人材を、建学の精神である『安んじて事と托さるる人となれ』の下、養成することを目的としています。										
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 商学部 14条の特例の実施		
	横浜商科大学大学院 商学研究科 商学専攻	年	人	年次 人	人	修士 （商学） 【Master of Arts in Commerce】	経済学関係	年　月 第　年次 令和7年4月 第1年次	横浜市鶴見区 東寺尾4丁目 11番1号			
	計	2	5	-	10							
同一設置者内における変更 状況 （定員の移行、名称の変更等）		該当なし										
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数						修了要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計							
	横浜商科大学大学院 商学研究科 商学専攻	17	科目	5	科目	0	科目	22	科目	30	単位	
研究科等の名称				専任教員					助手	専任教員以外の教員 （助手を除く）		
				教授	准教授	講師	助教	計				
新 分 設	横浜商科大学大学院 商学研究科商学専攻			8人 (8)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	1人 (1)		
	計			8人 (8)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	1人 (1)		
既 分 設	該当なし			- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
	計			- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
合　　計				8人 (8)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	1人 (1)		
職　　種				専　　属			その他		計			
事　務　職　員				32人 (32)			26人 (26)		58人 (58)			
技　術　職　員				- (-)			- (-)		- (-)			
図　書　館　職　員				1 (1)			1 (1)		2 (2)			
そ　の　他　の　職　員				- (-)			- (-)		- (-)			
指　導　補　助　者				- (-)			- (-)		- (-)			
計				33人 (33)			27人 (27)		60人 (60)			

校 地 等	区 分			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計						
	校 舎 敷 地			25,792.47㎡		0㎡		0㎡		25,792.47㎡						
	そ の 他			29,836.37㎡		0㎡		0㎡		29,836.37㎡						
	合 計			55,628.84㎡		0㎡		0㎡		55,628.84㎡						
校 舎				専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計						
				17,540.45㎡ (17,540.45㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		17,540.45㎡ (17,540.45㎡)						
講 義 室 等 ・ 新 設 研 究 科 等 の 専 任 教 員 研 究 室				講義室		実験・実習室		演習室		新 設 研 究 科 等 の 専 任 教 員 研 究 室						
				33		0室		12室		45 室						
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	大学全体で共用			
			横浜商科大学大学院 商学研究科 商学専攻		185,000〔27,000〕 (181,000〔26,000〕)	350〔 10 〕 (270〔5〕)	5,000〔3,900〕 5,000〔3,900〕	4,000〔3,900〕 4,000〔3,900〕)	4 (4)	0 (0)						
	計		185,000〔27,000〕 (181,000〔26,000〕)	350〔 10 〕 (270〔5〕)	5,000〔3,900〕 5,000〔3,900〕	4,000〔3,900〕 4,000〔3,900〕	4 (4)	0 (0)								
経 費 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見 積り	区 分		開設前年度		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次		
		教員1人当たり研究費等				150千円		150千円		－ 千円		－ 千円		－ 千円		
		共同研究費等				1000千円		1000千円		－ 千円		－ 千円		－ 千円		
		図書購入費		17561千円		17561千円		17561千円		－ 千円		－ 千円		－ 千円		
		設備購入費		0千円		1000千円		1000千円		－ 千円		－ 千円		－ 千円		
	学生1人当たり 納付金				第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次			
					710千円		610千円		－ 千円		－ 千円		－ 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要				私立大学等経常費補助金												
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称		横浜商科大学												令和6年度 入学定員増（35人）	
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号		収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地					
	商学部		年	人	年次 人	人			倍	昭和43年度	横浜市鶴見区東寺尾 4丁目11番1号					
	商学科		4	180	6	627	学士（商学）		1.27	昭和43年度						
	観光マネジメント学科		4	70	4	288	学士（商学）		0.82	平成27年度						
経営情報学科		4	80	0	320	学士（商学）		1.11	昭和49年度							
附属施設の概要			名 称：横浜商科大学地域産業研究所 目 的：地域の経済・社会・産業に関する実践的な調査研究を通じて、地域産業、 社会に貢献するとともに、その成果を本学学生及び地域の人材育成に寄 与すること 所 在 地：横浜市鶴見区東寺尾4－11－1 設置年月：平成6年5月 規 模 等：58.93㎡													

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(商学研究科商学専攻)																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員		
基礎科目		データサイエンスと商学	1前		2			○			1							
		経営とデータサイエンス	1 前		2			○			1							
		情報セキュリティ論	1前		2			○			1							
		小計（ 3科目）		—	—	6	0	0	—			3						—
データサイエンス科目	ナデ リシ タス ア	データアナリシス1	1前		2			○			1							
		データアナリシス2	1後		2			○			1							
		小計（ 2科目）		—	—	4	0	0	—			1						—
	ジデ グニ エタ リエン	プログラミング論	1前		2			○			1							
		データ処理論	1後			2			○			1						
		機械学習論	1後			2			○			1						
		小計（ 3科目）		—	—	2	4	0	—			1						—
	ンモ グデ コリ	データモデリング	1前			2		○				1						
		小計（ 1 科目）			—	—	0	2	0					1				
	価値創造科目	経営 分野	経営戦略論	1後・2前			2		○								1	
組織行動論1			1後・2前			2			○			1						
組織行動論2			2前			2			○			1						
小計（ 3科目）			—	—	0	6	0	—			1					1	—	
マー グ 分 野 ティ		マーケティングリサーチ特論	1後・2前			2		○				1	1					
		ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動	1後・2前			2			○			1						
		スポーツアナリティクス特論	1後・2前			2			○				1					
		小計（ 3科目）		—	—	0	6	0	—			1	2					—
会計 分野		会計情報論	1後・2前			2		○			1							
		経営分析論	2前			2			○			1						
小計（ 2科目）		—	—	0	4	0	—			2						—		
演習科目		演習1	1後		2				○		2	1					共同	
		演習2	2前		2				○		2	1					共同	
		演習3	2後		2				○		2	1					共同	
		研究指導（修論指導）1	2前		2				○		8	2					共同	
		研究指導（修論指導）2	2後		2				○		8	2					共同	
		小計（ 5科目）		—	—	10	0	0	—			8	2					—
合計（ 22科目）			—	—	22	22	0	—			8	2				1	—	
学位又は称号		修士（商学）			学位又は学科の分野				経済学関係									
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等									
(修了要件) 大学院に2年以上在学し、基礎科目から必修科目を6単位、データサイエンス科目から選択科目を8単位以上、価値創造科目から選択科目を6単位以上、演習科目から必修科目を10単位、合計30単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえで、本大学院が行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。 ただし、原則として年間履修登録の上限を20単位とする。									1 学年の学期区分				2期					
									1 学期の授業期間				14週					
									1 時限の授業の標準時間				100分					

教 育 課 程 等 の 概 要																
（商学部 商学科）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員	
社会力 基礎科目	社会力演習1	1・2・3・4		2				○		5	6	1				
	社会力演習2	1・2・3・4		2				○		5	6	1				
	ICTリテラシー1	1・2・3・4		2				○		4	5	2			2	
	ICTリテラシー2	1・2・3・4		2				○		4	5	2			2	
	キャリアデザイン1	2・3・4		2			○			2	2	1			1	
	キャリアデザイン2	2・3・4		2			○			2	2	1			1	
	キャリアデザイン3A	3・4			2		○			1		1				
	キャリアデザイン3B	3・4			2		○									
	キャリアデザイン3C	3・4			2		○									
	キャリアデザイン4A	3・4			2		○			1		1				
	キャリアデザイン4B	3・4			2		○									
	キャリアデザイン4C	3・4			2		○									
	English Conversation1	1・2・3・4		2			○			1	1				4	
	English Conversation2	1・2・3・4		2			○			1	1				4	
	English Conversation3	2・3・4		2			○				1				3	
	English Conversation4	2・3・4		2			○				1				3	
	小計（16科目）	—	—	20	12		—	—	—	26	30	10			20	
学部共通 科目	文学	1・2・3・4			2		○			1						
	世界史	1・2・3・4			2		○								1	
	日本史	1・2・3・4			2		○								1	
	倫理学	1・2・3・4			2		○			1						
	哲学	1・2・3・4			2		○			1						
	心理学	1・2・3・4			2		○			1	1					
	文化人類学	1・2・3・4			2		○								1	
	社会学	1・2・3・4			2		○			1						
	日本国憲法	1・2・3・4			2		○			1						
	社会心理学	1・2・3・4			2		○			1						
	環境科学	1・2・3・4			2		○				1					
	コンピュータ活用1	1・2・3・4			1				○						1	
	コンピュータ活用2	1・2・3・4			1				○						1	
	スポーツ演習	1・2・3・4			2			○			1	1			1	
	健康科学	1・2・3・4			2		○					1				
	現代社会の諸問題A	1・2・3・4			1		○									
	現代社会の諸問題B	1・2・3・4			1		○									
	中国語会話1	1・2・3・4			2		○				1					
	中国語会話2	1・2・3・4			2		○				1					
	中国語会話3	1・2・3・4			2		○				1					
	中国語会話4	1・2・3・4			2		○				1					
	総合日本語1	1・2・3・4			2		○				1					
	総合日本語2	1・2・3・4			2		○				1					
	総合日本語3	2・3・4			2		○				1					
	総合日本語4	2・3・4			2		○				1					
	国際理解A	1・2・3・4			2			○			1					
	国際理解B	1・2・3・4			2			○			1					
	国際理解C	1・2・3・4			2			○			1					
	国際理解D	1・2・3・4			2			○			1					
	特別講義A1	1・2・3・4			2		○									
	特別講義A2	2・3・4			2		○									
	特別講義A3	1・2・3・4			2		○									
	特別講義A4	1・2・3・4			2		○			1						
	小計（33科目）	—	—		62		—	—	—	8	15	2			6	

留学生必修
留学生必修
留学生必修
留学生必修

学部 共通科目	学部 基礎科目	ゼミナール1	2・3・4		2	○		13	6	2			
		ゼミナール2	2・3・4		2	○		13	6	2			
		ゼミナール3	3・4		2	○		21	7	2			
		ゼミナール4	3・4		2	○		21	7	2			
		ゼミナール5	4		2	○		17	7	3			
		ゼミナール6	4		2	○		17	7	3			
		商学基礎	1・2・3・4		2	○		1					
		経済学基礎	1・2・3・4		2	○		1	1				
		会計基礎	1・2・3・4		2	○		1		1			
	小計（9科目）		—	—	18	—	—	105	41	15			
	学部 専門科目	マーケティング1	1・2・3・4		2	○		3	1				
		経営学1	1・2・3・4		2	○		1					
		会計学1	1・2・3・4		2	○		2		1			
		民法1	1・2・3・4		2	○		1					
		労働法	1・2・3・4		2	○						1	
		社会保障論	1・2・3・4		2	○						1	
		データサイエンス入門	1・2・3・4		2	○		1					
		経営学2	2・3・4		2	○		1					
		会計学2	2・3・4		2	○		2		1			
		マクロ経済学	2・3・4		2	○		1					
		ミクロ経済学	2・3・4		2	○		1					
		商取引法	2・3・4		2	○						1	
		会社法1	2・3・4		2	○		1					
		知的財産権法	2・3・4		2	○		1				1	
		統計学	2・3・4		2	○		1					
		データサイエンスとビジネス	2・3・4		2	○		1	1				
	小計（17科目）		—	—	32	—	—	17	2	2			4
	学部 自由 選択科目	データ・ビジュアライゼーション	2・3・4		2	○							1
		ボランティア活動演習	1・2・3・4		2		○	1					
		NPOインターンシップ〔短期〕	1・2・3・4		2		○	1					
		NPOインターンシップ〔長期〕	1・2・3・4		4		○	1					
		企業インターンシップA	2・3・4		2		○			1			
		企業インターンシップB	2・3・4		2		○			1			
		英文法基礎	1・2・3・4		2	○		1					
		ビジネス英語初級	1・2・3・4		2	○			1			1	
		ビジネス英語中級	1・2・3・4		2	○			1			1	
		異文化理解と実践英語	1・2・3・4		2	○		1					
		English Conversation5	3・4		2	○			1				
		English Conversation6	3・4		2	○		1	1				
		応用日本語1	1・2・3・4	2		○		1					
		応用日本語2	1・2・3・4	2		○		1					
		応用日本語3	2・3・4	2		○		1					
		応用日本語4	2・3・4	2		○		1					
		卒業論文	4		2		○						
		横浜企業家研究	1・2・3・4		2	○		1					
		地域課題研究	1・2・3・4		4	○		2					
		特別講義A5	1・2・3・4		2	○							
		特別講義A6	1・2・3・4		2	○		1					
		特別講義A7	1・2・3・4		2	○							
		特別講義A8	1・2・3・4		2	○							
	小計（23科目）		—	—	8	42	—	14	4	2			3

商 学 科	学 科 基 本 科 目	ビジネスとAI	1・2・3・4		2	○			1					
		情報社会の倫理	1・2・3・4		2	○			2					
		商品企画とeコマース	1・2・3・4		2		○			1				
		アプリ制作	1・2・3・4		2		○			1				
		初級簿記1	1・2・3・4		2	○			1		1			
		初級簿記2	1・2・3・4		2	○					1			
		中級簿記	1・2・3・4		4	○							1	
		上級簿記	1・2・3・4		4	○							1	
		マーケティング2	2・3・4		2	○			2					
		消費者行動論	2・3・4		2	○				1				
		マーケティングリサーチ	2・3・4		2	○				1				
		流通論	2・3・4		2	○							1	
		ロジスティクス論	2・3・4		2	○			1					
		工業簿記	2・3・4		2	○			1					
		管理会計論	2・3・4		2	○					1			
		小計（ 15 科目）	—	—	34	—			7	5	3			3
	学 科 専 門 科 目	グローバルマーケティング	2・3・4		2	○			1					
		デジタルマーケティング	2・3・4		2	○			1					
		ソーシャルメディアマーケティング	2・3・4		2	○			1					
		ブランドマネジメント	2・3・4		2	○			1					
		広告論	2・3・4		2	○			1					
		商品開発論	2・3・4		2	○			1					
		国際物流論	2・3・4		2	○			1					
		保険論	2・3・4		2	○							1	
		インターネットプロモーション演習	2・3・4		2	○				1				
		モバイルアプリ開発の基礎	2・3・4		2	○				1				
		財務諸表論	2・3・4		2	○			1					
		財務諸表分析	2・3・4		2	○					1			
		会計監査論	2・3・4		2	○			1					
		税務会計	2・3・4		2	○			1					
		英文会計	2・3・4		2	○			2					
		経済史	2・3・4		2	○							1	
		民法2	2・3・4		2	○			1					
		会社法2	2・3・4		2	○			1					
		租税法1	2・3・4		2	○			1					
		租税法2	2・3・4		2	○			1					
		デザインマネジメント入門	2・3・4		2	○							1	
		商業施設デザイン	2・3・4		2	○							1	
		グラフィック&プロダクトデザイン	2・3・4		2	○				1				
		戦略的経営論	2・3・4		2	○			1					
		経営管理論	2・3・4		2	○							2	
		経営組織論	2・3・4		2	○							1	
		人的資源管理論	2・3・4		2	○			1					
		モバイルアプリ開発演習	3・4		2		○			1				
		AIアプリケーションの開発	3・4		2		○		1					
		ビッグデータ解析	3・4		2	○			1					
		グローバルビジネス論	3・4		2	○							2	
		中小企業論	3・4		2	○							1	
		経済政策	3・4		2	○			2					
		金融論	3・4		2	○			1					
		国際経済学	3・4		2	○			1					
		ユニバーサルデザイン	3・4		2	○							1	
		特別講義C1	1・2・3・4		2	○								
		特別講義C2	1・2・3・4		2	○								
		特別講義C3	1・2・3・4		2	○								
		特別講義C4	1・2・3・4		2	○								
		小計（ 40 科目）	—	—	80	—			24	4	1			11

商 学 科	学 科 自 由 選 択 科 目	会社運営の基礎	1・2・3・4		2		○			1				
		ビジネスプラン作成の基礎	1・2・3・4		2		○		1					
		会社運営の実践1	2・3・4		4			○		1				
		会社運営の実践2	2・3・4		4			○		1				
		ビジネスプランニング演習	2・3・4		4			○						
		職業指導1	3・4		2		○					1		
		職業指導2	3・4		2		○					1		
		特別講義C5	1・2・3・4		2		○							
		特別講義C6	1・2・3・4		2		○							
		特別講義C7	1・2・3・4		2		○							
		特別講義C8	1・2・3・4		2		○							
小計（ 11 科目）			—	—	28		—		1	3			2	
合 計 （ 164 科目）			—	—			—							
学位又は称号		学士（商学）			学位又は学科の分野			経済学関係						
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法								授業期間等						
学部共通科目から76単位（社会人基礎科目から24単位、総合基礎科目から10単位、学部基礎科目から18単位、学部専門科目から14単位、学部自由選択科目から10単位）、学科専門科目から48単位（学科基本科目から16単位、学科専門科目から20単位、学科自由選択科目から12単位）、合計124単位以上修得すること。なお、学科科目学科自由選択科目12単位、他学科の専門プログラム配当科目を選択することもできる。 （履修科目の登録の上限：各学期20単位・年間40単位）								1 学年の学期区分			2 期			
								1 学期の授業期間			14 週			
								1 時限の授業の標準時間			100 分			

- （注）
- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
（1）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
（2）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
（3）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 高等専門学校学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(商学部 観光マネジメント学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員		
社会力 基礎科目	社会力演習1	1・2・3・4		2				○		5	6	1					
	社会力演習2	1・2・3・4		2				○		5	6	1					
	I C Tリテラシー1	1・2・3・4		2				○		4	5	2			2		
	I C Tリテラシー2	1・2・3・4		2				○		4	5	2			2		
	キャリアデザイン1	2・3・4		2			○		2	2	1			1			
	キャリアデザイン2	2・3・4		2			○		2	2	1			1			
	キャリアデザイン3A	3・4			2		○		1		1						
	キャリアデザイン3B	3・4			2		○										
	キャリアデザイン3C	3・4			2		○										
	キャリアデザイン4A	3・4			2		○		1		1						
	キャリアデザイン4B	3・4			2		○										
	キャリアデザイン4C	3・4			2		○										
	English Conversation1	1・2・3・4		2			○		1	1				4			
	English Conversation2	1・2・3・4		2			○		1	1				4			
	English Conversation3	2・3・4		2			○			1				3			
	English Conversation4	2・3・4		2			○			1				3			
小計（ 16 科目）		—	—	20	12		—			26	30	10			20		
学部共通科目	文学	1・2・3・4			2		○			1							
	世界史	1・2・3・4			2		○								1		
	日本史	1・2・3・4			2		○								1		
	倫理学	1・2・3・4			2		○			1							
	哲学	1・2・3・4			2		○			1							
	心理学	1・2・3・4			2		○			1	1						
	文化人類学	1・2・3・4			2		○								1		
	社会学	1・2・3・4			2		○			1							
	日本国憲法	1・2・3・4			2		○			1							
	社会心理学	1・2・3・4			2		○			1							
	環境科学	1・2・3・4			2		○				1						
	コンピュータ活用1	1・2・3・4			1				○						1		
	コンピュータ活用2	1・2・3・4			1				○						1		
	スポーツ演習	1・2・3・4			2			○			1	1			1		
	健康科学	1・2・3・4			2		○					1					
	現代社会の諸問題A	1・2・3・4			1		○										
	現代社会の諸問題B	1・2・3・4			1		○										
	中国語会話1	1・2・3・4			2		○				1						
	中国語会話2	1・2・3・4			2		○				1						
	中国語会話3	1・2・3・4			2		○				1						
	中国語会話4	1・2・3・4			2		○				1						
	総合日本語1	1・2・3・4			2		○				1						
	総合日本語2	1・2・3・4			2		○				1						
	総合日本語3	2・3・4			2		○				1						
	総合日本語4	2・3・4			2		○				1						
	国際理解A	1・2・3・4			2				○			1					
	国際理解B	1・2・3・4			2				○			1					
	国際理解C	1・2・3・4			2				○			1					
	国際理解D	1・2・3・4			2				○			1					
	特別講義A1	1・2・3・4			2		○										
	特別講義A2	2・3・4			2		○										
	特別講義A3	1・2・3・4			2		○										
	特別講義A4	1・2・3・4			2		○			1							
	小計（ 33 科目）		—	—		62		—			8	15	2			6	
留学生必修 留学生必修 留学生必修 留学生必修																	

留学生必修
留学生必修
留学生必修
留学生必修

学部 基 礎 科 目	ゼミナール1	2・3・4		2	○		13	6	2			
	ゼミナール2	2・3・4		2	○		13	6	2			
	ゼミナール3	3・4		2	○		21	7	2			
	ゼミナール4	3・4		2	○		21	7	2			
	ゼミナール5	4		2	○		17	7	3			
	ゼミナール6	4		2	○		17	7	3			
	商学基礎	1・2・3・4		2	○		1					
	経済学基礎	1・2・3・4		2	○		1	1				
	会計基礎	1・2・3・4		2	○		1		1			
	小計（9科目）	—	—	18	—	—	105	41	15			
学部 専 門 科 目	マーケティング1	1・2・3・4		2	○		3	1				
	経営学1	1・2・3・4		2	○		1					
	会計学1	1・2・3・4		2	○		2		1			
	民法1	1・2・3・4		2	○		1					
	労働法	1・2・3・4		2	○						1	
	社会保障論	1・2・3・4		2	○						1	
	データサイエンス入門	1・2・3・4		2	○		1					
	経営学2	2・3・4		2	○		1					
	会計学2	2・3・4		2	○		2		1			
	マクロ経済学	2・3・4		2	○		1					
	ミクロ経済学	2・3・4		2	○		1					
	商取引法	2・3・4		2	○						1	
	会社法1	2・3・4		2	○		1					
	知的財産権法	2・3・4		2	○		1				1	
	統計学	2・3・4		2	○		1					
	データサイエンスとビジネス	2・3・4		2	○		1	1				
	小計（17科目）	—	—	32	—	—	17	2	2			4
学部 自 由 選 択 科 目	データ・ビジュアルライゼーション	2・3・4		2	○							1
	ボランティア活動演習	1・2・3・4		2		○	1					
	NPOインターンシップ〔短期〕	1・2・3・4		2		○	1					
	NPOインターンシップ〔長期〕	1・2・3・4		4		○	1					
	企業インターンシップA	2・3・4		2		○			1			
	企業インターンシップB	2・3・4		2		○			1			
	英文法基礎	1・2・3・4		2	○		1					
	ビジネス英語初級	1・2・3・4		2	○			1			1	
	ビジネス英語中級	1・2・3・4		2	○			1			1	
	異文化理解と実践英語	1・2・3・4		2	○		1					
	English Conversation5	3・4		2	○			1				
	English Conversation6	3・4		2	○		1	1				
	応用日本語1	1・2・3・4	2		○		1					
	応用日本語2	1・2・3・4	2		○		1					
	応用日本語3	2・3・4	2		○		1					
	応用日本語4	2・3・4	2		○		1					
	卒業論文	4		2		○						
	横浜企業家研究	1・2・3・4		2	○		1					
	地域課題研究	1・2・3・4		4	○		2					
	特別講義A5	1・2・3・4		2	○							
	特別講義A6	1・2・3・4		2	○		1					
	特別講義A7	1・2・3・4		2	○							
	特別講義A8	1・2・3・4		2	○							
	小計（23科目）	—	—	8	42	—	14	4	2			3
学 科 基 本 科 目	観光学	1・2・3・4		2	○		1					
	観光マネジメント	1・2・3・4		2	○		1					
	横浜の観光計画と課題	1・2・3・4		2	○			1				
	横浜リサーチツアー	1・2・3・4		2	○			1				
	観光情報の作成と発信	1・2・3・4		2	○						1	
	観光ビジネスイングリッシュ	1・2・3・4		2	○						1	
	グローバル時代の観光市場	2・3・4	2		○			1				
	ホスピタリティ・マーケティング	2・3・4	2		○		1					
	宿泊ビジネス基礎	2・3・4		2	○						1	
	旅行ビジネス基礎	2・3・4		2	○						1	
	観光交通ビジネス基礎	2・3・4		2	○		1					
	フードビジネス基礎	2・3・4		2	○		1					
	小計（12科目）	—	—	8	16	—	5	3				4

観光マネジメント学科	学科専門科目	観光資源論	2・3・4		2		○			2							
		観光文化論	2・3・4		2		○			1							
		観光行動論	2・3・4		2		○			1							
		観光産業の異文化マネジメント	2・3・4		2		○									1	
		観光産業のリスクマネジメント	2・3・4		2		○			1							
		持続可能な観光政策	2・3・4		2		○			1							
		コンテンツツーリズム	2・3・4		2		○			1							
		ホテルマネジメント	2・3・4		2		○				1						
		料飲店のマネジメント	2・3・4		2		○			1							
		MICEビジネス	2・3・4		2		○										
		イベントビジネス	2・3・4		2		○									2	
		航空サービスと空港のマネジメント	2・3・4		2		○									1	
		レジャー施設のマネジメント	2・3・4		2		○									1	
		観光まちづくり	2・3・4		2		○				1						
		観光地のブランディング	2・3・4		2		○									1	
		コミュニティデザイン	2・3・4		2		○									1	
		外国人観光客がわかる日本語表現	2・3・4		2		○									1	
		横浜中華街の世界	2・3・4		2		○				1						
		横浜・野毛の商いと文化	2・3・4		2		○				1						
		鶴見観光まちづくりの実践	2・3・4		2		○				1						
		日本の古美術と伝統行事	2・3・4		2		○				1						
		観光実務演習（エアラインの経営）	2・3・4		2			○								1	
		観光実務演習（カフェの経営1）	2・3・4		4			○									
		観光実務演習（カフェの経営2）	2・3・4		4			○									
		観光商品企画演習（宿泊業と旅行業）	3・4		2			○								1	
		観光商品企画演習（旅行業）	3・4		2			○								1	
		観光地企画演習（国内と海外）	3・4		2			○				1					
		観光地企画演習（海外）	3・4		2			○				1					
		特別講義T1	1・2・3・4		2			○									
		特別講義T2	1・2・3・4		2			○									
		特別講義T3	1・2・3・4		2			○									
		特別講義T4	1・2・3・4		2			○									
		小計（ 32 科目）			—	—	68		—			12	4				11
学科自由選択科目	ビジネスプラン作成の基礎	1・2・3・4		2			○			1							
	ビジネスプランニング演習	2・3・4		4				○									
	特別講義T5	1・2・3・4		2			○										
	特別講義T6	1・2・3・4		2			○										
	特別講義T7	1・2・3・4		2			○										
	特別講義T8	1・2・3・4		2			○										
	小計（ 6 科目）	—	—	14		—			1								
合計（ 164 科目）			—	—				—									
学位又は称号		学士（商学）			学位又は学科の分野				経済学関係								
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等									
学部共通科目から76単位（社会人基礎科目から24単位、総合基礎科目から10単位、学部基礎科目から18単位、学部専門科目から14単位、学部自由選択科目から10単位）、学科専門科目から48単位（学科基本科目から指定の科目8単位を含む16単位、学科専門科目から20単位、学科自由選択科目から12単位）、合計124単位以上修得すること。なお、学科科目学科自由選択科目12単位、他学科の専門プログラム配当科目を選択することもできる。 （履修科目の登録の上限：各学期20単位・年間40単位）								1 学年の学期区分				2 期					
								1 学期の授業期間				14 週					
								1 時限の授業の標準時間				100 分					

（注）

- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校等の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課

程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。

- (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

留学生必修
留学生必修
留学生必修
留学生必修

学部 基 礎 科 目	ゼミナール1	2・3・4			2		○			13	6	2			
	ゼミナール2	2・3・4			2		○			13	6	2			
	ゼミナール3	3・4			2		○			21	7	2			
	ゼミナール4	3・4			2		○			21	7	2			
	ゼミナール5	4			2		○			17	7	3			
	ゼミナール6	4			2		○			17	7	3			
	商学基礎	1・2・3・4			2		○			1					
	経済学基礎	1・2・3・4			2		○			1	1				
	会計基礎	1・2・3・4			2		○			1		1			
	小計（9科目）	—	—		18		—			105	41	15			
学部 専 門 科 目	マーケティング1	1・2・3・4			2		○			3	1				
	経営学1	1・2・3・4			2		○			1					
	会計学1	1・2・3・4			2		○			2		1			
	民法1	1・2・3・4			2		○			1					
	労働法	1・2・3・4			2		○							1	
	社会保障論	1・2・3・4			2		○							1	
	データサイエンス入門	1・2・3・4			2		○			1					
	経営学2	2・3・4			2		○			1					
	会計学2	2・3・4			2		○			2		1			
	マクロ経済学	2・3・4			2		○			1					
	ミクロ経済学	2・3・4			2		○			1					
	商取引法	2・3・4			2		○							1	
	会社法1	2・3・4			2		○			1					
	知的財産権法	2・3・4			2		○			1				1	
	統計学	2・3・4			2		○			1					
	データサイエンスとビジネス	2・3・4			2		○			1	1				
	小計（17科目）	—	—		32		—			17	2	2			4
学部 自 由 選 択 科 目	データ・ビジュアライゼーション	2・3・4			2		○								1
	ボランティア活動演習	1・2・3・4			2			○		1					
	NPOインターンシップ〔短期〕	1・2・3・4			2			○		1					
	NPOインターンシップ〔長期〕	1・2・3・4			4			○		1					
	企業インターンシップA	2・3・4			2			○				1			
	企業インターンシップB	2・3・4			2			○				1			
	英文法基礎	1・2・3・4			2		○			1					
	ビジネス英語初級	1・2・3・4			2		○				1				1
	ビジネス英語中級	1・2・3・4			2		○				1				1
	異文化理解と実践英語	1・2・3・4			2		○			1					
	English Conversation5	3・4			2		○				1				
	English Conversation6	3・4			2		○			1	1				
	応用日本語1	1・2・3・4		2			○			1					
	応用日本語2	1・2・3・4		2			○			1					
	応用日本語3	2・3・4		2			○			1					
	応用日本語4	2・3・4		2			○			1					
	卒業論文	4			2			○		17	7	3			
	横浜企業家研究	1・2・3・4			2		○			1					
	地域課題研究	1・2・3・4			4		○			2					
	特別講義A5	1・2・3・4			2		○								
	特別講義A6	1・2・3・4			2		○			1					
	特別講義A7	1・2・3・4			2		○								
	特別講義A8	1・2・3・4			2		○								
	小計（23科目）	—	—	8	42		—			31	11	5			3

商 学 科	学 科 自 由 選 択 科 目	会社運営の基礎	1・2・3・4	2	○			1					
		ビジネスプラン作成の基礎	1・2・3・4	2	○			1					
		会社運営の実践1	2・3・4	4		○			1				
		会社運営の実践2	2・3・4	4		○			1				
		ビジネスプランニング演習	2・3・4	4		○							
		健康運動演習（エアロビクス）	2・3・4	2		○			1				
		健康運動演習（水泳）	2・3・4	2		○					1		
		健康運動演習（レジスタンス運動）	2・3・4	2		○			1				
		健康運動演習（ウォーキング・ジョギング）	2・3・4	2		○			1				
		体力測定評価法	3・4	2	○				1				
		トレーニング論	3・4	2	○				1				
		特別講義M5	1・2・3・4	2	○								
		特別講義M6	1・2・3・4	2	○								
		特別講義M7	1・2・3・4	2	○								
		特別講義M8	1・2・3・4	2	○								
		小計（ 6 科目）	—	—	36	—		1					1
合 計（ 164 科目）			—	—									
学位又は称号		学士（商学）			学位又は学科の分野			経済学関係					
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法							授業期間等						
学部共通科目から16単位（社会人基礎科目から24単位、総合基礎科目から10単位（スポーツマネジメントコースは14単位）、学部基礎科目から18単位、学部専門科目から14単位、学部自由選択科目から10単位）、学科専門科目から48単位（学科基本科目から指定の科目8単位を含む16単位（スポーツマネジメントコースは指定の科目4単位を含む12単位）、学科専門科目から20単位、学科自由選択科目から12単位）、合計124単位以上修得すること。なお、学科科目学科自由選択科目12単位、他学科の専門プログラム配当科目を選択することもできる。 （履修科目の登録の上限：各学期20単位・年間40単位）							1 学年の学期区分			2 期			
							1 学期の授業期間			14 週			
							1 時限の授業の標準時間			100 分			

- (注)
- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

授業科目の概要				
(商学研究科商学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎科目	データサイエンスと商学		本講義では、データサイエンス全般の解説を行うとともに、統計学の基礎を講義する。前半では、商学におけるデータサイエンス全般について説明した後、本学における講義内容をひとつずつ俯瞰し、なにが学べるのかを教える。ついでデータサイエンスで共通した基盤となる統計学の基礎知識を分布関数、独立性、検定などの基本概念を中心に講義し、演習を行う。なお、最後に修士論文としてどのような方向を考えているかを発表してもらい、修士論文作成に向けてのオリエンテーションを行う。	講義20時間 演習10時間
	経営とデータサイエンス		本講義の目的は、ディプロマポリシーにある「社会・産業・企業が持つ経営上のあるいは社会的な課題を見出す能力」を身に付けることである。経営学（経営管理論）は、学修上は大きく「戦略」と「組織」の二つに分けて考えられる。まずは、戦略論・組織論の基本的・伝統的理論を体系的に学び、その上で、事例を活用し、近時の産業・企業等がかかえる経営上の課題を具体的に理解する。本研究科の中心的テーマである課題解決にあたり「データサイエンスから導出される知見を活用し実践的で効果的な方策」を見出している事例等も紹介する。学生は、修士論文の題材選択の一助とすることができる。本講義の後に「経営戦略論」「組織行動論」等の価値創造科目を履修することで、より具体的にデータを活用して、課題を解決する能力を身に付けることが出来る。	
	情報セキュリティ論		本講義は、情報セキュリティと情報倫理に関する重要なテーマについて議論する。データを取り扱う上で情報セキュリティや情報倫理の知識は不可欠である。講義では、リスクと脅威、暗号と認証によるセキュリティ技術、個人情報保護や著作権保護などについて学ぶ。本講義の受講生は、データサイエンスにおける情報セキュリティの重要性を認識し、データを適切に活用できるようになることを目指す。授業計画は以下の通りである。第1～3回はセキュリティの基礎、第4～8回は暗号と認証の仕組み、第9～13回は情報倫理の重要な概念、第14回は今後の課題を扱う。	
データサイエンス科目	データアナリシス1		データサイエンスで使う統計分析の手法について講義する。本講義では、回帰分析を中心に基本的な推定モデルの原理を学習する。不偏性・効率性・一致性などの概念で推定とはどういうことか、また、検定とは何を調べているのか、などを学ぶ。説明変数が複数あるときの対処法、交絡への対処、定性的変数の扱い、構造変化、不均一分散、系列相関などを学ぶ。統計ソフトはRを使う予定である。2回に1回は演習を行い、コードを書く。演習では実際の売り上げデータなどを使って統計分析の課題を解いていく。理論で学習した統計手法を実際のデータにすぐに適用し、Rのコードを書くところまで到達することで実践的な分析能力を身に付ける。	講義15時間 演習15時間
	データアナリシス2		本講義では、より実践的な状況での分析手法を学ぶ。取り上げるのは、サンプリングバイアスの問題と対処方法、パネル分析、因果判定のための実験的方法とDifference-in-Difference、時系列分析とグレンジャー因果、ロジット回帰とコンジョイント分析である。サンプリングバイアスは実際に扱うデータは不可避免的に発生する問題で必須である。また因果関係は経営側による介入が効果を上げているかの判定には必須となる。やはり、2回に1回は演習を行い、コードを書く。理論で学習した統計手法を実際のデータにすぐに適用し、Rのコードを書くところまで到達することで実践的な分析能力を身に付ける。	講義15時間 演習15時間
	プログラミング論		企業経営において、活動に関わる様々なデータが存在するが、これらのデータを用い機械学習などを行うにはプログラミングが必要となる。プログラミング言語の実装においては、データサイエンスや機械学習に関連するさまざまなライブラリが用意されている。これらのライブラリやモジュールを使うためには適切にデータ処理を行い、ライブラリやモジュールが要求する形式に変換する必要がある。本講義では、Pythonを対象とし、データサイエンスや機械学習で必要となるプログラミング力を身につけ、それらで要求されるデータ構造を理解することを目的とする。	講義10時間 演習20時間

データサイエンス科目	データエンジニアリング科目	データ処理論		データサイエンスを用いて社会課題を解決するには、様々なデータを扱う必要がある。データ収集を行う方法として、自身でデータを集める方法や公開データを活用する方法などが考えられる。本講義は、必要なデータを収集する方法を理解し、得られたデータについての適切な処理と解析方法を身につけることが目的である。	講義10時間 演習20時間
		機械学習論		与えられたデータからの機械学習は、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題の解決に、もはや不可欠なものとなりつつある。本講義では、演習を通じて、機械学習を用いた、経営上の課題や社会的課題の解決ができる力を身につけることを目的とする。授業計画は次の通りである。第1回は授業の目的や到達目標などについて理解した上で、データサイエンスにより社会にどのような変化が起きているかについて学ぶ。第2回と第3回で、データサイエンスを用いた社会的課題の発見、データサイエンスの役割・活用現場の特徴、課題解決のためのデータ収集方法について学ぶ。第4回は教師あり学習と教師なし学習を中心に機械学習の概要と手順を学ぶ。第5～6回は機械学習の基礎となるプログラミングを扱う。第7回は課題解決のためのクラスタリングと次元削減のプログラミングを学ぶ。第8回～12回まででディープラーニングを用いた問題解決のためのプログラミングを学び、経営上の課題・社会課題の解決力を身につける。第13～14回では社会課題で自然言語処理が必要な場合についてのプログラミングについて学び、課題解決力を養う。	講義20時間 演習10時間
		データモデリング		本講義は、企業のマーケティング実務におけるデータサイエンスの適用方法についての理解を深めていく。 具体的には、マーケティング実務におけるデータサイエンスの適用事例をケースとして紹介すると共に、デモデータを用いて実際に学んでいくことを目標とする。	
価値創造科目	経営分野	経営戦略論		本講義の目的は、基本科目「経営とデータサイエンス」等で学んだ「社会・産業・企業が持つ経営上のあるいは社会的な課題を見出す能力」を起点に、「データサイエンスに関する汎用的な知識とスキル」を活用し、本研究科の中心的テーマである「経営上のあるいは社会的な課題の解決策を導出する方策」を理解すること。戦略論の基本理論・事例に加え、特に「データサイエンスから導出される知見を活用して方策」を導出する事例は詳細に分析する。学生が関心を有するテーマについて、データを活用し、問題解決策導出過程を、プレゼンするという講義も取り入れたい。更に、データドリブン経営、DXという概念が、経営に与える影響についても触れる。学生は、修了後、データ社会の中で、自身がどのような社会的使命を帯び、役割・位置づけを得るかも理解することが出来る。	
		組織行動論1		本講義は、組織の中の個人や集団の態度・行動のメカニズムと関連する様々な成果について産業・組織心理学、人的資源管理論、社会心理学などの知見をもとに体系的に理解した上で、組織の目標達成に向けた戦略的なマネジメント方法を探求することを目的とする。本講義では、主に、メゾ・レベルの観点からリーダーシップ論、公正理論に焦点を当て、組織の中の個人や集団の組織・態度のメカニズムについての理論や概念を修得すると共に、研究方法（主に量的なデータ分析）を学ぶこととする。	
		組織行動論2		本講義は、組織の中の個人や集団の態度・行動のメカニズムと関連する様々な成果について産業・組織心理学、人的資源管理論、社会心理学などの知見をもとに体系的に理解した上で、組織の目標達成に向けた戦略的なマネジメント方法を探求することを目的とする。本講義では組織行動について、主にミクロ・レベルの観点から従業員の人的資本・社会関係資本・心理的資本に焦点を当て、それらと従業員の態度・行動・成果との関連についての理論や概念を修得すると共に、研究方法（主に量的なデータ分析）を学ぶこととする。	

価値創造科目	マーケティング分野	マーケティングリサーチ特論		本講義は、企業のマーケティング実務におけるマーケティングリサーチの役割や方法論の理解を深めていく。 具体的には、マーケティングリサーチの理論的な方法論を説明したのちに、実際に受講生で調査票作成やレポート作成を演習形式で学んでいく。 データサイエンス領域における本講義の位置づけは、データ収集の方法や実務への活用を理解していくことを目指す。	
		ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動		本講義では、今日の企業経営におけるソーシャルメディアを活用したマーケティングの重要性をふまえ、デジタルを前提とした消費者行動を理解することによって企業の経営上の課題を把握する能力を身に付ける。そして、購買行動モデルにもとづいて適切なコンテンツを設計し、インサイトデータ分析をもとに施策の効果を検証し改善を行うことを通じて、デジタルを効果的に活用しながら経営上の課題を具体的に解決するためのマーケティング能力を身に付けることを目的とする。	
		スポーツアナリティクス特論		本講義は、スポーツにおけるデータの収集・分析・活用のプロセスを体系的に学び、経営・マーケティングとの共通理解を深めることを目的とする。本講義で扱うスポーツアナリティクスは、収集・蓄積されたデータの分析から得られた情報を、目的に応じて活用することである。近年の企業経営・マーケティングと同様に、スポーツの現場でも、コーチやプレイヤーの勘や経験に基づく主観的な意思決定に加えて、データや情報に基づく合理的な意思決定との融合が重要とされている。本講義を通して、スポーツ現場におけるデータサイエンスと経営・マーケティングの結びつき議論し理解を深める。	
	会計分野	会計情報論		本講義は、会計情報の機能について種々の面において考える。説明責任の意義について考え、会計情報の利害調整機能および意思決定支援機能の捉え方について考える。如上の論点を通じて会計学に固有の論理を知り、その意義を理解する。とりわけ経済学的な考え方と会計学的な考え方の異同を理解する。会計情報論を材料として事物の論理的な整理および説明の意味を理解する。	
		経営分析論		本講義は、①～③のスキルを身に付けることを目的としている。①財務データを収集し分析するスキルを身に付ける。具体的な方法としては、有価証券報告書に記載されている財務諸表について、収益性、安全性、効率性、成長性などの視点から業種別に分析する。このときに、業種ごとに公表されている財務指標との比較検討を行う。②調査した結果をまとめ、プレゼンテーションするスキルを身に付ける（①の結果をPowerPoint資料にまとめ、マイクを持って人前で話す報告会を実施する。）③ディベートをするスキルを身に付ける。具体的には、大学院生同士でディベートをするだけでなく、企業経営者をお招きし、ともにディベートを行う。	
	演習科目	演習1		本演習は、秋学期に開講され、1年生が履修する。学生は修士論文に向けて学士課程での卒業論文を発展させるための報告をするか、あるいは指導教員が提示する重要論文を報告してもらう。自分の研究テーマを見つけるヒントを得ることが目的である。学生の関心の幅が広いことにそなえて3人の教員が担当し、必要な指導を行う。	共同
		演習2		本演習は、春学期に開講され、修士2年の学生が自らの関心にそって選んだ論文を読んで議論をし、自分の研究テーマの構想を作成する。学生は論文を選び、熟読の上で担当教員並びに他の学生と討議する。また学生は自分の研究テーマの構想を発表し、皆で討議し、必要なアドバイスを受ける。データ収集まで到達して分析を開始するところまで達することを目的とする。3人の教員が担当する。	共同
		演習3		本演習は、秋学期に開講され、2年生が履修する。学生には、実用的なデータ収集のアドバイスを与え、さらに発展的な関連文献の購読をさせて、知見を深めてもらう。また、修士論文の中間報告をしてもらい、討議してはアドバイスを受ける。修士論文自体は研究指導として担当教員から指導されているが、演習3はこれを公開で議論することで学生に第三者からの幅広い見地から助言を与え、論文の完成度を高めることが目的である。3人の教員が担当する。	共同

演習科目	研究指導（修論指導）1	本研究指導は、修士論文の指導を行う。春学期においては、設定されたテーマにそって先行論文のサーベイと必要なデータの探索・収集を行う。指導教員は読むべき論文の指示と、データ探索・収集の上での助言を行う。途中段階で演習等で構想を報告してコメントをもらう。データの利用可能性に難があることが分かった場合は、テーマ設定の見直しがありうる。見直しは早い段階で行うことが望ましく、指導教員はよく注意を払い学生を指導する。 ①. 田中 辰雄 統計分析の専門家として、データ分析の実務についての指導を担当する。学生が回帰分析、時系列分析、パネル分析、ロジット回帰、因果判定など統計的手法を使う場合、これを研究指導する。 ②. 浮田 善文 AIと情報処理の専門家として、AIを利用した分析を担当する。企業のAI利用の調査あるいはAIを使ったマーケティングなどについての調査・分析を行う時、これを研究指導する。 3. 友岡 賛 会計理論の専門家として企業会計の分析を担当する。企業会計そのものの含意や読み解きなどが必要な時、これを研究指導する。 4. 原 郁代 会計実務の専門家とし財務分析の指導を担当する。企業財務で出てくる様々な指標を使った調査・分析を行う場合、これを研究指導する。 5. 平井 友行 経営戦略論の専門家として経営戦略に関わる修士論文を研究指導する。出資や提携、製品開発など企業戦略に関わる分析を行う場合、これを研究指導する。 6. 松嶋 智子 情報セキュリティの専門家としてセキュリティ関連の問題を担当する。学生がデータセキュリティに関する調査・研究を行うとき、また調査自体がセキュリティの問題をはらむとき、必要な研究指導を行う。 7. 諸上 詩帆 企業組織論の専門家として、企業内での組織に関わる問題を担当する。学生が組織内の昇進や人事、人材配置などに関わる調査・分析を行う場合、これを研究指導する。 8. 柳田 義継 プログラミングとマーケティングの専門家として、マーケティングにおけるプログラミング技術の指導を担当する。学生がスマホ等を使ってマーケティング研究を試みる時、これを研究指導する。 10. 洪瀬 雅彦 経営とマーケティングの専門家として、マーケティングに関するテーマ全般を担当する。学生がデータを使ったマーケティングをテーマにとりあげる場合、これを研究指導する。 11. 永野 智久 スポーツマネジメントの専門家として、スポーツに関するデータ分析全般を担当する。スポーツ自体でのデータ利用あるいはスポーツビジネスでのデータ利用を調査分析する場合、これを研究指導する。	共同
演習科目	研究指導（修論指導）2	本研究指導は、引き続き修士論文の指導を行い、修士論文として完成させる。データ収集を続けるとともに得られたデータについて、指導教員の監督のもとに分析を繰り返し、修士論文を仕上げていく。途中に演習で中間報告を行い第三者からの批判・コメントを受ける。指導教員は論文の構成や表現にまで踏み込んで指導行い、修士論文の完成度をあげていく。 ①. 田中 辰雄 統計分析の専門家として、データ分析の実務についての指導を担当する。学生が回帰分析、時系列分析、パネル分析、ロジット回帰、因果判定など統計的手法を使う場合、これを研究指導する。 ②. 浮田 善文 AIと情報処理の専門家として、AIを利用した分析を担当する。企業のAI利用の調査あるいはAIを使ったマーケティングなどについての調査・分析を行う時、これを研究指導する。 3. 友岡 賛 会計理論の専門家として企業会計の分析を担当する。企業会計そのものの含意や読み解きなどが必要な時、これを研究指導する。 4. 原 郁代 会計実務の専門家とし財務分析の指導を担当する。企業財務で出てくる様々な指標を使った調査・分析を行う場合、これを研究指導する。 5. 平井 友行 経営戦略論の専門家として経営戦略に関わる修士論文を研究指導する。出資や提携、製品開発など企業戦略に関わる分析を行う場合、これを研究指導する。 6. 松嶋 智子 情報セキュリティの専門家としてセキュリティ関連の問題を担当する。学生がデータセキュリティに関する調査・研究を行うとき、また調査自体がセキュリティの問題をはらむとき、必要な研究指導を行う。	共同

			7. 諸上 詩帆 企業組織論の専門家として、企業内での組織に関わる問題を担当する。学生が組織内の昇進や人事、人材配置などに関わる調査・分析を行う場合、これを研究指導する。 8. 柳田 義継 プログラミングとマーケティングの専門家として、マーケティングにおけるプログラミング技術の指導を担当する。学生がスマホ等を使ってマーケティング研究を試みる時、これを研究指導する。 10. 洪瀬 雅彦 経営とマーケティングの専門家として、マーケティングに関するテーマ全般を担当する。学生がデータを使ったマーケティングをテーマにとりあげる場合、これを研究指導する。 11. 永野 智久 スポーツマネジメントの専門家として、スポーツに関するデータ分析全般を担当する。スポーツ自体でのデータ利用あるいはスポーツビジネスでのデータ利用を調査分析する場合、これを研究指導する。	
--	--	--	--	--

学校法人横浜商科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
横浜商科大学				横浜商科大学				
商学部		3年次		商学部		3年次		
商学科	180	6	732	商学科	180	6	732	
		3年次				3年次		
観光マネジメント学科	70	4	288	観光マネジメント学科	70	4	288	
経営情報学科	80	-	320	経営情報学科	80	-	320	
計	330	10	1,340	計	330	10	1,340	
				横浜商科大学大学院				
				商学研究科				
				商学専攻	5	-	10	大学院新設（認可申請）
				計	5	-	10	

設置の趣旨等を記載した書類（本文）

目 次

1 設置の趣旨及び必要性	2
2 修士課程までの構想か、又は、博士課程の設置を目指した構想か	11
3 研究科、専攻等の名称及び学位の名称	12
4 教育課程の編成の考え方及び特色	13
5 教育方法、履修指導、研究指導（修論指導）の方法及び終了要件	20
6 基礎となる学部との関係	25
7 大学院設置基準第 2 条の 2 又は第 14 条による教育方法の実施	27
8 入学者選抜の概要	28
9 教育研究実施組織の編制の考え方及び特色	29
10 研究の実施についての考え方，体制，取組	30
11 施設・設備等の整備計画	31
12 管理運営及び事務組織	32
13 自己点検・評価	33
14 情報の公表	34
15 教育内容等の改善のための組織的な研修等	36

(詳細目次)

1 設置の趣旨及び必要性

(1) 横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻の設置の趣旨及び必要性

横浜商科大学は昭和 41 (1966) 年の設立以来 60 年に亘り、建学の理念である「安んじて事を托する人となれ」の下、「商学教育の完成」を目的とした実学重視の実践的な学習を通じて「高度な専門知識」と「社会に奉仕する精神」を修得し、また托された責任をまっとうすることができる「使命感」と「責任感」をも身につけた人材の育成に努め、社会への貢献としてきた。

本学を取り巻く我が国及び世界における情報社会、デジタル化の波は、急速なスピードで進行中である。過去 30 年の経済社会は、全世界が PC 群を通じて、ネットワークする（繋がる）ことに一定の成果を認めていたが、最近期は、ネット社会で「流通」する膨大なデータを利活用することで、新たな価値が見出されるとする「データサイエンス」という学問領域が注目されている。より具体的には、持てる計算能力を飛躍的に引き上げているコンピュータと統計学、機械学習、AI（人工知能）等の分析手法を組み合わせ、情報社会に在する大量のデータ群を解析することにより、新たな知見を見出し、社会における様々な分野における諸課題を解決しようとするものである。特に、企業活動におけるイノベーションに注目が集まっているが、それは、Alphabet (Google)、Amazon、Microsoft、Apple、Meta 等のグローバルプラットフォーム企業がデータサイエンスを徹底的に活用した事業展開をはかり、社会における幅広い諸課題の解決を図ろうとしているからである。

平成 28 (2016) 年 1 月 22 日に閣議決定された「第 5 期科学技術基本計画」では、「サイバー空間とフィジカル空間（現実空間）が高度に融合した「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を「Society5.0」とし、更に深化させつつ強力に推進する」とされた。世界に先駆けて超スマートサービスプラットフォームを活用し、新しい価値やサービスを生み出す事業の創出や新しい事業モデルを構築できる人材、データ解析やプログラミング等の基本的知識を持ちつつ、ビッグデータや AI 等の基盤技術を新しい課題の発見・解決に活用できる人材などの強化が図られている。Society5.0 を実行していくという試みは、令和 3 (2021) 年 3 月 24 日に閣議決定された「第 6 期科学技術・イノベーション基本計画」においても引き継がれている。更に「オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進」等が目標に置かれる等「知のフロンティアを開拓し、価値創造の源泉となる「知」の創造」を重点的に取り組む一つとしている。特に、Society5.0 への移行において、新たな技術を社会で活用するに当たり生じる制度面や倫理面、社会受容面などの課題に対応するためには、俯瞰的な視野で物事を捉える必要があり、自然科学のみならず、人文・社会科学も含めた「総合知」を活用できる仕組みを構築しなければならない、としている。また、「新たな社会を支える人材の育成」も取り組むべき重要な項目としている。

こういったデータ駆動型社会が本格的に到来した現代において、データサイエンスの汎用的な知識、スキルおよびこれを適切に活用することのできる人材育成は、急務であると考えられる。データサイエンスは、社会に存在する大量のデータを分析することで、経営上の重要な意思決定をサポートする。これによって企業は効果的かつ効率的な経営戦略を策定することが可能となる。また、データサイエンスのスキルを持つ人材を擁することで、データから傾向やパターンを把握し、競合他社との差別化や新たなビジネスチャンスを見つけるための分析を行うことができる。

さらに、データサイエンスは過去のデータから未来を予測する予測分析を可能にするため、需要予測リスク評価、市場動向の予測などに基づくマーケティング分野等での戦略の立案にも有効というだけでなく、データ駆動型（データドリブン型）の経営を推進することを通じて業務プロセスの改善、新商品の開発にも利活用できる。このように、データサイエンスはビジネスの様々な分野において課題解決に寄与する重要な知識となっている。

こういった背景のもと、大学などの教育機関には、データサイエンスに関する人材育成が求められている。社会全体における需要の高まりを受けて、内閣府 AI 戦略会議は、令和元 (2019) 年 6 月 11 日「AI 戦略 2019」において、大学・高専・社会人向けに、具体的目標として「(目標 1) 文理を問わず、全ての大学・高専生 (約 50 万人卒/年) が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AI を習得」「(目標 2) 多くの社会人 (約 100 万人/年) が、基本的情報知識と、データサイエンス・AI 等の実践的活用スキルを習得できる機会をあらゆる手段を用いて提供」「(目標 3) 大学生、社会人に対す

るリベラルアーツ教育 14 の充実（一面的なデータ解析の結果や AI を鵜呑みにしないための批判的思考力の養成も含む）」を掲げている。これらの目標は、令和 4（2022）年 4 月 22 日「AI 戦略 2022」においても引き継がれているところである。

更に令和 4（2022）年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2022 新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～（骨太方針 2022）」では、「新しい資本主義に向けた重点投資分野」として人への投資と分配が掲げられており、「人への投資を通じた「成長と分配の好循環」を教育・人材育成においても実現し、「新しい資本主義」の実現に資するため、デジタル化に対応したイノベーション人材の育成等、大学、高等専門学校、専門学校等の社会の変化への対応を加速する。」としている。

こうした流れを受けて、近年は文部科学省でもそうした人材の育成に注力しており、様々な政策を推進している。例えば、小学校でのプログラミング教育の必修化、STEM（Science, Technology, Engineering, and Mathematics）教育の推進、未来の産業や社会に必要な人材を育成するための「未来投資人材育成プログラム」の推進などが進められており、それらの政策にはデータサイエンス分野も含まれている。

他方、経済産業省においても、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を図るという方針のもとで、デジタル人材育成の支援や DX 人材養成プログラムの推進、デジタル人材育成における産・官・学連携の推進などの政策が進められており、これらの政策においてもデータサイエンス分野の人材の育成に力点が置かれている。

DX 推進の流れは地域単位でも図られており、本学が立地する神奈川県や横浜市においても、DX 推進を担うデータサイエンス分野の人材の育成が重視されている。

例えば、横浜市では令和 4（2022）年 9 月に「横浜 DX 戦略」を策定・公表し、「行政の DX」、「地域の DX」、「都市の DX」の推進に取り組むことを表明している。さらに、令和 4（2022）年度から令和 9（2027）年度までの 6 年間を計画期間とする「横浜市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略」も策定している。

この戦略は、デジタル技術の活用によって地域の個性を生かしながら社会課題解決や魅力向上の取り組みを加速化・深化するという国の「デジタル田園都市国家構想」に基づくもので、SDGs の実現、地域コミュニティ強化、DX の推進とデータ活用・オープンイノベーションの推進、協働・共創、脱炭素社会実現の 5 つの視点の重視を基本姿勢とし、市民、企業、大学等と連携して横浜ならではの地方創生の実現を目指している。

そして、こうした政策や都市戦略を担う人材を育成するために、平成 30（2018）年 4 月、横浜市立大学にデータサイエンス学部を開設、さらに令和 2（2020）年 4 月には大学院にデータサイエンス研究科を開設している。特に前者は全国で 2 番目に開設された学部であり、横浜市はデータサイエンス分野の人材の育成において先進的な都市の 1 つであるといえよう。

本学も、そうした横浜市に立地する大学として、データサイエンス分野の人材育成に貢献したいと考えている。本学が教育・研究の中心とする商学も、そして、より広く社会科学全般も、これまでの学問的な業績に加え、データの利活用による新たな知見の獲得を要請される段階に来ている。

こういった様々な社会背景の中、我々の身近にあるビジネスの現場においても、複雑化する社会現象をデータとして網羅的に集め、一見、いかなる関係も見出せない事象間にある相関、因果関係を見出し、新たな知見を得ていくということ、すなわち、社会・企業・組織等が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、分散されたデータから知見を得て、経営上の専門性と組み合わせ、意思決定、政策実行の成果をより高い次元に引き上げていくということが求められているのである。

しかし一方、現実の問題として、データサイエンス分野は現状常に急速な進化の途上にあり、新しいツールや技術が頻繁に登場している。そのため、絶え間ない学習とスキルの更新が必要であり、実際のビジネスの現場においてデータサイエンスの知識、技術をリアルタイムにアップデートしながら活用できる人材は、常に不足する状態となっている。

データサイエンスを扱う人材には統計学、プログラミング、機械学習、データベース管理など、多岐にわたる専門的な知識、スキルが求められ、これらの本格的な習得には相応の時間やコストが要求されることとなる。「学び直し」や「リスキリング」といった言葉、概念が多くの人にとって身近なものとなってきてはいるものの、実際にデータサイエンスに関連する本格的な知識、技術を習得するための時

間やコストを捻出できる人材というのは、特に小規模、中規模帯の企業においては必ずしも潤沢ではない。

本学の学びの特色は「実効型ビジネス教育」である。「実践力」「行動力」「協働を図る力」を育む中で、効果的な課題解決能力を身に付けようとするものである。「やってみる」と「考える」を繰り返し、実効力ある解決手法を実践の中で実現しようとするものである。新たな学問領域であるデータサイエンスも、事象（データ）間の中から因果関係や相関関係等を見出し、新たな知見を得て、より実効力のある解決手法を見出そうとするものであり、本学の実践的教育にも裨益し、課題解決型人材には不可欠なスキルセットである。

国レベルから地域レベルへ、大企業から中小企業へと、その拡がりはいずれのレイヤーの低層部にまで急速なスピードで及んでおり、まさに、本学が教育・研究の中心としてきた商学分野、地域、中小企業もその対象となっていていところである。逆説的ではあるが、データの利活用によっては、大企業と中小企業、中央と地方といったレイヤーに差なく、小さくとも、地域からでも、より実効力のある手法をもって、経営上の課題、社会的課題の解決を図ることが可能になる可能性も展望できる。このことは、本学の「実効型ビジネス教育」という教育理念・手法とも軌を一にするものである。そのため、データサイエンスの知見を具体的に社会実装させる能力を涵養することが必要である。しかし、その基盤となるデータ分析に関する知識・手法は既に高度化しており、中小規模の地域の企業等がデータサイエンスの知見を実際にビジネスの現場に活用することそのものが解決すべき課題であると考えた。

そこで、本学としては、かかる目的を果たすためには、データサイエンスがビジネスの現場にもたらす効能を十分に理解し、これらの知識、スキルを適切に行使することのできる高度な実践力、マネジメント力を備えたビジネスの専門人材を養成する教育の枠組みが必要不可欠であると考えたところであり、それが、今般、本学が商学研究科商学専攻を設置する所以であり、そこではデータサイエンスの分析力と実践力を磨き、多様な価値観や倫理観が行き交う現場で課題解決力を発揮するためのマネジメント力のある高度専門人材の育成を目的とする。

つまり、これまで、人的、時間的なコストの問題などによりデータサイエンスの活用が十分に検討されてこなかった、又は規模的に検討することができなかったビジネスの現場と高度なデータサイエンスのもたらす効能や知見を橋渡しするブリッジ人材の育成こそが本大学院の目的となる。

この実現には、学部レベルも知識では実用に堪えず、実際にビジネスの現場との往還をより実践的かつ高精度に築くことのできる修士レベルの知識とスキルは必須であり、この必要性に応えるため、大学院を設立する。

（２）商学研究科商学専攻が養成する人材像

デジタル化とネットの普及により、データの利用は一般企業にまで広がってきている。かつてはデータ分析を行うのは、分析にたる膨大なデータを収集し、そして分析する資金力と技術をもった一部の企業であり、データ分析は特殊な専門家の仕事であった。しかし、いまや町の飲食店でも、決済業者等と契約すれば詳細な顧客情報が入手可能であり、また、自分でサイトを立ち上げ、あるいは公式アカウントをつくれれば自ら顧客のデータを入手することができる。データは一部の企業だけでなく、ごく普通の規模の小さい一般企業が利用できる状況が生まれ、実際にこれを経営の指針として役立てたいという需要は多い。

しかしながら、IT系の一部企業はともかく、普通の一般企業ではデータを利用できる人材は決定的に不足している。例えば、IT関係企業を束ねて、社長の腹心として課題解決にあたる人材が不足している。

中小企業の持つ全体的な経営課題に対する問題解決をはかるにあたり、データサイエンスを活用することが今後増大することが予想される。デジタル社会の本格的な到来、AI活用の実際化を考えると、データサイエンスが持つ幅広い専門分野をすべて網羅して把握する経営人材を組織の中に抱え込むことは現実的ではなく、それをはかろうとすればますます、問題解決そのものが遠のくことになり、問題を放置し、前向きな競争力の強化等にも繋がらない可能性も生じてくる。そこで、多くのデータサイエンス分野の専門家と委受託という関係なども含め議論を重ね、中小企業のもつ問題解決を総合的にはかることが可能になる人材を一人でも（とはいっても一人いれば中小企業にとっては百人力にあたる）確保することによって、社会の大きな動きに呼応し、中小企業の持つ課題を解決するスピードをはやめ、具体的な問題解決と競争力の強化をはかることが出来るようになるであろうということが日々の商学部にお

ける教育活動、OB等との面談、討議等で確認されている。

本大学院の目的は、この需要に応えることである。すなわち、ごく普通の一般企業とデータサイエンスの知識、技術を架橋し、これを適切に投入、活用できる人材の育成が本大学院の目的である。

以上のような学術的・社会的背景を踏まえ、本研究科は次のディプロマ・ポリシーを定める。

ディプロマ・ポリシー

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻では、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見を活用し、実践的・実務的な環境にあっても、本質的で効果の高い真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じ、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人材を、建学の精神である「安んじて事を托さるる人となれ」の下、養成するという理念に基づき、教育課程を通じて、以下の点を重視する。

第一に、段階的な学修を可能とする教育課程を提供し、社会諸領域に対する洞察力、常により良き社会の在り方を模索しようとする知的好奇心を駆動力として、社会・企業・組織・地域等が抱える経営上の諸課題を発見し、より良き社会に向け、解決策を展望する力を基盤にした上で、データサイエンスを活用することにより見出し得る新たな知見を活用し、より高い問題解決力を身に付けさせることである。修了生が、データサイエンティストとしてその専門性だけを社会と隔絶したかたちで一方的に高めることを目的とせず、経営上の課題、社会的課題を発見する力、それらを、具体的にデータサイエンスのもたらす様々な効能を活用することにより解決することのできる人材を養成する。すなわち、社会やそのリーダーが諸課題を解決するにあたり、データサイエンスを活用し、問題解決策を導出しようとする局面において、社会やリーダーから、「安んじて事を托さるる」人材を養成する。

第二には、教育課程にある、基礎科目、価値創造科目、演習、研究指導（修論指導）等いかなる科目群においても少人数教育を実施し、実データを用いた教員と学生の協働作業として、実践的な環境の中で人材育成をはかる。

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻では、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見を活用し、実践的・実務的な環境に応じて、本質的に効果的な真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じ、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人材を、建学の精神である「安んじて事を托さるる人となれ」の下、養成する。

それゆえ、本研究科修士課程では、以下「1. 修得すべき知識・能力等」に掲げる知識・能力等を兼ね備えていることを、「2. 修得・判定方法等」に表現される方法にて確認し、修了判定を実施し、修士（商学）の学位を授与する。

1. 修得すべき知識・能力等

- (1) 社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力
- (2) 課題解決に役立つデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキル
- (3) (1)の能力を起点に(2)を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力・スキル
- (4) (3)で得られたソリューション（解決策）を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力を備えたスキル
- (5) データ社会にあって(1)～(4)の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識する能力を備えたスキル

2. 修得・判定方法等

- (1) 「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力」とは、社会諸領域に対する洞察力を基盤として、常によりよき社会の在り方を模索しようとする知的好奇心であり、それらを駆動力として、具体的には、社会・企業・組織・地域等が抱える経営上の諸課題を発見し、より良き社会に向け、解決策を展望する力である。よって、本研究科が設置する経営学（戦略）、マーケティング（商学）等諸科目を理解したうえで解決するにあたりデータサイエンスが如何に有用であるか、デ

ータ社会における倫理的課題は何かを学ぶ基礎科目を履修することで、基礎的で汎用的な知識を獲得、その後、それぞれの興味・関心に基づき、データサイエンス科目、価値創造科目、演習科目を履修することをもって、「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力」を修得していると判定する。

- (2) 「データサイエンスに関する汎用的な知識とスキル」とは、多くのデータサイエンス分野の専門家と委受託という関係なども含め議論を重ね、中小企業のもつ問題解決を総合的にはかることが可能になる知識やスキルのことである。そのような知識やスキルを持つ人材を一人でも確保することによって、社会の大きな動きに呼応し、中小企業の持つ課題を解決するスピードをはやめ、具体的な問題解決と競争力の強化をはかることが出来るようになる。よって、本研究科が設置する基礎科目を履修することで修得できる基礎的な知識を踏まえて、それぞれの興味・関心に基づき、データサイエンス科目を履修し、データサイエンスに関する汎用的な知識と実践力を修得していることをもって、「データサイエンスに関する汎用的な知識とスキル」を修得していると判定する。
- (3) 本研究科が考える「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力にデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキルを重ね合わせ、社会・企業・組織等がもつ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方策を導出する能力・スキル」とは、それぞれの汎用的な知識を組み合わせることによって、複雑化する社会現象をデータとして網羅的に集め、一見、いかなる関係も見出せない事象間にある相関、因果関係を見出し、新たな知見を得て、社会・企業・組織等の意思決定を具体的に助けるソリューション（解決策）を導出することである。よって、本研究科が設置する基礎科目、それぞれの興味・関心に基づくデータサイエンス科目、価値創造科目並びにそれぞれの汎用的な知識をソリューション導出に活用する演習科目を履修し、事例・演習を積み重ねることにより、能力・スキル等が修得されていると判定する。
- (4) 「ソリューションを社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーションと行動力」とは、導き出されたソリューションを社会等に訴求し、更なる課題が発生すれば、更なる解決策を見出すといった往復運動を、高度なコミュニケーション能力をもって実施することである。よって、本研究科が設置する基礎科目、データサイエンス科目、価値創造科目、演習科目の履修を通じて、それぞれの汎用的な知識をソリューション導出に活用する事例・演習を積み重ねることにより、コミュニケーション力・行動力が修得されていると判定する。
- (5) 「データ社会にあって (1) ～ (4) の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識していること」とは個人情報等のデータを扱うことの課題、データ操作による課題等、データ社会の持つ危険性を理解することである。
- (6) (1) ～ (5) で修得された能力に、本研究科が定める要件を満たしたことをもって、本研究科の修了を認定し、修士（商学）の学位を授与する。

（3）カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

前述したディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のように本研究科のカリキュラム・ポリシーを定める。

カリキュラム・ポリシー

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻では、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見を活用し、実践と実務が求められる環境変化に応じ、本質的で効果の高い有用な方策を見出しつつ、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じ、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人材を、建学の精神である『安んじて事を托さるる人となれ』の下、養成するために、以下のとおりの教育編成の考え方、学修内容及び、学修成果の評価方法を定め、教育課程を実施する。

1. 教育課程編成の考え方

- (1) 「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力」を修得するとともに、諸課題を解決するにあたりデータサイエンスから導出される知見がなんであるかを理解し、これを活用することが如何に有効であるかということに対する理解を深めるべく「基礎科目」を配置する。同時に、社会的課題を見出す上で必要なデータサイエンスの基盤ともいえる統計学の知識（記述統計、相関係数、仮説検定、因果等）を身に付け、一方で、データ社会における倫理的な課題の重要性への理解も促す。
- (2) プログラミング技術を修得する「データエンジニアリング」科目、統計技法を修得する「データアナリシス」科目、どのように推定モデルを設定し、何を推定するかを修得する「モデリング」科目の3つの科目からなり、データサイエンスを活用し、新たな価値創造をはかるための「汎用的な知識とスキル」の基盤を修得させるべくデータサイエンス科目を配置する。
- (3) 「基礎科目」において修得した「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力」を起点に、「データサイエンス科目」において修得した「データサイエンスに関する汎用的な知識とスキル」を活用し、「経営上のあるいは社会的な課題の解決策を導出する方策」を修得させることができる。「データサイエンスから導出される知見がなんであるかを理解し、これを活用して実践的で効果的な方策」を見出している、経営分野、マーケティング分野、会計分野等での事例を分析する。実際の考察対象となる産業は小売り、サービス、製造業からスポーツ、観光まで幅広くとる。たとえばスポーツでは事業体の経営やマーケティングでの実践的な課題解決策を考える。
- (4) 上記 (1) ～ (3) で得られた知識・能力等を通じ、より具体的な課題に対して実データを用い、本研究科の中心的テーマである「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力にデータサイエンスに関する高度な知識とスキルを重ね合わせ、諸課題を具体的に解決し得る方策を実践的に導出する能力」を修得させるべく「演習科目」を配置する。本学教育課程の一つの特徴として、1年次後期に履修する「演習1」、2年次前期から履修する「演習2」、2年次後期から履修する「演習3」の3つの「演習科目」を学生は必修科目として履修し、本学の学びの特色でもある「実効型ビジネス教育」を実現する。より具体的な課題を設定し、実データを用いて、解決案を導き出す等、小さな訓練を繰り返し行う。この演習により、データを通じて問題を発見し、その解決策をも見出す力を修得する。また「演習科目」は学生の報告と議論が主体であり、得られた知見をどう相手に伝えるかというコミュニケーション力を修得する機会となっている。学生それぞれの興味・関心（問題意識・課題設定）に基づき、指導教員の指導を得て、最終成果として修士論文を執筆させるべく「研究指導（修論指導）」を配置する。「研究指導（修論指導）」は本研究科の全修了生に求められる。

2. 学修内容及び学修方法

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻では、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見がなんであるかを理解し、これを活用し、実践的・実務的な環境にあっても、本質的で効果の高い真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じ、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人材を、建学の精神である「安んじて事を托する人となれ」の下、養成するという理念に基づき、教育課程を通じて、以下の点を重視する。

第一に、段階的な学修を可能とする教育課程を提供し、社会諸領域に対する洞察力、常により良き社会の在り方を模索しようとする知的好奇心を駆動力として、社会・企業・組織・地域等が抱える経営上の諸課題を発見し、より良き社会に向け、解決策を展望する力を基盤にした上で、データサイエンスを活用することにより見出し得る新たな知見を活用し、より高い問題解決力を身に付けさせることである。修了生のデータサイエンティストとしての専門性だけを社会と隔絶したかたちで、一方的に高めることを目的とせず、経営上の課題、社会的課題を発見する力、それらを、具体的にデータサイエンスを活用することにより解決することのできる人材を養成する。すなわち、社会やそのリーダーが諸課題を解決するにあたり、データサイエンスを活用し、問題解決策を導出しようとする局面において、社会やリーダーから、「安んじて托される」人材を養成する。

第二には、教育課程にある、基礎科目、価値創造科目、演習、研究指導（修論指導）等いかなる科目群においても少人数教育を実施し、実データを用いた、教員と学生の協働作業として、実践的な環境の中で、人材育成をはかる。

3. 学修成果の到達目標

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻では、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見がなんであるかを理解、これを活用し、実践的・実務的な環境にあっても、本質的で効果の高い真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じ、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人材を、建学の精神である「安んじて事を托さるる人となれ」の下、養成する。

そのため、本研究科の学修を通じ、（1）社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力と（2）「データサイエンスに関する汎用的な知識とスキル」を身に付けた上で、（3）（1）の能力を起点に（2）を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力・スキルを修得させます。その上で、（4）（3）で得られたソリューション（解決策）を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力と、（5）データ社会にあって（1）～（4）の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識している人材を養成することが、本研究科の学修成果の到達目標である。

4. 学修成果の評価方法

各科目の学修成果の評価については、科目の特性等に応じ、定期試験、レポート、発表、プレゼンテーション等客観的な視点で評価を行うこととし、具体的な評価の方法はシラバスにおいて、科目ごとに明示する。

修士論文審査は、主査1名と副査1名で行う。指導教員が副査となり、主査は指導教員以外の人が務める。なお、修士論文は中間審査を行い、提出可とされたもののみ最終審査に進めることとする。

（4）アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻では、社会・企業・組織が持つ課題を解決するにあたり、データサイエンスから導出される知見を活用して実践的で効果的な方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、新たな価値創造を可能にするプロフェッショナル人材を、建学の精神である「安んじて事を托さるる人となれ」の下、養成することを目的とする。この目的を達成するため、以下のアドミッション・ポリシーを定める。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本研究科では、社会・企業・組織が持つ課題を解決するにあたり、データサイエンスから導出される知見がなんであるかを理解し、これを活用して、実践的で効果的な方策を見出し、新たな価値創造を可能にする人材を養成することを目指している。

このような人材を社会に送り出すため、本研究科は、以下のような知識と能力を備えた学生を受け入れる。

- (1) データサイエンスを学ぶ上で必要な知識
- (2) 社会・企業・組織が持つ課題を発見し、その解決策を見出そうとするための思考力
- (3) 社会・企業・組織が持つ課題を発見し、その解決策を見出し、実行しようとする意欲

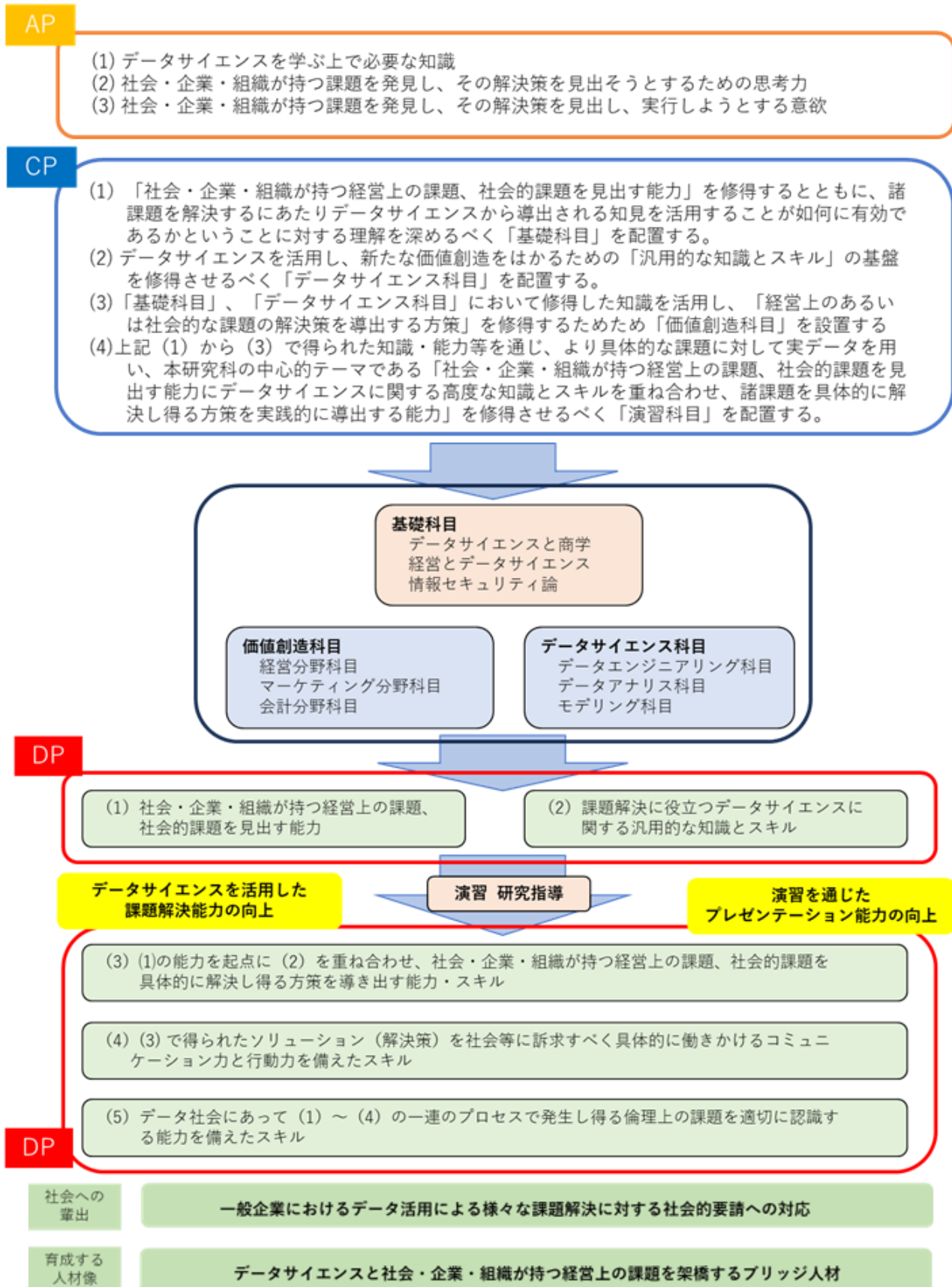
2. 入学者選抜の基本方針及び多面的・総合的な評価方法

上記の人材を育成するため以下のとおり入学者選抜を実施する。

通常選抜は次の3段階とする。

- (1) 一次選考 一次選考では、研究計画書等の書類審査により、志望理由と興味関心を確認し選抜を行う。
- (2) 二次選考 一次選考の合格者に対して、①経営分野、マーケティング分野、会計分野と②データサイエンスの融合のための基礎知識を問う筆記試験を実施し選抜を行う。筆記試験では、①経営分野、マーケティング分野、会計分野と②データサイエンスの2つの筆記試験（いずれも60分）を行い、双方の知識を持っているかを評価する。①経営分野、マーケティング分野、会計分野の筆記試験では、各分野からそれぞれ1問出題し1問を選択させる。データサイエンスの試験では、統計学、データサイエンスの各分野から各2問出題し、その中から2問を選択させる。
- (3) 三次選考 三次選抜では、課題解決に向けての意欲と解決策を実行する上で必要なコミュニケーション能力を問う口述試験を実施し合否を決定する。

図1 ディプロマポリシーと養成する人材像、カリキュラムポリシーとの関係



2 修士課程までの構想か、又は、博士課程の設置を目指した構想か

本研究科は、博士課程の設置を目指して構想している。

中央教育審議会大学分科会審議まとめ「令和 22（2040）年を見据えた大学院教育のあるべき姿」（平成 31（2019）年 1 月 22 日）では、これまでの大学院教育に関する各種取組等を踏まえ、大学院は、「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者の養成」、「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」、「確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員の養成」及び「知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の養成」という 4 つの人材養成機能を担っており、高等教育の中でもとりわけ知識集約型社会における知の生産、価値創造を先導する「知のプロフェッショナル」を養成する役割を中心的に担うことが期待される存在である、と整理されている。また、同まとめでは、「大学院における教育が産業界や国際社会も含めた幅広い社会のニーズや学修者の個々のニーズに積極的に対応し、大学院の学生の進路を確保していくこと」が必要であるとされている。

また、中央教育審議会大学分科会大学院部会中間とりまとめ「人文科学・社会科学系における大学院教育改革の方向性」（令和 4（2022）年 8 月 3 日）においては、社会経済活動が、機能的価値から意味的価値を重視する時代へ変化している中、価値発見・価値創造的な視座を提供する人文科学・社会科学分野に高い期待がよせられ、アカデミア内外の垣根を超え、産業界をはじめとしたあらゆるセクターにおいて、こうした期待に応え、活躍する人文科学・社会科学系の高度人材を育成する必要があるとしている。

本研究科では、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見がなんであるかを理解し、これを活用して、実践的で効果的な方策を見出し、新たな価値創造を可能にする人材を、建学の精神である「安んじて事を托さるる人となれ」の下、養成する。

社会・経済活動における SDG s 等の新たな価値観・目標がグローバルベースで共有され、具体的にも、エンカル消費、ESG 投資等の行動変容が促されるなか、本研究科としては、機能的価値から意味的価値を重視する時代が変化していることを理解し、価値発見・価値創造的な視座を提供し続けることが期待される大学院として、その期待に応え、我が国の教育、社会経済活動全般にも、十分な貢献ができるものと考えている。

人文科学・社会科学系大学院においては、高度人材を社会に送り出す役割を果たしていくことが急務であるが、大学院での教育研究の魅力が伝わらず、大学院は大学教員志望者のための進路と考えられる傾向にあり、学生の多様なキャリアパスを支える体系的・組織的な教育研究の取組も弱く、修了者のキャリアパスが見えにくく、その能力や社会での多様な活躍のロールモデルが可視化されていない、という課題がある。

本研究科では、修了者には大学教員のみならず、産業界、公的機関、国際機関や NPO・NGO など多様な進路の可能性を示し、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的な課題を解決する中で、そういった修了者の出口となりうる組織との共同研究等を通じ、学生への出口を認識させるとともに、社会からの大学院への認知も確実なものとしていく。今次設置申請する修士課程に加え、従前の人文・社会科学系の大学院の課題を積極的に克服し、博士課程を設置することで、上記の審議まとめで指摘された大学院の 4 つの人材養成機能のうち、特に「知識基盤を多様に支える高度で知的な素養のある人材の養成」に力を入れることで、「知識集約型社会における知の生産、価値創造を先導する『知のプロフェッショナル』を養成する役割を担う」存在として、我が国の教育の発展に大きく貢献できるものと考えている。

このため、本研究科では、修士課程一期生の修了年度である令和 9（2027）年 3 月に合わせ、博士課程の設置を目指す。

これにより、データ駆動型社会における本学の商学教育の完成が現実のものとして更に進化するものとする。

3 研究科・専攻等の名称及び学位の名称

横浜商科大学は、昭和 41（1966）年の設立以来、60 年に亘り、建学の精神である「安んじて事を托する人となれ」の下、「商学教育の完成」を目的とした実学重視の実践的な学習を通じて「高度な専門知識」と「社会に奉仕する精神」を修得し、また托された責任をまっとうすることができる「使命感」と「責任感」をも身につけた人材の育成に努め、社会への貢献としてきた。

我が国及び世界における情報社会の進展、デジタル化の波によって、近年はネット社会で「流通」する大量のデータを利活用することで新たな価値を見出す「データサイエンス」という学問領域に注目が集まりつつある。

本学が教育・研究の中心とする商学も、さらにはより広く社会科学全般も、これまでの学問的な業績に加え、データの利活用による新たな知見の獲得を要請される段階にきている。

近年、データサイエンスの知識を修得した所謂「データサイエンティスト」への人材需要は急速に高まってきている。我が国においても、理工系の大学に止まらず、データサイエンティストを養成する大学院の新設が続いている。

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻は、課題解決に役立つデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキルを持ち、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決できる人材を養成することを目的とする。分散されたデータから知見を得て、実践的・実務的な環境に応じて、本質的に効果的な真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、意思決定、政策実行を高い次元に引き上げる人材をつくり出すことである。本校が養成する人材は、経営への実践を重んじた人材であり、本学が中心としてきた商学（経営戦略論・マーケティング・会計学）で得られる知見・価値をデータ利活用で生かそうとするものである。以上の目的に鑑み、研究科の名称は商学研究科とし、専攻の名称はスキルとしてのデータサイエンスを使うが、商学への応用を念頭に置くため「商学専攻」とする。

本研究科の目指す方向は、本学の建学の精神である「商業教育の完成」、実学重視の実践的な学習を、データサイエンスの知識・スキルを活用することにより、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決する能力を身に付けた人材を養成することであり、同時に、かかる教育活動が商学の発展にも裨益するとも考えているところである。かかる趣旨から、学位の名称は、修士（商学）とし、英語名称については、我が国の商学系大学院や、商科大学系大学院同様に、Master of Arts in Commerce とする。海外については、シドニー大学などオーストラリアの大学において Commerce の呼称をよく使われているが、欧米においては、グローバルベースでのビジネス展開をも想起させる、Master of Business Administration や Management という呼称が使われている。本学としては、規模に関わらず、データサイエンスといったより普遍性の高い技術を「商売」に入れ込むことで、十分に独自性と競争力を有した商業活動を展開することが可能であり、そのことこそ真の価値創出があるとの理念に基づき、英文名称もこのようにしたいと考えている。

研究科の名称： 商学研究科

専攻の名称： 商学専攻

学位の名称： 修士（商学）

学位の英語名称： Master of Arts in Commerce

4 教育課程の編成の考え方及び特色

(1) 教育課程編成の基本的な考え方

本学では比較的規模の小さい企業でデータサイエンスによりもたらされる知見や効能を駆使してデータ活用を行う人材を育成する。ここで比較的規模の小さい企業とは、従業員が少ない中小企業、成長過程におけるベンチャー企業、また規模が大きくてもチェーン展開で多数の支店を持つ企業などを想定している。この場合、必ずしも社内の人材としてデータサイエンティストを確保することは現実的でない場合も考えられるため、適切なタイミングで社外のデータサイエンティストの投入を判断できる人材が求められる。数千人規模の大手企業であれば、自社にて十数人のデータサイエンティストを雇えるので、経営のことはわからずデータ分析しかできない人、さらにデータ分析手法のなかのある特定の分析手法のみに特化した人がいても、足りない部分は他の人が補えばよいので問題はない。しかし比較的規模の小さい企業の場合は、そもそもデータサイエンティスト自体を社内に確保、またはコストをかけて養成することは難しい場合も多い。すなわち、自ら経営上の課題を見出し、データ分析の知識とスキルを使って分析して解決策を見出すことができるタイミングを判断し、適切なタイミングでの外部専門人材の投入をコミュニケーション能力を駆使して効果的に提案することが望まれる。本大学院の特徴は、そのような経営的な視点を持ちながら、適切にデータサイエンスのもたらす知見や効能を活用することのできる実践的な人材、つまり、「これまでデータサイエンスの活用が十分ではなかった規模のビジネスの現場」と「高度で専門的なデータサイエンスがもたらす効能や知見」を橋渡しすることのできる、ビジネスの現場における新たなブリッジ人材の育成を目的とする。

この目的達成のため、教育課程には、データサイエンスについての知識とスキルを学ぶ科目群と、経営・マーケティング・会計などを学ぶ科目群の両方が必要である。さらに得られた解決提案を効果的に伝えるコミュニケーション能力を醸成する科目も望まれる。この要請を受けるように科目編成を行う。

(2) 科目編成

前項の目的の達成のため、科目は図 4-1 のように構成した。科目は基礎科目、データサイエンス科目、価値創造科目、演習科目の 4 種類に分類される。基礎科目は文字通りの全体の基礎となる科目であり、その後の学習の入門となる科目である。データサイエンス科目ではデータサイエンスでの知識とスキルを学び、データ分析の技術を身につける。価値創造科目では経営・マーケティング・会計などを学び、データ分析技術をどう使うかという課題を見出す科目である。演習科目では解決案を考案し、コミュニケーション能力を磨きながら、最終的に修士論文を仕上げていく。以下、順に説明する。

1 基礎科目

基礎科目は 3 科目から成っている。「データサイエンスと商学」はそもそもデータ分析とはどういうことであるかを統計学の基礎から振り返り、データサイエンスのさまざまな手法を概観する。この科目は「2 データサイエンス科目」のデータサイエンス科目群の入門となる科目である。「経営とデータサイエンス」は、経営学においてどのようにデータ分析が行われてきたかを概観し、経営でのデータ活用の課題発見方法を学ぶ。この科目は「3 価値創造科目」の価値創造科目の水先案内人になる科目である。「情報セキュリティ論」は、データ分析をして解決提案を行う際、個人情報保護や情報漏洩防止などに配慮することが不可欠なので、学習初期段階で学んでおく科目である。科目詳細は図 4-2 を参照されたい。

基礎科目		データサイエンスと商学
		経営とデータサイエンス
		情報セキュリティ論
データサイエンス 科目	データアナリシス科目	データアナリシス1
		データアナリシス2
	データエンジニアリング科目	プログラミング論
		データ処理論
		機械学習論
	モデリング科目	データモデリング
価値創造科目	経営分野	経営戦略論
		組織行動論1
		組織行動論2
	マーケティング分野	ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動
		マーケティングリサーチ特論
		スポーツアナリティクス特論
	会計分野	会計情報論
		経営分析論
演習科目		演習1
		演習2
		演習3
		研究指導(修論指導)1
		研究指導(修論指導)2

図4－1 科目編成

図4－2 基礎科目一覧

データサイエンスと商学	必修	2単位	データサイエンスで使う統計的分析手法を概観し、商学への応用としてどのような分析手法がありうるのかを見通しを得る。
経営とデータサイエンス	必修	2単位	経営戦略論・組織論の基本的・伝統的な理論を体系的に学び、経営上の課題についてデータサイエンスを活用して解決している事例を学ぶ。
情報セキュリティ論	必修	2単位	リスクと脅威、暗号と認証による情報セキュリティ技術、個人情報保護や著作権保護といった情報倫理について学ぶ。

2 データサイエンス科目

データサイエンス科目はデータ分析の知識とスキルを教える科目群である。統計分析の手法を学び、プログラミング技術を身につけ、分析モデル作成の技法を身につける。中核となるのは、「データアナリシス1、2」（それぞれ必修であわせて4単位）で、これらは必修とする。発展として、「プログラミング論」（選択2単位）、「データ処理論」（選択で2単位）、「機械学習論」（選択で2単位）、「データモデリング」（選択で2単位）を用意する。科目の説明は表4－3にまとめている。

これらデータサイエンス科目群では、データサイエンスで使われる分析手法とこれにより導き出される知見がどのようなものであるのかを学ぶ。すなわち、実際のデータを使った演習的な学習を行いなが

ら、統計分析ツールやプログラミングの知識とスキルを身につける。統計分析ツールは R を、プログラミング言語は Python を予定しているが、必要に応じて補充する。

講義内容はデータサイエンスで使われる計量分析の手法群の中で、企業経営に応用可能な手法を中心とする。高度な数学処理やプログラミング技術よりも、実際の経営分析に役立てる手法に注力する。統計分析の例でいえば、重回帰、時系列、パネル、因果分析である。ロジットなどは経営分析に関連してよく使う手法であるが、数量化 II 類や多次元尺度法など心理学・医学で使われる手法は扱わない。経営・マーケティング・会計で実践的に使う手法に集中する。その代わり、すべての手法の学習の際に実際にデータを使った演習を行い、使いこなせるようにする。

図 4-3 データサイエンス科目

データアナリシス 1	必修	2 単位	統計的分析手法を学ぶ。重回帰、時系列分析、サンプリングバイアス、DID など、経営やマーケティングなどで使う手法を実習をしながら学ぶ。
データアナリシス 2	必修	2 単位	統計的分析手法を学ぶ。重回帰、時系列分析、サンプリングバイアス、DID など、経営やマーケティングなどで使う手法を実習をしながら学ぶ。
プログラミング論	必修	2 単位	データ解析の時に使うプログラミング・スキルを身につける。言語は Python を予定する。各種の自動処理やスクレイピングに役立つ手法を中心に学ぶ。
データ処理論	選択	2 単位	収集したデータについて、解析のためにはどのような処理を行う必要があり、またどのようなアルゴリズムを用いて解析を行うのかについて学ぶ。
機械学習論	選択	2 単位	この講義では、実習を通じて、機械学習を用いた、経営上の課題や社会的課題の解決ができる力を学ぶ。
データモデリング	選択	2 単位	データ分析の手法を実際の経営分析に使った事例を系統的に学ぶ。

3 価値創造科目

価値創造科目は、経営学、マーケティング、財務会計など商学系の視点からデータ分析およびその結果をどう使うかを学ぶ科目群である。「経営戦略論」、「組織行動論 1、2」、「マーケティングリサーチ特論」、「ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動」、「スポーツアナリティクス特論」、「会計情報論」、「経営分析論」（すべて選択科目で 2 単位）は、いずれも経営における主要なテーマであり、これらのテーマでデータ分析がどう使われているか、あるいは使われうるかについて講義を行う。なお、ここに挙げられた科目の名称にはデータサイエンスあるいはデータ分析の文字は無いが、これは煩雑さを避けるためで、内容的にはすべてデータ分析・データサイエンスを含んでいる。たとえば、経営戦略論は内容的には企業戦略論とデータ分析とでも呼ぶべき内容である。また、経営分析論と会計情報論は企業の営業データを分析する際の前提となる基礎知識を与えるものであり、スポーツアナリティクス論はスポーツにおける事業体の経営とマーケティングにおいてデータを使って分析する。これらはいずれもデータ分析の前提あるいは応用である。

価値創造科目は内容的には図のように経営、マーケティング、会計の 3 種類に分けられる。この 3 つはそれぞれ履修時のコースとなり、修士論文のテーマに対応して選択される。たとえば経営学的なテーマ設定をした学生は経営のコースの科目を習得することが期待される。

一部の講義では学生とともに演習的な共同作業も行う。本学では地元の企業や商店街などとの共同研究の蓄積があり、そこから得られたデータを使った実践的な講義も行う。データサイエンスの知識とスキルを身につけても、それを経営課題にどう使うかを知らなければ応用はできない。この商学系への応用科目は、実際の経営の場にどんなデータがあり、どう使われているかを知ること、経営課題を見出す力を身につけるための科目である。

図 4-4 価値創造科目

経営戦略論	選択	2 単位	「データサイエンスから導出される知見を活用して実践的で効果的な方策」を見出している事例等を経営戦略の基本的なフレームワークを活用して学ぶ。	経営
組織行動論 1、2	選択	4 単位 (2 単位×2)	組織の中の個人や集団の組織・態度のメカニズムを学ぶ（組織行動論 1）。 1 の知識に従業員の組織行動についての理論に応用する（組織行動論 2）。 1 及び 2 について、研究方法（主に量的なデータ分析）についても学ぶ。	
マーケティングリサーチ特論	選択	2 単位	企業のマーケティング事象と関連付けて、実際のデータ収集から分析レポートの方法論や考え方について学ぶ。	マーケティング
ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動	選択	2 単位	ソーシャルメディアを活用したマーケティングについて学ぶ。デジタルを前提とした消費者行動を理解し、デジタルを活用した経営上の課題解決策について学ぶ。	
スポーツアナリティクス特論	選択	2 単位	スポーツの現場におけるデータの収集・分析・活用方法及びデータと経営・マーケティングとの関係について学ぶ。	
会計情報論	選択	2 単位	利害調整機能及び意思決定支援機能等の会計情報の機能について学ぶ。	会計
経営分析論	選択	2 単位	財務データの分析、分かりやすく説明するプレゼンテーションスキル、ディベートの方法について学ぶ。	

4 演習科目

「演習」とは学生全員が 1 年次生の秋学期から卒業まで 1 年半にわたって継続履修する科目で、大学院教育の中核となる科目である。演習は必修で全学生が履修することとし、教員は 3 人体制で指導する。演習の目的は、研究活動を進める上で多様な分野における最新の研究内容の理解を深めることであり、その時代の重要な課題あるいは学生の興味関心にそってテーマ設定を行い、毎回、論文を指定して学生が報告・発表を行い、これを討議する。2 年次生になってからは学生自身の研究についての発表を行い、修士論文に資することもある。3 人の専任教員をおくのは、統計分析、経営学、プログラミングのように異なる専門領域をカバーするためである。毎回の演習時には 3 人の教員が異なる視点からコメントと指導を行い、学生からの多様な質問に答える。

また、経営上の課題を見つけてデータ分析の手法を適用する力を得たとしても、解決策を見つけ、それを効果的に相手に伝えていくためには、多くの人の前で案を発表し、討議を繰り返してコミュニケーション能力を高める必要がある。いくら良い提案でもそれを相手に伝える能力が無ければ実現しない。分析と解決策がひとりよがりにならないためにも、そして、また将来企業に入ったときに自らの案を効果的に人に訴えるすべを見つけるためにも、演習での発表と討議で鍛えられる必要がある。そのために、演習では発表と討議を何度も繰り返さし、コミュニケーション力を高めていく。コミュニケーション力を高めるための具体的な方策として、この演習では外部からの評価者、特に企業からの参加者を招くことを予定する。本学は横浜の企業とつながりが強く、学生の報告の場に企業の実務家を招くことは十分

に可能である。実際に実務を行う企業の方にわかるように報告し、フィードバックを受けることで学生のコミュニケーション力が鍛えられていく。また、複数の企業担当者と、さらに本学の学部に関連領域の教員も加えて拡大報告会を開き、学生の発表の場として位置付けて学生の力を高めることも考える。

「研究指導（修論指導）」とは修士論文の指導のための科目であり、1年間を通じて課題設定、データ収集、分析執筆までを指導する。本研究科のすべての指導教員が対応に当たる。ただし、専門分野にあわせた担当教員を一人決め、毎週の対応はその人があたることとする。研究指導（修論指導）は2年次生の春学期から1年間にわたり継続して行われ、一人の指導教員が修士論文の完成まで指導する。

図4-5 演習科目

演習 1、2、3	必修	6 単位 (2 単位×3)	研究活動を進める上で必要な多様な分野における最新の研究論文を学習する。毎回、論文を指定して学生が報告・発表を行い、討議する。指導教員 3 人で1年半の長期にわたり学生を指導する。
研究指導（修論指導）1、2	必修	4 単位 (2 単位×2)	修士論文の指導を行うための講義で、学生の多様な興味関心に応えるため体制としては全教師が対応する。もっとも専門の近い教員が指導教員となり、1年間にわたり修士論文完成まで指導を行う。

（3）教育研究の柱となる領域

柱となる領域は統計学とコンピュータサイエンスと経営学である。本大学院ではデータサイエンスの分析手法を使って商学の対象である経営分析を行う。データサイエンスの中身は統計学とコンピュータサイエンスなので、柱となる科目は統計学とコンピュータサイエンスと経営学になる。

ただ、統計学、コンピュータサイエンス、経営学と言っても内容は広く、本大学院の目的である「規模の小さな企業で一人でもデータ分析ができる人材をつくる」点から見ると、領域はさらに絞り込める。まず統計学では、基本的な統計学の領域（推定、検定、相関）と経営学・経済学で使われる推定手法（回帰分析、時系列分析、パネル分析、離散選択）は領域として含まれる。これらは修了生が企業に就職し、データ分析の課題を課せられた場合、すぐに必要となる知識・スキルだからである。しかし、心理学や医学で使われる分析手法（数量化 II 類、多次元尺度法など）は、通常は経済・経営分析には使われないため、領域には含まれない。

また、コンピュータサイエンスと言っても関連する領域はわずかである。データを収集し、アプリを扱うためのプログラミング技術、ならびに AI あるいは機械学習の利用方法は領域に含まれる。ネット上のデータを収集すること、社内外向けに簡単なアプリを利用してデータ収集あるいは調査を行うことは、修了生が企業で行うことだからである。しかし、本格的なデータ分析のソフトウェア自体を書くことや、AI あるいはロボットを開発することは含まれない。コンピュータのハードウェアのことは当然領域外である。

経営学についても同様に限定ができる。通常の経営戦略論や組織経営などは領域に含まれる。マーケティングは企業でデータ活用が最もよく行われる分野なので、重要な領域である。会計データを使った財務分析も学部が商学部であることを考えると、重要な応用領域である。スポーツアナリティクスは学部がスポーツ分析を行っているため、それに関心がある学生が多いことが予想されるため、領域に含めている。

逆に、海外直接投資や企業合併など大規模な金融戦略は領域には含まれない。製品開発論も直接には含まれない。これらの分野でもデータ分析が使われないわけではないが、本学の趣旨からすると修了生がこれらの領域でデータ分析をする機会は少ないと考えられる。

このように本学での教育研究の柱となる領域は、統計学、コンピュータサイエンス、経営学であるが、その領域は目的に合わせてかなり絞り込まれている。担当する教員の数は、統計学 2 名、コンピュータサイエンス 3 名、経営学 6 名である。

(4) 本大学院の特色：他の大学院のデータサイエンス研究科との違い

本大学院は、一般企業のなかにあって一人だけでデータサイエンスの成果を実現できる人材をつくることを目的としている。そのために、他のデータサイエンス大学院にはない特色がある。

第一に、商学系のデータ分析科目が多くなっている。価値創造科目は経営学、マーケティング、財務など商学系の科目であり、これら商学の視点から見たデータ分析について講義する。元来データサイエンス自体の応用範囲は金融、証券、災害対策、医療など多岐にわたるが、本校ではそれらは対象とせず、商学系の科目に集中する。企業経営でのデータ分析利用に集中し、ここを深掘りすること、これが本大学院の第一の特色である。

第二に、これにあわせてデータサイエンスとして学ぶスキルと知識の項目も限定する。

会社のもつ問題はデジタル社会の到来にともない、従来型の営業手法・マーケティング手法の変容等に及んでいる。管理部門では会計手法の変更、経営分析の在り方等にも影響を及ぼす等、すべては全社的な問題解決に該当する。かかる問題解決にあたっては、社内外のあらゆるリソースのチェック、それらのリソースをどのように変更し、実行にさせるかといったコミュニケーション能力及び実行力が欠かせない。経営課題を解決するにあたってあらゆる経営組織上の課題を乗り越えられるような、社内外における実行を促すようなコミュニケーション能力であり、実際面での経営に触れる機会も重要であることから、実際の企業等の問題解決の具体的な事例を中小企業に絞りつつ、はなしを聞き、必要な実務的な解決をはかれるように教育を実施することとする。従来型の問題であれば、簿記のスキルを上げるといったようなことで解決がはかれるような経営課題も多かったが、DX 等の変化については、就職後すぐにでもこのような実務的・専門的なコミュニケーション能力＝組織への実装能力が要求されることから、本大学院ではそのような人材を養成すべく、教育課程の中でそのような機会を作りたい。

第三に、他の大学院のデータサイエンス研究科にはあまり見られない点として、解決案の提示とそれを実践するためのコミュニケーション能力までも指導に含める点が挙げられる。演習でのコミュニケーション力を高めるための具体的な方策として、外部からの評価者、特に企業からの参加者を招くことを予定する。本学は横浜の企業とつながりが強く、学生の報告の場に企業の実務家を招くことは十分に可能である。実務をになう企業の方が理解できるよう報告することは、学生にとってすでに知識のある教員に報告すること以上のハードルであり、高いコミュニケーション能力を要する。同趣旨から、複数の企業担当者と、さらに本学の学部の関連領域の教員も加えて数十人規模の拡大報告会を開き、学生の発表の場として位置付けて学生の力を高めることに取り組む。

なお、「情報セキュリティ論」を1年次生の必修に置いているのも、同じ実践上の必要性からである。倫理観に加え、個人情報保護やデータ漏洩の防止はデータサイエンスとは直接関係しないが、実際にデータ分析を踏まえて解決策を提案するときには考慮しなければならない重要な要素である。提案する解決策が有効だとしても、それが個人情報保護違反やデータ漏洩の危険性を伴うものでは実用にならない。このような配慮ができるようにするため、情報セキュリティを1年次春学期の必修科目に含めてある。

(5) ディプロマ・ポリシーとの関係

本大学院のディプロマ・ポリシーとの関係を述べる。下記が本大学院のディプロマ・ポリシーである。

- (1) 社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力
- (2) 課題解決に役立つデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキル
- (3) (1)の能力を起点に(2)を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ課題、経営上の社会的課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力・スキル
- (4) (3)で得られたソリューション(解決策)を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力を備えたスキル
- (5) データ社会にあって(1)～(4)の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識する能力を備えたスキル

ここで(2)のデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキルを学習するのがデータサイエンス科目群である。これによって統計解析、プログラミング、モデリングを身につける。(1)の課題を見出

す力は、価値創造科目群の商学系の応用科目のなかで達成される。経営、マーケティング、財務会計でどのようにデータ分析が行われるかを知ること、課題を見出す能力が培われる。（３）の解決し得る方策を導き出す能力と（４）のコミュニケーション力は、１年半にわたって継続して行われる「演習」で達成される。課題に対して最初の解決案を提示すると、３人の指導教員と他の学生から多くの質問・助言がなされ、それをもとに議論を繰り返すことで、案はよりよいものになり、また説得力も高まっていく。倫理は情報セキュリティ論で学習する。

個々の科目と DP との対応関係を表にすると以下ようになる。

図４－６ DP との対応関係

科目区分		D(1) 社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力	D(2) 課題解決に役立つデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキル	D(3) (1)の能力を起点に(2)を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力・スキル	D(4) (3)で得られたソリューション(解決策)を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力を備えたスキル	D(5) データ社会にあって(1)～(4)の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識する能力を備えたスキル
基礎科目	データサイエンスと商学	○	◎	○		
	経営とデータサイエンス	◎		◎	○	
	情報セキュリティ論	○	○			◎
データサイエンス科目	データアナリシス科目	データアナリシス 1		◎		
		データアナリシス 2		◎		
	データエンジニアリング科目	プログラミング論		◎		
		データ処理論		◎		
		機械学習論	○	◎		
	モデリング科目	データモデリング		○	◎	
価値創造科目	経営分野	経営戦略論	○		◎	◎
		組織行動論 1		○	◎	
		組織行動論 2		○	◎	
	マーケティング分野	マーケティングリサーチ特論			◎	○
		ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動	○		◎	
		スポーツアナリティクス特論			○	◎
	会計分野	会計情報論	◎			◎
		経営分析論	○		◎	
演習科目	演習 1		◎		○	
	演習 2		○		◎	
	演習 3		○		○	◎
	研究指導(修論指導)1				◎	○
	研究指導(修論指導)2				◎	○

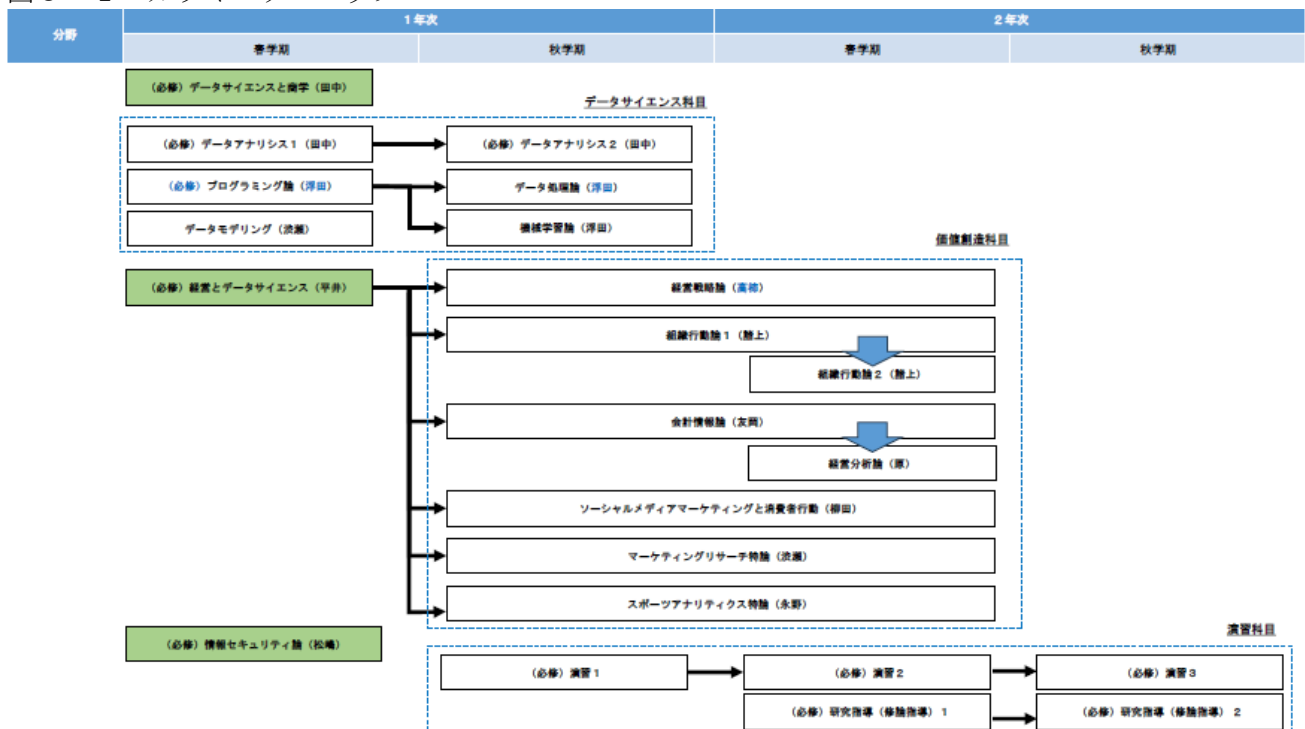
5. 教育方法、履修指導、研究指導（修論指導）の方法及び修了要件

（1）履修モデル

図 4—1 にあげた科目群を学生がどのように学んでいくかを図示したのが図 5—1 である。横軸は時間軸で、左から順に 1 年次生の春学期、秋学期、そして 2 年次生の春学期、秋学期と続いている。科目間を結ぶ矢印は、履修の順番を示している。

科目は大きく 4 種類に分けられる。緑のタイルで囲まれた 3 つが (I) 基礎科目で、1 年次の春学期に必修で全員が学ぶ。上段の点線で囲った部分が、「2 データサイエンス科目」である。中段の大きなひと固まりが (III) 価値創造科目であり、最下段が、(IV) 演習科目である。以下、時系列に沿って履修モデルを説明する。

図 5—1 カリキュラムマップ



1 1 年次生春学期

入学後の 1 年次生が春学期に履修するのはすべて必修科目である。まず一番上の「データサイエンスと商学」は全体を俯瞰してデータサイエンスとはどういう学問であり、商学とのどのようにかかわるかを講義する。大学の各科目がどういう議論を行い、それをどう組み合わせるかで修士論文を進めるかのガイドを与える役割も果たす。そのうえで、「データアナリシス」、「プログラミング論」、「データモデリング」の 3 つを学び基本的なデータ分析の手法を身につける。講義内で実データを使った演習を行い、実際に統計ソフトやプログラミング言語を自分で操作する。「経営とデータサイエンス」は経営学でデータサイエンスをどう使うかについての総論的な科目であり、秋学期以降に開講する個別科目の水先案内人の役割を果たす。情報セキュリティ論は情報を扱う上で早期に身に付ける必要があるため、この段階で履修しておいてもらう。

2 1 年次生秋学期

1 年次の秋学期から、商学系の価値創造科目を本格的に学ぶ。この段階の中心課題は修士論文としてどのようなテーマを設定するか模索である。学生は多くの価値創造科目の中から興味を持つ科目を選択して受講し、その講義を通じて修士論文のテーマを見つけてもらう。また、この時期には「演習」が

スタートする。演習は学生のテーマ模索過程を助け、また、上級生の修士論文についての討議に参加することで、修士論文作成のイメージを形作る。

3 2年次生春学期

2年次の春学期から修士論文作成がスタートする。修士論文のテーマにそって指導教員が決められ、指導教員から1対1で指導を受ける「研究指導（修論指導）」が始まる。指導教員は2年春学期はじめに学生が希望し、教員がこれを承諾して決められる。演習は引き続き行われており、研究指導（修論指導）の結果を演習で発表して皆から批判・改善提案を受け、完成度をあげていくのが、修士論文作成の基本的な進め方である。

4 2年次生秋学期

2年次の秋学期は、他の科目は取り終わっており、修士論文作成だけに集中する。

(2) 推奨履修モデル

履修過程を要約して図示すると図5-2のとおりである。1年次生の春時点では全て必修を履修する。1年次の後半から価値創造科目がはじまりこれを選択することでコースが決まる。コースはマーケティング、経営、会計の3つに分けられる。修士論文はこの3つのコースに対応する分類になる。

どのコースに進むかは学生の選択によるが、どれを選択するかは1年次春学期の「データサイエンスと商学」と「経営とデータサイエンス」の講義を受講しながら学生が判断する。この二つの講義の担当教員は、コース選択について学生への助言と指導も行う。

図5-2

モデル	科目群	1年次		2年次		修了後の進路
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	
モデル ① マーケ ティ ン グ	基礎科目 (6単位)	データサイエンスと 商学 経営とデータサイ エンス 情報セキュリティ論				① サービス・ インフラ ② 小売・商社 ③ メーカー ④ 金融 ⑤ 大学院
	データサイ エンス科目 (8単位)	データアナリシス1 プログラミング論	データアナリシス2 データモデリング			
	価値創造 科目 (6単位)		マーケティングリサ ーチ特論 ソーシャルメディア マーケティングと消 費者行動	スポーツアナリティ クス特論		
	演習科目 (10単位)		演習1	演習2 研究指導(修論指 導)1	演習3 研究指導(修論指 導)2	
	履修単位数	10単位	10単位	6単位	4単位	
モデル ② 経営	基礎科目 (6単位)	データサイエンスと 商学 経営とデータサイ エンス 情報セキュリティ論				① サービス・ インフラ ② メーカー ③ 小売・商社 ④ 官公庁・公 社・団体 ⑤ 大学院
	データサイ エンス科目 (8単位)	データアナリシス1 プログラミング論	データアナリシス2 機械学習論			
	価値創造 科目 (6単位)		経営戦略論 組織行動論1	組織行動論2		
	演習科目 (10単位)		演習1	演習2 研究指導(修論指 導)1	演習3 研究指導(修論指 導)2	
	履修単位数	10単位	10単位	6単位	4単位	

モデル ③ 会計	基礎科目 (6 単位)	データサイエンスと 商学 経営とデータサイ エンス 情報セキュリティ論				① メーカー、 商社・小売 ② 金融 ③ サービス・ インフラ ④ 大学院
	データサイ エンス科目 (8 単位)	データアナリシス1 プログラミング論	データアナリシス2 データ処理論			
	価値創造 科目 (6 単位)		経営戦略論 会計情報論	経営分析論		
	演習科目 (10 単位)		演習1	演習2 研究指導(修論指 導)1	演習3 研究指導(修論指 導)2	
	履修単位数	10 単位	10 単位	6単位	4単位	

(3) 成績評価の方法

基礎科目、データサイエンス科目、価値創造科目の成績評価の方法は学部の講義と同様に S, A, B, C, D でつける。講義内容の理解度をテスト、レポートあるいは口頭発表で判定する。ただし、このうちデータサイエンス科目はデータあるいはプログラミングを使った演習が多いので、演習での成果を必ず評価に含める。

演習での成績評価は学生の口頭発表の回数とその内容・プレゼンの評価で行う。演習は指定された論文の報告と討議を行うので、それを規定階数行うことを単位取得の条件とする。また、自分の修士論文の中間報告もこの場で行い、皆からの質疑応答を受けることを必須とする。中間報告なしでの修士論文提出は認められないため、演習での発表は必ず行われ、演習の評価点に加えられる。

演習は学生にとって、修士論文作成中の発表者にとってアドバイスを受ける場であり、また他者を説得するコミュニケーション能力を高める訓練の場でもある。さらに質問する側にとっても、他者を理解し、幅広い知見を得る機会である。なお、この重要性に鑑みて、1 年次の秋学期から卒業時まで継続して演習を行い、必修とする。

(4) 修士論文の研究指導（修論指導）の方法

修士論文の作成は、研究指導（修論指導）で行う。研究指導（修論指導）は学生と指導教員が 1 対 1 で行う演習科目であり、学生のテーマに合わせて一人（場合によっては副担当を含めて二人）の指導教員がついて 1 年間にわたって指導を行う。修士論文執筆に伴うあらゆる課題、すなわちリサーチクエスションの設定、分析方法の選択、データ収集、論文構成などについて助言を与え、論文の完成を促す。

修士論文の完成度を高めるため、中間的な段階で発表と討論の機会を設ける。発表の場としては演習を活用する。演習には 3 人の教員がおり、他の大学院生が全員いるので、この場でアドバイスをもらい、論文の完成度を高めていく。多くの人からの質疑を受けることで、幅広い視野を獲得し、論文を批判に耐えうるものにすることができる。

また、指導教員は論文の中身だけでなく、発表の仕方についても指導を行う。多くの人の前でのプレゼンテーションを繰り返すことで、学生はコミュニケーション能力を高めることができる。データ分析でよい結果を出してもそれを伝える力がなければ現場では力になれないのであり、人に伝える力も学ぶ必要がある。指導教員はこのコミュニケーション能力の育成にも力を注ぐ。

(5) 学位論文の審査体制

1 審査の体制

修士論文の審査は、主査 1 名と副査 1 名で行う。指導教員が副査となり、主査は指導教員以外の人から大学院教授会で決める。

以下の観点から学位授与の判定を行う。

- (1) 修士学位論文は、論理性・新規性があり、十分な論拠に基づいていること
- (2) 課題を解決する能力を証明する考察を含み、実践的な価値があること
- (3) 先行研究や関連研究に関する文献などが広く調べられ、整理されているとともに、研究分野における学位論文の位置づけが適切に表現されていること

上記評価項目すべてが満たされていると認められた者を合格とする。

なお、研究倫理審査については添付した本大学の倫理綱領に基づき研究科長が審査し、判定を行う。倫理審査は中間審査段階に行う。

添付資料

横浜商科大学における研究者の倫理綱領

本学が、教育・研究機関として存続し、地域社会と一体となって発展を遂げていくためには、全活動において地域社会からの信頼を得ることが何よりも重要であることを深く認識します。

そこで本学のすべての研究者は、その認識の上に立ち「安んじて事を託さるる人となれ」という建学の精神の下、研究倫理を徹底し、研究活動に関する法令を遵守するとともに、社会的責任を自覚し、公正かつ透明に業務を遂行し、地域社会からのご期待に応えるとともに、一層信頼される大学づくりに全力を尽くします。

本学は、高度な教育・研究活動により、創造的で人間性豊かな専門的職業人を養成すること、また、地域社会のリーダーとして共生社会の実現に貢献することを理念として掲げます。本学は、そうした理念を実現すべく、地域との連携を深めることにより、地域的課題への取組みを充実・発展させ、そのことを通じて獲得・保有することのできる様々な資源と知見とを研究に反映させ、広く社会に提供してゆく使命を自らに課します。

本学の上記に掲げた理念を実現し使命を全うするため、本学の教育研究活動に携わるすべての者が遵守すべき行動規範をここに定めます。

研究者の責任

自らが生み出す専門知識の質を担保する責任を有すること、さらに、自らの専門知識、技術、経験を広く社会に提供することにより、社会の発展に貢献する責任を有することを自覚する。

研究者の行動

自主性・公共性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し、常に誠実に判断し、行動する。

研究活動

知識探求の意思を持ち、真理を真摯に探究し、公益と福祉のため研究成果を公表するなど積極的に社会に還元するとともに、その成果を教育に反映させる。

研究環境の形成

研究においては、私的利益を目的とせず、報酬を伴う研究その他の活動は、学園及び大学の規則・規程・基準等に基づいて行う。また、学内外から交付される公的な研究資金を法令及び学内規程並びに不正防止計画に従って適正に使用し、不正使用を行わず、またこれに加担しない。

研究の規律

調査研究に係るデータの記録保存を厳正に行うとともに、それらの捏造・改ざん及び他の研究者の成果の盗用をせず、またこれらの知的不正行為に加担しない。

差別の禁止

他の研究者の人格・人権・学問的立場等を尊重し真摯な態度で接する。

利益相反

自らの研究、及び評価において、個人と組織の利益の衝突に十分に注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。

2 審査の手順

修士論文審査は次の段階を経て行う。

(1) 初年度研究成果発表

初年度の成果を演習の場で発表する。初年度はテーマ設定と必要なデータ入手方法、そして適切な分析手法の選択ができているかどうかを審査する。審査は演習を担当する 3 人の教員が行い、助言をあたえたとともに必要な修正を行う。

(2) 中間発表会

2 年次生の秋学期の講義中で中間発表会を行う。中間発表会の場としては演習の場を利用する。中間発表会には主査・副査が同席し、修士論文の完成見込みがあるかどうかを審査する。完成見込み有りとした場合、提出の許可を出す。この段階で提出不可と診断された場合、修士論文は提出できない。なお、中間発表会は繰り返すことができる。

(3) 最終審査

2 年次生の 1 月に締め切り日を設定し、修士論文を提出する。評価は A、B、C の 3 段階とし、主査・副査の独立した審査で一人でも C をつけるとその段階で不合格となる。2 人とも B 以上の判定をした場合、口頭試問に進む。口頭試問に合格すると修士号を認定する。なお主査・副査は合議の上で決定を行うが、意見が不一致の時は主査が決定する。

(6) 修了要件

以下の二つの条件で修了とする。

- 1 必修単位をすべて取得し、必修・選択をあわせて総単位数で 30 単位を取得すること
- 2 修士論文の審査及び口頭試問に合格すること

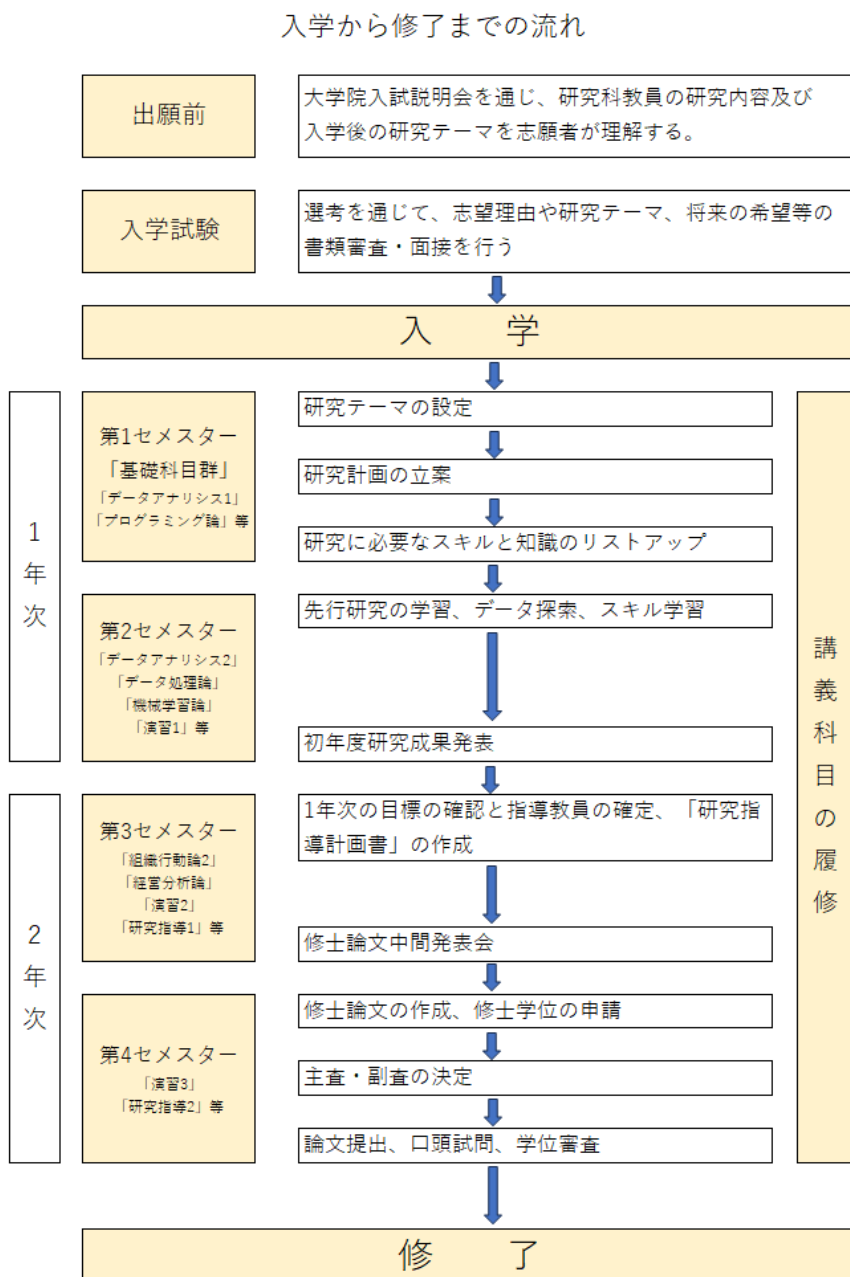
(7) 修士課程の学位論文の評価基準

修士論文は、自らたてた問題意識にもとづいて課題を設定し、分析に必要なデータ収集を行い、多様なデータ分析手法の中から適切な方法を選択して問題解決を目指す。その評価基準は、つぎのように定める。

修士論文の評価基準

- ① 自らの問題意識にもとづいた明確な研究課題を設定していること。
- ② 研究計画の立案及び遂行、データの収集及び先行研究などの取り扱いが適切であること。
- ③ データの収集に当たっては情報セキュリティ、プライバシーなどに配慮してあること。
- ④ 課題の解明に適切なデータ解析手法が採られていること。
- ⑤ 論旨が明確かつ一貫しており、推論過程が論理的に展開されていること。
- ⑥ 参考文献や注釈等の取り扱いにおいて、学術論文に必要とされる形式をそなえていること。
- ⑦ 論文の成果が課題解決に役立つものになっていること。
- ⑧ 研究者倫理を遵守したものになっていること

図 5 - 2



6 基礎となる学部との関係

本研究科の基礎となる学部は商学部である。商学部は、商学科、観光マネジメント学科、経営情報学科で構成され、経営学関連、商学関連、会計学関連、観光学関連、情報科学関連、統計科学関連、スポーツ科学関連など、多様な学問分野をカバーし、これらの学問分野を実社会、特にビジネス分野へ応用・展開する実践力を養成している。

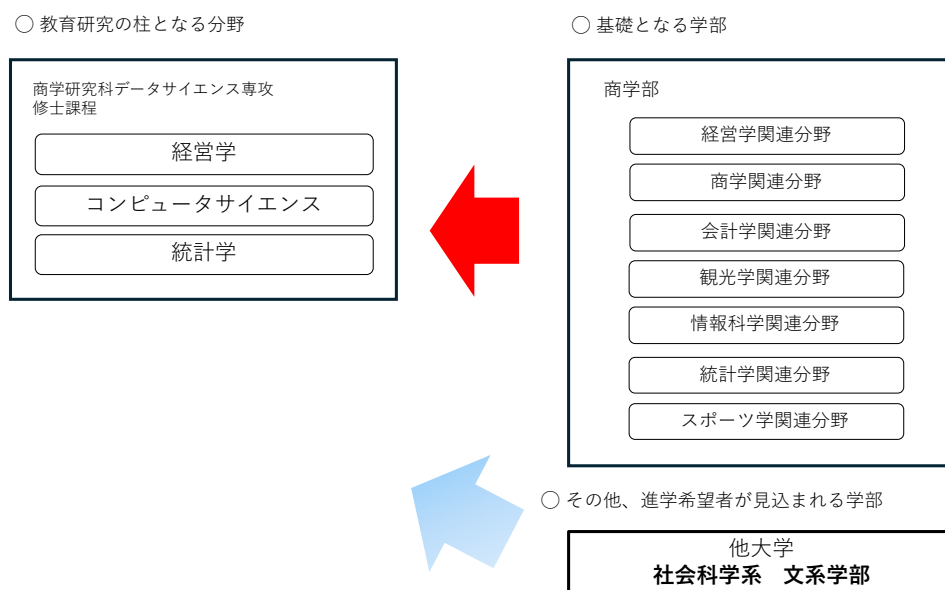
また、デジタル社会へと対応することを目的に、1年次の必修科目として「ICT リテラシー1」「ICT リテラシー2」を履修し、ICT に関する様々なサービスやツールの適切な使い方、インターネット利用時の適切な情報活用と発信や情報セキュリティ、ICT を活用することで様々な仕事を効率良く実施できる力を養っている。

さらに、商学部において情報教育を拡充させること目的に選抜制プログラムとして「データサイエンス教育プログラム」を推進し、データ駆動型社会で必要となる「データサイエンス・AI」に関する知識・技能を修得し、情報倫理の必要性を理解した上で、社会における課題解決のために基礎的なデータ

活用を実践することができる人材を育成している。

その上で、本研究科においては、商学部の商学科、観光マネジメント学科、経営情報学科の各学科で培った専門知をさらに深めるとともに、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見を活用し、実践的・実務的な環境に応じて、本質的に効果的な真の方策を見出し、新たな価値創造を可能にする「中小規模の企業」と「データサイエンス」を橋渡しするブリッジ人材を養成する。

図 6-1 基礎となる学部等との関係



本研究科の専任教員の所属学部・学科・センターは下表とおりである。専任教員は学部レベルの経営、マーケティング、会計、統計、データサイエンスを担当する教員を中心に構成し、より専門分野の知見の幅を広げ、深めるための教員を配置した。

図 6-2

＜専任教員の学部レベルの所属＞

教員名	所属
諸上詩帆	商学部商学科
原郁代	商学部商学科
渋瀬雅彦	商学部観光マネジメント学科
田中辰雄	商学部経営情報学科
浮田善文	商学部経営情報学科
松嶋智子	商学部経営情報学科
永野智久	商学部経営情報学科
柳田義継	商学部経営情報学科
友岡賛	商学部商学科（令和 6 年 4 月着任予定）
平井友行	商学部商学科（令和 6 年 4 月着任予定）

このことにより、本学位プログラムの学位分野である商学関係およびデータサイエンス関係を担保しつつ、経営、マーケティング、会計、スポーツ、観光など多様な学問分野をカバーし、それらの学問分野を実社会に応用・展開していく力を養えるよう、幅を持たせた教員構成および教育課程編成とし、従来の大学院が有していた専門知識の深化や学問的探究に加え、実社会への応用・展開やそれを遂行する実践力の養成という要素をより強調した大学院とした。

このような教員構成や教育課程編成により、従来の大学院進学者が主眼としていた学問探究の延長上にある進路だけでなく、学部で培った専門知識をさらに深めるとともに、実社会、特にビジネス分野での活躍を進路として考えている層に選択肢を提供する。

なお、本研究科への学内からの進学意向として、本学が第三者機関に依頼して行ったアンケート調査の結果において、本学の 3 年次生の進学希望者数は本研究科の入学定員を大きく上回っており、学部レベルにおける本研究科への進学が魅力的であると考えられる。

7 大学院設置基準第 2 条の 2 または第 14 条による教育方法の実施

データサイエンスの分析力と実践力を磨き、多様な価値観や倫理観が行き交う現場で課題解決力を発揮するためのマネジメント力のある高度専門人材の育成を目的とする。

本学は、まずは学部生を第一に受け入れることを念頭に置いて、アルバイト等働きながら学ぶ利便性の向上に必要な措置を実施するとともに、その後少しずつ社会人も受け入れることを想定している。その際に 14 条特例として、夜間および土曜昼間の授業を行う。

1 修業年限

入学後も働きながら学ぶ学生に対して、長期履修制度を設ける。標準修業年限は 2 年とするが、学生の負担等に配慮して、申請により長期履修制度の利用許可を得た学生は、最長 4 年までの期間を限度として、計画的に履修し修了することを可能とする。長期履修における履修期間は研究の進捗状況により変更することができる。

2 履修指導及び研究指導（修論指導）の方法

指導教員は、働きながら学ぼうとする学生がいる場合、入学前に履修方法及び研究指導（修論指導）について綿密な打合せを行い、学生個々の状況に応じて上記の長期履修制度を活用するなど無理のない適切な履修計画を指導する。

演習は、複数の教員による複数指導体制で、専門的分野や分野横断・学際的視野からの指導・助言を行う。このように、複数の指導教員によって着実に研究計画を遂行できる指導体制とする。

3 授業の実施方法

授業時間帯は原則、昼間（8 時 40 分から 17 時 30 分）に開講するが、仕事を続けながら学修する学生のために、通常の授業時間帯以降の時間帯（17 時 35 分から 20 時 45 分）にも開講する。その場合は社会人学生との個別指導を行うにあたっては、電子メールや Zoom 等の Web 会議ツールを利用した指導によって、定例の時間帯ではなく相互の事情に合わせて弾力的に実施する。

4 教員の負担の程度

働きながら学ぶ学生がいた場合、教員と学生の双方の都合に合わせて柔軟に授業・指導を行うために、演習や研究指導（修論指導）などでは電子メールや Zoom 等の Web 会議ツールを利用した授業・指導を行い、両者の負担を軽減することができる。

5 図書館・情報処理施設の利用方法等

本学の図書館は、授業開講期間は平日 9 時から 16 時 30 分まで、土曜日は 9 時から 13 時までの開館としているが、働きながら学ぶ学生のために学内に Wi-Fi 環境を整備し、電子図書や電子ジャーナルを積極的に導入し、開館時間に左右されず十分に利用可能な体制を整えている。また、情報端末、学習室、ラーニングコモンズ等が整備されている。

本学では学生が専用の端末を所有管理しており、学内のどこにいても情報ネットワークにアクセスす

ることができる。

8 入学者選抜の概要

(1) 本研究科が求める学生：アドミッション・ポリシー

本研究科では、社会・企業・組織が持つ課題を解決するにあたり、データサイエンスから導出される知見を活用して、実践的で効果的な方策を見出し、新たな価値創造を可能にする人材を養成することを目指している。

このような人材を社会に送り出すため、本研究科は、以下のような知識と能力を備えた学生を受け入れる。

- ・データサイエンスを学ぶ上で必要な知識
- ・社会・企業・組織が持つ課題を発見し、その解決策を見出そうとするための思考力
- ・社会・企業・組織が持つ課題を発見し、その解決策を見出し、実行しようとする意欲

(2) 入学者選抜の方法

ア 概要

上記の人材を育てるため以下のとおり入学者選抜を実施する。

通常選抜は次の3段階とする。

選抜にあたっては、専門分野の基礎知識と論理的な思考力に重点を置きつつ、課題を解決しようとする意欲、コミュニケーション能力を含め、総合的に評価する。本学学部出身者についても通常の選抜試験を実施する。

イ 試験内容

(1) 一次選考

一次選考では、研究計画書等の書類審査により、志望理由と興味関心を確認し選抜を行う。

(2) 二次選考

一次選考の合格者に対して、①経営分野、マーケティング分野、会計分野と②データサイエンスの融合のための基礎知識を問う筆記試験を実施し選抜を行う。筆記試験では、①経営分野、マーケティング分野、会計分野と②データサイエンスの2つの筆記試験（いずれも60分）を行い、双方の知識を持っているかを評価する。①経営分野、マーケティング分野、会計分野の筆記試験では、各分野からそれぞれ1問出題し1問を選択させる。データサイエンスの試験では、統計学、データサイエンスの各分野から各2問出題し、その中から2問を選択させる。

(3) 三次選考

三次選抜では、課題解決に向けての意欲と解決策を実行する上で必要なコミュニケーション能力を問う口述試験を実施し可否を決定する。

ウ 留学生の受入

本研究科では、日本国籍を有しない者を対象とする特別な入学者選抜は実施しない。ただし、教育の質を担保するため、日本国籍を有しない者に対しても、入学者選抜の方法・選抜基準や、入学後のカリキュラムについては、日本国籍を有する学生と同一のものを適用する。ただし、日本語能力の確認については、日本語能力試験N2以上の能力を有する者とする。

9 教育研究実施組織の編制の考え方及び特色

(1) 教員組織の編制と基本的な考え方

本研究科では、社会・企業・組織が持つ経営上の課題及び社会的課題を見出す能力と、データサイエンスから導き出される知見を活用することにより上記の課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力を持つ人材の育成を目指している。

科目担当の基本的な考え方であるが、原則として、商学とデータサイエンスに深い理解を持ち、これらの融合に関連する研究業績・教育実績を有する専任教員の中から、教育課程との適合性を考慮し決定することとした。また、課題を解決するにあたり、実践と実務が求められる環境変化にも応じられる能力を養うために実務経験のある教員を、本質的で効果の高い有用な方策を見出す能力を養うために基礎研究を行う教員を、両者のバランスも考慮し配置した。

次に、教育課程から見た、科目担当の基本的な考え方について述べる。本研究科の教育課程では、4つの科目群である「基礎科目」「データサイエンス科目」「価値創造科目」「演習科目」を系統的に学び、それらの知識とスキルを融合することにより、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を発見し解決する人材を養成する。具体的には、各科目群の内容及び研究分野の対応は以下の通りである。

基礎科目では、経営的・社会的な課題を見出す上で必要なデータサイエンスの基盤ともいえる統計学の知識を身につけ、データ社会における倫理・セキュリティに関する課題の重要性への理解も促す。このため、統計分野とセキュリティ分野の教員が必要である。

データサイエンス科目では、課題解決に役立つデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキルを身につけるための科目である。このため、統計分野とプログラミング・AI分野の教員が必要となる。

価値創造科目では、経営上あるいは社会的な課題の解決策を導出する方策を修得するための科目である。本研究科ではデータサイエンスから導出される知見を活用して実践的で効果的な方策を見出している分野の例として、経営分野、マーケティング分野、会計分野等での事例を分析する。このため、経営分野、マーケティング分野、会計分野の教員が必要である。

演習科目では、全ての学生に対し、より具体的な課題に対して実データを用い、解決策を導き出す等、事例・演習を積み重ねることにより、本研究科の中心的な内容である「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を発見し解決する能力」を育成する。ここでは、上記の6研究分野の教員が担当し、相互に連携することで、これまでに得られた知識・能力を有機的に融合することにより実践と実務を重視した問題発見・解決力を養う。

上記の教育課程編成により、本研究科で必要となる、統計分野、セキュリティ分野、プログラミング・AI分野、経営分野、マーケティング分野、会計分野の専任教員を計11名配置した。ただし、より幅広い関連分野の知識が必要な科目である「経営とデータサイエンス」と「経営戦略論」については、科目群間の繋がりを重視するために、一部の教員は複数の異なる科目群を担当することとした。

また、教員の負担増とならないよう、教員1人当たりの担当科目数を学部・研究科合わせて年14コマ(28単位)までとした。

(2) 教員の年齢構成

専任教員11名の年齢構成は、研究科完成年度(令和8(2026)年度)において、40代3人、50代5人、60代3人である。また、職位については、教授8人、准教授3人である。本研究科では実践的・実務的な環境での「社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を発見し解決する能力」を育成することを重視しているため、各年代・職位にバランスよく配置した構成となっている。

定年に関する学内規程としては、学校法人横浜商科大学就業規則第30条により、教育職員の定年は68歳と定められており、教員の年齢構成において、完成年度までの教育研究の遂行に支障は生じない。

(3) 教員組織と特色のある教育研究

本研究科の教員組織の特色は、経営上及び社会的な課題の解決力を養うのに適した商学系分野である、経営分野、マーケティング分野、会計分野の教員が充実していることである。また、これらの分野で、

理論と応用のバランスのとれた教員組織となっており、本研究科の院生は、本質で効果の高い有用な方策を見出す能力と、実践と実務が求められる環境変化にも応じられる能力の両者を効果的に身につけることができる。

また演習において、教員は専門分野が異なる 3 人体制で手厚く指導することも特色である。毎回の講義で 3 人の教員が異なる視点から助言と指導を行うため、学生は異なる専門領域にまたがる多様な課題解決力を養うことができる。加えて、演習の中で発表討議を何度も繰り返すことで、本研究科の院生は、データ分析の成果を相手に伝えるコミュニケーション力も養うことができる。

(4) 事務組織との連携

学生の教育活動及び厚生補導を担う組織として、事務局学務本部内に学生総合支援部が設置されている。ここでは、学部学生の対応と共に研究科に属する学生に対する支援も行う。学部の事務機能を活用することで学生の幅広いニーズに対応でき、学生数が少数であるため、きめ細かな支援を可能にしている。また、学生総合支援部教務課の中に研究科担当の職員を配置し、学生への教育活動と研究活動に伴う支援を行い、担当職員で対応困難な場合にも学部事務局との連携により、様々な部門との協働が可能となり、研究科に属する学生の支援を容易にしている。事務組織上でも、担当職員と教務担当事務部長が連携し、更には学務本部長や事務局長が後方支援する体制となっているため、教員組織との連携も滞りなく行われ、教育活動や研究活動が円滑に進むよう配慮している。

なお、上述の通り学部事務との接続により、学生相談室、保健室、キャリアセンターなども学部学生と同様の環境で利用可能となっており、各部署から出される情報についても、個々の学生に必要な情報を共有し、包括的に研究科学生を支援していく体制としている。

さらに、少人数での教育体制を活用し、科目を担当する教員と研究科担当職員の間で学生情報を共有し、教育研究面での支援を行っている。心理健康面でのサポートについても上述の通り、学部に設置されている学生相談室、保健室、障害学生支援室などと連携できる仕組みを構築している。また、大学院 1 年次の後期から演習科目もスタートするため、演習担当者と事務担当者が個々の学生を包括的に支援しながら学生生活をサポートしていく。

10 研究の実施についての考え方、体制、取組

本学は、高度な教育・研究活動により、創造的で人間性豊かな専門的職業人を養成すること、また、地域社会のリーダーとして共生社会の実現に貢献することを理念として掲げている。そうした理念を実現すべく、地域との連携を深めることにより、地域的課題への取組みを充実・発展させ、そのことを通じて獲得・保有することのできる様々な資源と知見を研究に反映させ、広く社会に提供していく使命を自らに課している。本学の上記に掲げた理念を実現し使命を全うするために、本学の教育研究活動に携わるすべての者が遵守すべき行動規範を「横浜商科大学における研究者の倫理綱領」として定めている。

本学では、学生、教員に対して、全学的な研究活動の活性化を達成するために、学内組織に「学術・地域連携課」を設置している。同課では、学内外における研究及び研究費の取り扱い、本学機関リポジトリ等での研究成果の公開、外部の競争的研究資金に関する情報収集・申請支援、地域連携事業の推進等を行っている。さらに、図書・雑誌・データベース・電子ジャーナル等の選定・収集、発注・受け入れ、登録・保管などの管理運営を行い、教員と学生への教育研究環境の整備と充実に努めている。

学内研究費については、「横浜商科大学商大研究費規程」を定め、専任教員を対象に、研究奨励費として、個人研究費、研究助成金、出版助成金の制度を設け、専任教員の専門分野における研究活動に必要な費用を分配している。また、公的研究費を適正に運営及び管理するための取り扱いに関して「横浜商科大学公的研究費取扱規程」定めている。不正を起こさせない組織風土を形成することを目的として、コンプライアンス教育及び啓発活動の実施している。さらに、研究活動上の不正行為の防止及び不正行為が生じた場合に厳正かつ適切に対応するための措置等に関して、「横浜商科大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」を定めている。

また本学では、環境面からも研究活動を支援するために、学業・研究・業務遂行に必要な ICT 環境を学生、教職員に提供し、大学としてあるべき ICT 環境の整備を目的として、学内組織「情報メディア課」を設置している。同課では、全学的な教育・研究の活性化のために、必要なときに必要な情報にアクセ

スできるだけでなく安全に通信できる ICT 環境を提供している。研究室の整備については、全ての専任教員に対して、個人研究室を配備し、各研究室内には、学内ネットワーク接続環境、電話回線、書棚、テーブル等を設置している。また、希望する専任教員には、研究に必要となるノート PC の貸与を行っている。

以上より、教育研究活動を支援する体制や環境を適切に整備し、教育研究活動の活性化を積極的に図っている。

1 1 施設、設備等の整備計画

(1) 校地、運動場の整備計画

本学は校地として、おもに教育研究の拠点となるつるみキャンパス、および課外活動のためのみどりキャンパスを有している。敷地総面積は 55,676.69 m²、その内つるみキャンパスは敷地面積 21,183.89 m²、建築面積 15,069.26 m²を有し、敷地内に商学部が置かれ、4 つの教室棟と図書館があり、体育館、スポーツジム、学食カフェ等の学生の福利厚生施設も充実しており、学生支援部、保健支援部も学生の活動を支えている。さらに令和 4 (2022) 年に設置された総合教育センターが教養教育を実施しており、本研究科が商学部と共用できるだけの十分な教育環境が整っている。

また、みどりキャンパスは、敷地面積 33,996.27 m²を有し、運動場・野球場・剣道場・テニスコートなど、おもに学生の課外活動のための運動施設として整備されている。その他の施設として湯河原学術研修所があり、宿泊機能を有した研修所でゼミ活動や課外活動の交流の場として活用されている。以上を踏まえて、既に使用している施設設備等をこれまでと同様に有効活用していくとともに、可能な限り教育研究に相応しい整備を図っていく。

(2) 校舎等施設の整備計画

教室について、本研究科の設置に伴う研究科の定員は 5 名と微増のため、基本的には既存の教室を活用し、本研究科における科目の配置状況やその授業形態、学生数等を踏まえたうえで必要な数及び規模の教室を用意する。つるみキャンパスには、講義室 33 室、演習室 12 室があり、これらの施設を利用して本研究科と商学部が授業を実施することを想定している。

また、本研究科では商学部に引き続き、学生は BYOD によるノートパソコンを用いた授業履修、および研究活動を実施する。本学ではノートパソコンで利用可能な Wi-Fi6 によるネットワークが構築・整備されており、学部生同様に使用することが可能となっている。また他大学に出向いての学会発表時に使用できるよう Eduroam へも参画している。電子メールやファイルサーバ、LMS など大学としてのネットワークサービスはクラウドサービスを併用することで、学外からオンラインでも使用できる。

教員の研究室については、令和 5 (2023) 年 3 月に完成した研究棟で、全ての専任教員が教育研究を円滑かつ安全に実施できるよう、プライバシーの確保された環境の整備を完了している。併せて、コモンズや演習室、AL 教室など全学共同利用スペースを利用して、他の教員や学生等とコミュニケーションを取りながら共同研究ができる環境も既に整備されている。これらの環境整備は、いずれも本学つるみキャンパスの既存施設を有効に活用することで実施する。

大学院生の教育研究に必要な環境について、教員の研究棟やその他の教室棟にワークスペース、演習室、大学院生が常駐できるような、机や椅子、本棚等を備えた自主学習スペースを設ける等、教員と大学院生との円滑なコミュニケーションの機会を提供し、必要な時にいつでも学習できる環境を整備する。

(3) 図書等の資料及び図書館の整備計画

1 図書館資料の整備状況及び整備計画

本学図書館は、学部内容に関係する専門書を中心に、年間約 1,300 冊の図書の受入を行っている。2024 年度においては通常の受入以外に、大学院設置が認められた場合は、教育職員等が選書した大学院用の資料 (約 670 冊、280 万円) を購入予定である。 (〔資料〕図書リスト)

雑誌においては、2023 年度は約 260 タイトルの紙媒体の他、約 270 種の電子ジャーナルも受け入れし、利用に供している。この内、大学院に関係のある雑誌（電子ジャーナル）は日経ビジネス、日経ビッグデータ、情報処理学会 論文誌(ジャーナル)、Journal of Product & Brand Management 等があり、計 24 タイトルある。

その他、本学が発行する雑誌「商大論集」の他、本学の研究助成で出された報告書等を本学の機関リポジトリにて公開している。2024 年度以降においても、本学の研究成果を発信していく場として、機関リポジトリを活用する。

これら図書館が所蔵する資料は、学内関係者（退職者、卒業生を含む）に限らず、学外者に対しても閲覧、利用を認めている。ただし 2020 年度以降はコロナ禍のため、学外者に対する閲覧室の利用サービス（無料）は中止していた。2024 年度からは再開予定である。

また、学外者に対し、資料の貸出サービス（有料）も実施しており、2023 年度現在はサービス対象者を通常より限定する形で実施しているが、2024 年度以降はコロナ禍前の状態（正常状態）に戻し、再開する。

2 図書館の整備状況

本学図書館の所蔵資料として、図書は約 18 万冊、雑誌は約 1,100 種類、Emerald、EBSCO といった電子ジャーナルやデータベースは約 4,000 種となっている。

2023 年度の開館時間は、授業期においては、平日は 9:00~18:00、土曜日は 9:00~13:00、長期休暇期間中の平日は 9:00~16:30 となっている。2024 年度も同様の開館体制をとる予定である。

図書館施設（図書館資料が置いてある場所）は、約 971m² となっている。閲覧室には座席が 105 席を置いてあり、個々の勉強や読書の場所として活用されている。またグループでの勉強に使用できる学習室を用意し、学生に対し事前申込制で貸し出しを行っている。また図書館内には高速で安定的な無線 LAN が利用できるネットワーク環境も整備されるなど、学生は自由に勉強や研究の場として利用できる。

図書館では、所蔵資料を検索できる学内蔵書検索システム(OPAC)、CiNii Article などの各種データベース提供している他、貸出状況照会、文献複写申込などはオンライン上でも受け付けを行うなど、学生の教育研究活動を支えている。

3 他の大学図書館等との協力について

図書館利用者に対して、本学にある資料を提供するほか、多くの大学図書館等が所属する NACSIS-ILL 等図書館相互利用(Inter-Library Loan:ILL)を通じて、国内にある資料を取り寄せ提供している。

また、横浜市内にある主な大学図書館が所属している「横浜市内大学図書館コンソーシアム」では、2023 年度から 2024 年度は本学が委員長校となっており、会合を年 2 回程開催する他、加盟図書館との連携事業（互いの図書館職員にとって良き成果が出るような研修等）の企画を予定している。

1 2 管理運営

（1）研究科長

本研究科に、研究科に関する職務をつかさどるために、研究科長を置く。（学校法人横浜商科大学組織及び職制に関する規則第 12 条）

研究科設置後の研究科長の選任は、教授会構成員の中から学長が任命する。研究科長の任期は 2 年とし、再任は妨げない。研究科発足時の研究科長は大学院設置準備委員会の委員の中から学長が任命する。

なお、大学院の講義科目を担当する専任教員の内 1 名を、学長が研究科長補佐に任命し、研究科長補佐は研究科の運営を補佐する。

（2）教授会

本研究科に教授会を置く。（横浜商科大学教授会運営規程 7 条）

教授会では、入試及び学生の入学、課程の修了、学位の授与を始め、教育研究に関する事項で教授会の意見を聴くことが必要と学長が認めた事項について審議する。教授会の審議事項の内、法人全体とし

て協議が必要な事項については、学長が学校法人横浜商科大学常任理事会へ上程するものとする。

教授会は研究科長を議長とし、学長、研究科長補佐及び所属する専任教員、事務局長を主たる構成員とする。（横浜商科大学大学院学則 7 条）教授会は 8 月及び 9 月を除いた各月 1 回の定例開催とし、必要に応じて臨時に開催するものとする。

（3）事務組織

本研究科の運営に関する事項の内、事務処理に関わる事項、大学院生の履修及び教育支援に関わる事項に対応するため、学務本部学生総合支援部教務課の中に大学院担当者の職員を配置する。

また、学部事務の中に大学院事務の機能を置くことで、事務局長を要とした学部事務の機能を活用することにも繋がり、大学院生にとっても学生支援の質を保持した状態で支援を受けられる事となる。大学院担当職員には日々の業務は学部担当の教務課員と連携し、懸案事項については学生総合支援部教務担当事務部長、学務本部長、事務局長へと繋がる組織体制のもとで支える仕組みとなり、大学院生に安定的な支援を提供できる組織としている。

1 3 自己点検・評価

（1）自己点検・評価に関する体制

本学では、「横浜商科大学学則」第 2 条に「教育研究水準の向上に資するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況（以下「教育研究活動等の状況」という。）について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と定め、学則に則り、「学校法人横浜商科大学組織及び職制に関する規則」及び「学校法人横浜商科大学自己点検・評価に関する規程」で全学的な体制で自己点検・評価に取り組むとしている。

全学的な自己点検・評価体制として「学校法人横浜商科大学組織及び職制に関する規則」第 16 条により、教育研究水準の向上及び法人の経営基盤の健全性確保並びに法人における諸活動の社会的説明の責務を全うするため、理事長の下に自己点検・評価会議を設置するとし、「学校法人横浜商科大学自己点検・評価に関する規程」第 5 条では、理事長を議長とし、常務理事、教学の最高決定機関である大学運営会議の構成員（学長、副学長、商学部長、各専門部会長、事務局長、学務本部長、管理本部長、学務本部事務部長）及び地域産業研究所長、監査室長、管理本部の事務部長で構成することにより、全学的な体制で取り組むとされている。自己点検・評価会議では、①自己点検・評価の実施及び認証評価の受審に係る企画・立案並びに各部署が取り組むべき課題及び工程表の全学的調整、②各部署から提出された自己点検・評価及び認証評価に係る報告（改善提案を含む。）の取り纏め及び相互調整を図ることとしている。

（2）自己点検・評価に関する情報の公表

自己点検・評価の実施周期は「学校法人横浜商科大学自己点検・評価に関する規程」第 4 条第 3 項で 4 年以内ごとに取り纏め、理事長及び学長に報告の上、公表するとされている。また、公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価受審の際は「適合」の認定を受けており、認証評価結果についても本学の Web サイトに掲載し、公表している。

●https://www.shodai.ac.jp/basic_info/report/

●ホーム>学校法人情報>認証評価および自己点検・評価報告書

●大学機関別認証評価

・平成 29（2017）年度 ・平成 25（2013）年度（再評価） ・平成 22（2010）年度

●自己点検・評価書

・令和 4（2022）年度（教職課程） ・令和 3（2021）年度 ・平成 27（2015）年度

1 4 情報の公表

本学では、「学校教育法施行規則」第 172 条の 2 に基づき、広く社会に情報を公開することで教育研究の質向上を目的に、建学の精神やポリシー、中長期計画、大学からのメッセージ等の大学の方向性と学生数、教職員数、組織図、キャンパスガイド等の基本情報を発信しつつ、学部・学科案内、シラバス、カリキュラム、特色ある教育プログラム等を大学の Web サイトに公表している。また、法人の財務情報は、「学校法人横浜商科大学情報公開に関する規則」第 2 条に則り公開すべき財務情報を Web サイトに公表し、第 4 条により閲覧による情報開示の範囲を定めている。

1 大学の教育研究上の目的に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/university/admission/>
- ホーム＞大学案内＞建学の精神・横浜商科大学のポリシー
- ・法人の目的、大学の使命、教育方針、ポリシー

- URL：<https://www.shodai.ac.jp/education/>

- ホーム＞教育・研究（商学部）
- ・学部、学科の教育研究上の目的に関すること

2 教育研究上の基本組織に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/university/organization/>
- ホーム＞大学案内＞組織図
- ・組織図

3 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/teacher/index/>
- ホーム＞学部・学科＞教員紹介
- ・教員組織 ・教員数等 ・教員の研究業績等

4 入学者に関する受入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業した者の数並びに進学者及び就業者数その他進学及び就業等の状況に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/university/admission/>
- ホーム＞大学案内＞建学の精神・横浜商科大学のポリシー
- ・入学者に関する受入方針

- <https://www.shodai.ac.jp/university/number/>

- ホーム＞大学案内＞学生数・教職員数
- ・入学者の数 ・収容定員 ・入学定員、在学学生の数（学部）
- ・卒業及び修了数 ・就職者数、進学者数及びその状況

5 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/education/charm/>
- ホーム＞教育・研究（商学部）＞商大の学び方
- ・授業科目、授業の方法及び内容

- <https://www.shodai.ac.jp/education/department/syllabus/>

- ホーム＞教育・研究（商学部）＞学部・学科案内＞シラバス
- ・シラバス検索 ・年間の授業の計画

6 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/education/department/syllabus/>
- ホーム>教育・研究（商学部）>学部・学科案内>シラバス
・シラバス検索

- <https://www.shodai.ac.jp/gm/pdf/2023/yoran2023.pdf>
- ホーム>pdf>yoran2023
・YOKOHAMA COLLEGE OF COMMERCE 学生便覧 2023

- <https://www.shodai.ac.jp/university/admission/>
- ホーム>大学案内>建学の精神・横浜商科大学のポリシー
・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー

7 校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/university/campusguide/>
- ホーム>大学案内>キャンパスガイド1つるみキャンパス
・キャンパスガイド

- <https://www.shodai.ac.jp/access/index.html#tsurumi>
- ホーム>アクセスマップ
・アクセスマップ・共通アクセス

8 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/scholarship/expense/>
- ホーム>学費・奨学金>学費
・学費

9 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

- <https://www.shodai.ac.jp/employment/>
- ホーム>就職・キャリア支援
・就職サポート体制 ・資格取得支援 ・就職支援プログラム

- <https://www.shodai.ac.jp/campuslife/>
- ホーム>キャンパスライフ
・健康管理サポート（保健室・学生相談室・障害学生支援室）

10 その他（教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学則等各種規程、設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認証評価の結果 等）

卒業認定・学位授与の方針

- <https://www.shodai.ac.jp/university/admission/>
- ホーム>大学案内>建学の精神・横浜商科大学のポリシー

学則

- https://www.shodai.ac.jp/basic_info/
- ホーム>学校法人情報

設置認可申請書及び設置届出書、設置計画履行状況報告書

- https://www.shodai.ac.jp/basic_info/
- ホーム>学校法人情報

自己点検・評価報告書

●https://www.shodai.ac.jp/basic_info/report/

●ホーム>学校法人情報>認証評価および自己点検・評価報告書

授業評価アンケート報告書・学生調査報告書・卒業時アンケート報告書

●https://www.shodai.ac.jp/university/ir_info/

●ホーム>大学案内>IR 情報

機関別認証評価 提出資料、評価結果、改善報告書検討結果

●https://www.shodai.ac.jp/basic_info/report/

●ホーム>学校法人情報>認証評価および自己点検・評価報告書

1 5 教育内容等の改善のための組織的な研修等

- 1 本学では、平成 20（2008）年度中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」に基づき、教育活動の俯瞰と振り返りを行い、授業改善につなげることを目的としたティーチング・ポートフォリオ（TP）を専任教員人事評価の重点評価項目として位置づけている。

このため、毎年 2 回、東京大学の栗田佳代子先生に指導をお願いし、専任教員同士がグループワークをしながら、お互いの教育活動や改善・努力・成果・評価さらには「教育理念」および「理念を具現化している方針・方法」などについて対話をしながら TP を作成していく。

これにより、各教員が

- ・教育活動を俯瞰できる
- ・教育理念に自ら気づいて書ける
- ・教育理念と方針・方法の結びつきを説明できる
- ・長期目標・短期目標を設定できる

ようになる。

本学ホームページにある教員紹介ページ上に全教員のティーチング・ステートメント（TP の簡易版）を公開している。

- 2 認証評価第 3 サイクルや中教審から発表された教学マネジメント指針を受け、本学では、教育の質の維持と改善を図るため、令和 4（2022）年度に学長の下に「内部質保証推進会議」を設置している。内部質保証推進会議のその下に「データ可視化 WG」を作り、学修成果可視化システム「Assessmentor」導入を決めた。

これにより、

- ・ディプロマポリシーとカリキュラムの整合性を可視化
- ・カリキュラムマネジメントのためのアセスメントを仕組み化
- ・シラバスの到達目標ベースで学生自身の理解度チェック
- ・学生の成長過程を可視化しディプロマサプリメントとして出力

することができるようになり、令和 5（2023）年度から運用を開始している。

このため、学生はもちろんのこと、教員も令和 5（2023）年度には、年 5 回の研修会を行い、以下のようなアセスメント構成で学習成果が可視化できるようになった。

設置の趣旨等を記載した書類（資料）

1 図書リスト

1

通番	頁 No.	ISBN（13桁）	書名	版次	装丁	出版社名	著者名	出版年月	標準価格	見積価格 （税込）	冊数	見積金額 （税込）
1	3	9781098140250	Causal Inference in Python : Applying Causal Inference in the Tech Industry		PAP	O'Reilly Media	Facure, Matheus	202307	15,118	16,629	1	16,629
2	6	9781394165230	Data Quality : Empowering Businesses with Analytics and AI		HRD	Wiley	Southehal, Prashanth	202302	7,560	8,316	1	8,316
3	15	9781526497994	The SAGE Handbook of the Digital Media Economy		HRD	Sage Publications Ltd	Flew, Terry (EDT)/ Holt, Jennifer (EDT)/ Thomas, Julian (EDT)	202210	31,920	35,112	1	35,112
4	19	9780323917179	Introduction to Business Analytics Using Simulation	2ND	PAP	Academic Press Inc	Pinder, Jonathan P.	202207	19,845	21,829	1	21,829
5	25	9780262543279	Persuading with Data : A Guide to Designing, Delivering, and Defending Your Data		PAP	MIT Press	Kazakoff, Miro	202203	7,560	8,316	1	8,316
6	36	9780226811147	Get in the Game : An Interactive Introduction to Sports Analytics		PAP	University of Chicago Press	Chartier, Tim/ Earle, Ansley (ILT)	202209	3,402	3,742	1	3,742
7	38	9781492598534	Applied Sport Business Analytics		PAP	Human Kinetics	Atwater, Christopher/ Baker, Robert E./ Kwartler, Ted	202203	20,601	22,661	1	22,661
8	43	9780367469382	Analytic Methods in Sports : Using Mathematics and Statistics to Understand Data from Baseball, Football, Basketball, and Other Sports	2ND	PAP	Chapman & Hall/CRC	Severini, Thomas A.	202003	15,159	16,674	1	16,674
9	45	9781138701403	Digital Sport Marketing : Concepts, Cases and Conversations		PAP	Routledge	Seymour, Alan/ Blakey, Paul	202009	10,371	11,408	1	11,408
10	46	9780367750930	Match Analysis : How to Use Data in Professional Sport		PAP	Routledge	Memmert, Daniel (EDT)	202111	9,573	10,530	1	10,530
11	47	9789811247521	Sports Analytics (World Scientific Series in Finance)		PAP	World Scientific Publishing Co Pte Ltd	Maclean, Leonard C/ Ziemba, William T	202112	7,550	8,305	1	8,305
12	48	9781420088281	Handbook of Codes and Sequences with Applications in Communication, Computing and Information Security (Discrete Mathematics and Its Applications)		HRD	Taylor & Francis Inc	Boztas, Serdar (EDT)/ Parampalli, Udaya (EDT)	202312	37,240	40,964	1	40,964
13	49	9780262547208	Privacy Is Hard and Seven Other Myths : Achieving Privacy through Careful Design		PAP	MIT Press	Hoepman, Jaap-Henk	202310	4,715	5,186	1	5,186
14	50	9781119883982	Not with a Bug, but with a Sticker: Attacks on Machine Learning Systems and What to Do about Them		HRD	Wiley	Siva Kumar, Ram Shankar/ Anderson, Hyrum	202306	5,292	5,821	1	5,821
15	51	9783031268441	Guide to Cybersecurity in Digital Transformation : Trends, Methods, Technologies, Applications and Best Practices (Advances in Information Security)		HRD	Springer	Möller, Dietmar P. F.	202305	15,447	16,991	1	16,991
16	52	9781119892304	How to Measure Anything in Cybersecurity Risk	2ND	HRD	Wiley	Hubbard, Douglas W./ Seiersen, Richard	202304	11,340	12,474	1	12,474
17	53	9781538167823	Privacy in the Age of Big Data : Recognizing Threats, Defending Your Rights, and Protecting Your Family	2ND	HRD	Rowman & Littlefield	Payton, Theresa/ Claypoole, Ted	202303	6,615	7,276	1	7,276
18	54	9781529226959	What Is Cybersecurity For? (What Is It For?)		PAP	Bristol University Press	Stevens, Tim	202303	2,833	3,116	1	3,116
19	55	9781119822165	Cybersecurity Law	3RD	HRD	Wiley	Kosseff, Jeff	202211	21,725	23,897	1	23,897
20	56	9781119895183	If It's Smart, It's Vulnerable		HRD	Wiley	Hyponen, Mikko	202209	5,292	5,821	1	5,821
21	58	9781108415279	Data Analytics for Cybersecurity		HRD	Cambridge University Press	Janeja, Vandana P.	202207	14,627	16,089	1	16,089
22	59	9789811926570	Cybersecurity and Identity Access Management		HRD	Springer	Rawal, Bharat S./ Manogaran, Gunasekaran/ Peter, Alexender	202206	20,597	22,656	1	22,656
23	60	9781119867180	Cybersecurity for Dummies	2ND	PAP	Wiley	Steinberg, Joseph	202206	5,668	6,234	1	6,234

通番	頁号 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	装丁	出版社名	著者名	出版年月	標準価格	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)
24	61	9781119872191	Hacking for Dummies	7TH	PAP	Wiley	Beaver, Kevin	202206	5,668	6,234	1	6,234
25	62	9781119788287	Cybersecurity and Local Government		HRD	Wiley	Norris, Donald F./ Mateczun, Laura K./ Forno, Richard F.	202204	21,347	23,481	1	23,481
26	63	9780367365721	Information Security Handbook (Internet of Everything Ioe)		HRD	CRC Press	Zhang, Noor Zaman (EDT)/ Hussain, Khalid (EDT)/ Humayun, Mamoonah (EDT)	202202	39,900	43,890	1	43,890
27	64	9783030632892	The Theory of Hash Functions and Random Oracles : An Approach to Modern Cryptography		PAP	Springer	Mittelbach, Arno/ Fischlin, Marc	202202	12,357	13,592	1	13,592
28	65	9780367551698	Cyberpredators and Their Prey		PAP	CRC Press	Shapiro, Lauren R.	202209	12,499	13,748	1	13,748
29	66	9781032034096	Teaching Cybersecurity : A Handbook for Teaching the Cybersecurity Body of Knowledge in a Conventional Classroom (Internal Audit and It Audit)		PAP	CRC Press	Shoemaker, Daniel/ Sigler, Ken/ Shoemaker, Tamara	202302	9,307	10,237	1	10,237
30	72	9781098113001	Learning Data Science : Data Wrangling, Exploration, Visualization, and Modeling with Python		PAP	O'Reilly Media	Lau, Sam/ Gonzalez, Joseph/ Nolan, Deborah	202309	17,008	18,708	1	18,708
31	73	9781098135720	Machine Learning with Python Cookbook : Practical Solutions from Preprocessing to Deep Learning	2ND	PAP	O'Reilly Media	Gallatin, Kyle/ Albon, Chris	202308	15,118	16,629	1	16,629
32	74	9781492097679	Probabilistic Machine Learning for Finance and Investing : A Primer to the Next Generation of AI with Python		PAP	O'Reilly Media	Kanungo, Deepak K.	202308	15,118	16,629	1	16,629
33	76	9781492097402	R for Data Science : Import, Tidy, Transform, Visualize, and Model Data	2ND	PAP	O'Reilly Media	Wickham, Hadley/ Cetinkaya-Rundel, Mine/ Golemund, Garrett	202306	15,118	16,629	1	16,629
34	78	9781098134181	Generative Deep Learning : Teaching Machines to Paint, Write, Compose, and Play	2ND	PAP	O'Reilly Media	Foster, David	202305	15,118	16,629	1	16,629
35	79	9781098129460	Practical Data Privacy : Enhancing Privacy and Security in Data		PAP	O'Reilly Media	Jarmul, Katharine	202305	12,472	13,719	1	13,719
36	82	9781098107635	Essential Math for AI : Next-Level Mathematics for Efficient and Successful AI Systems		PAP	O'Reilly Media	Nelson, Hala	202301	15,118	16,629	1	16,629
37	追加	9783030143152	R for Marketing Research and Analytics	2ND	PAP	Springer	Chapman, Chris/ Feit, Elanor	201905	14,417	15,858	1	15,858
38	追加	9781492054702	Mastering Blockchain : Unlocking the Power of Cryptocurrencies, Smart Contracts, and Decentralized Applications		PAP	O'Reilly Media	Lantz, Lorne/ Cawrey, Daniel	202011	14,893	16,382	1	16,382

38 589,041

通番	頁学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
1	1	9784873119939	初めてのTensorFlow、js:JavaScriptで学ぶ機械学習		ガント・ラボルド:あんど うやすし	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202206	3,600	3,564	1	3,564	
2	6	9784839983925	サイバーセキュリティの教科書		トーマス・克蘭ツ:スモ ーキー	マイナビ出版	202311	3,480	3,445	1	3,445	
3	24	9784781915142	コンピュータのしくみ:情報活用能力とは何かを考える		佐藤一郎(コンピュータサ イエンス)	サイエンス社	202109	1,800	1,782	1	1,782	
4	25	9784873118857	Rクックブック	第2版	J. D. ロング:ポール・ ティーター	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202001	3,600	3,564	1	3,564	
5	26	9784295012559	1週間でMySQLの基礎が学べる本		亀田健司	インプレス	202109	2,600	2,574	1	2,574	
6	27	9784274225161	データベースシステム	改訂2版	北川博之	オーム社	202004	3,200	3,168	1	3,168	
7	28	9784873119779	SQLクックブック:データベースエキスパート、データサ イエнтиストのための実践レシピ集	第2版	アンソニー・モリナロ:ロ バート・デ・グラーフ	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202202	4,000	3,960	1	3,960	
8	29	9784873119588	初めてのSQL	第3版	アラン・ブルー:クイ ープ	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202107	2,800	2,772	1	2,772	
9	30	9784873119540	詳説データベース:ストレージエンジンと分散データシス テムの仕組み		アレックス・ベトロ:小林 隆浩	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202107	3,800	3,762	1	3,762	
10	31	9784339029192	データベースの基礎:MariaDB/MySQL対応	改訂版	永田武	コロナ社	202107	2,400	2,376	1	2,376	
11	32	9784839982805	データサイエンティストのための特徴量エンジニアリング		ソルダード・ギャリー:松 田晃一	マイナビ出版	202306	3,580	3,544	1	3,544	
12	33	9784297116590	基本がわかるSQL入門:データベース&設計の基礎から楽 しく学ぶ		西村めぐみ	技術評論社	202010	2,480	2,455	1	2,455	
13	34	9784297132064	内部構造から学ぶPostgreSQL設計・運用計画の鉄 則	改訂3版	上原一樹:勝俣智成	技術評論社	202212	3,200	3,168	1	3,168	
14	35	9784320125698	モダンSQL:データ管理から分析へ		石川博(情報処理学):土 田正士	共立出版	202311	4,800	4,752	1	4,752	
15	36	9784065193105	データサイエンスのためのデータベース		吉岡真治:村井哲也	講談社	202004	2,400	2,376	1	2,376	
16	37	9784798064550	図解!SQLのツボとコツがゼッタイにわかる本		五十嵐貴之:芳賀勝紀	秀和システム	202108	2,600	2,574	1	2,574	
17	38	9784595324185	データベース	改訂版	辻靖彦:芝崎順司	放送大学教育振興会(発 売:NHK出版)	202303	3,700	3,663	1	3,663	
18	39	9784798161488	MySQL徹底入門:MySQL8.0対応	第4版	yokuo825:坂井恵	翔泳社	202007	3,800	3,762	1	3,762	
19	41	9784798158723	絵で見てわかるSQLServerの仕組み		平山理	翔泳社	202009	2,600	2,574	1	2,574	
20	42	9784798166056	図解まるわかりデータベースのしくみ:知識ゼロでもよくわ かる構築も運用もすべて図解		坂上幸大	翔泳社	202101	1,680	1,663	1	1,663	
21	44	9784815615215	統計学×データ分析 基礎から体系的に学ぶデータサイ エンティスト養成教室		浜松ウエジマ	SBCクリエイティブ	202301	2,300	2,277	1	2,277	
22	45	9784295015956	TheKaggleBook:データ分析競技 実践ガ イド&精選31人インタビュー		コンラッド・バナシェ ヴィッチ:ルカ・マサロン	インプレス	202302	3,900	3,861	1	3,861	
23	46	9784274230486	BayoLinkSで実践するベジアンネットワーク		本村陽一	オーム社	202307	3,400	3,366	1	3,366	
24	47	9784274226250	Rによるデータ分析のレシピ		舟尾暢男	オーム社	202011	2,400	2,376	1	2,376	
25	48	9784274227974	データサイエンスの考え方:社会に役立つAI×データ活用 のために		小澤誠一:齋藤政彦	オーム社	202111	2,500	2,475	1	2,475	
26	50	9784814400324	Pythonによる地理空間データ分析:例題で学ぶロケー ションインテリジェンス		ポニー・マクレーン:廣川 類	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202309	3,400	3,366	1	3,366	
27	51	9784814400201	SQLではじめるデータ分析:クエリで行う前処理、時系列 解析、コホート分析、テキスト分析、異常検知		キャシー・タニムラ:大橋 真也	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202301	3,400	3,366	1	3,366	
28	52	9784873118918	データサイエンス設計マニュアル		スティーブ・ン・スキ ーナ:小野陽子(データサイ エンス)	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202001	3,800	3,762	1	3,762	
29	53	9784873119533	データビジュアライゼーションの基礎:明確で、魅力的で、 説得力のあるデータの見せ方・伝え方		クラウス・O. ヴィルカ: 小林儀匡	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202203	3,400	3,366	1	3,366	
30	54	9784873119601	実践時系列解析:統計と機械学習による予測		アイリーン・ニールセン: 山崎邦子	オライリー・ジャパン(発 売:オーム社)	202109	3,600	3,564	1	3,564	
31	55	9784339029048	フリーソフトETEDMで学ぶ実践データ分析:データサイ エンティスト育成テキスト		砂山渡	コロナ社	202003	2,500	2,475	1	2,475	
32	56	9784839968939	Kaggleコンペティションチャレンジブック:Python による機械学習例題実戦分析		チョン・クヌ:巢竜悠輔	マイナビ出版	202012	3,480	3,445	1	3,445	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
33	57	9784839982836	R／R S t u d i oでやさしく学ぶプログラミングとデータ分析		掌田津耶乃	マイナビ出版	202305	2,590	2,564	1	2,564	
34	58	9784839976392	データ分析力を育てる教室		松本健太郎（データサイエンス）	マイナビ出版	202206	2,090	2,069	1	2,069	
35	122	9784814400508	R a s p b e r r y P i クickブック （第4版）	第4版	サイモン・モンク：水原文	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202401	3,900	3,861	1	3,861	改版があり、新版でお見積り致しました。
36	60	9784621305966	計算社会科学入門		鳥海不二夫：石井晃	丸善出版	202101	3,800	3,762	1	3,762	
37	61	9784297127244	〔エンジニアのための〕データ分析基盤入門 データ活用を促進する！プラットフォーム		斎藤友樹	技術評論社	202203	2,720	2,692	1	2,692	
38	63	9784297125240	Rが生産性を高める～データ分析ワークフロー-効率化の実践		i g j i t : a t u s y	技術評論社	202202	2,900	2,871	1	2,871	
39	64	9784297121709	RユーザのためのR S t u d i o 〔実践〕入門：t i d y v e r s eによるモダンな分析フローの世界	改訂2版	松村優哉：湯谷啓明	技術評論社	202106	2,980	2,950	1	2,950	
40	65	9784297132361	Rユーザのためのt i d y m o d e l s 〔実践〕入門：モダンな統計・機械学習モデリングの世界		松村優哉：瓜生真也	技術評論社	202301	2,720	2,692	1	2,692	
41	66	9784297113414	データ活用のための数理モデリング入門		水上ひろき：熊谷謙介	技術評論社	202004	2,680	2,653	1	2,653	
42	67	9784297119522	ビッグデータを支える技術：ラップトップ1台で学ぶデータ基盤のしくみ	増補改訂	西田圭介	技術評論社	202102	3,200	3,168	1	3,168	
43	68	9784297121273	絵と図でわかるデータサイエンス：難しい数式なしに考え方の基礎が学べる		上藤一郎	技術評論社	202106	2,000	1,980	1	1,980	
44	69	9784297124458	実践的データ基盤への処方箋：ビジネス価値創出のためのデータ・システム・ヒトのノウハウ		ゆずたそ：渡部徹太郎	技術評論社	202112	2,400	2,376	1	2,376	
45	70	9784297133146	評価指標入門 データサイエンスとビジネスをつなぐ架け橋		高柳慎一：長田怜士	技術評論社	202303	2,720	2,692	1	2,692	
46	71	9784320124868	Rによるインタラクティブなデータビジュアライゼーション：探索的データ解析のためのp l o t l y と s h i n y		カーソン・シーベルト：興石拓真	共立出版	202205	4,800	4,752	1	4,752	
47	72	9784320072015	T a b l e a u 徹底入門：基礎から実務まで完全マスター		酒井悠亮：渡部卓久	共立出版	202207	4,000	3,960	1	3,960	
48	73	9784320125674	データ分析失敗事例集：失敗から学び、成功を手にする		尾花山和哉：ホクソエム	共立出版	202308	2,400	2,376	1	2,376	
49	74	9784320124769	仮説のつくりかた：多様なデータから新たな発想をつかめ		石川博（情報処理学）	共立出版	202109	3,400	3,366	1	3,366	
50	75	9784320125728	新入生のためのデータサイエンス入門		豊田修一：樽井勇之	共立出版	202310	2,600	2,574	1	2,574	
51	76	9784320114593	文理融合データサイエンス入門		小高知宏：小倉久和	共立出版	202109	2,400	2,376	1	2,376	
52	77	9784065188040	テキスト・画像・音声データ分析		西川仁：佐藤智和	講談社	202005	2,800	2,772	1	2,772	
53	78	9784065164044	データ分析のためのデータ可視化入門		キーラン・ヒーリー：瓜生真也	講談社	202101	3,200	3,168	1	3,168	
54	79	9784065307892	応用基礎としてのデータサイエンス A l x データ活用の実践		北川源四郎：竹村彰通	講談社	202302	2,600	2,574	1	2,574	
55	80	9784798067896	T a b l e a u データ分析：入門から実践まで	第3版	清水隆介：前田周輝	秀和システム	202211	4,900	4,851	1	4,851	
56	81	9784254102932	データビジュアライゼーション：データ駆動型デザインガイド		アンディ・カーク：黒川利明	朝倉書店	202108	4,500	4,455	1	4,455	
57	82	9784807920396	〔実践〕データ活用システム開発ガイド：10年使えるシステムへのスモールスタート		徳永竣亮：本田志温	東京化学同人	202212	3,000	2,970	1	2,970	
58	83	9784807920327	ミューラ-P y t h o n で実践するデータサイエンス	原著第2版	ジョン・ボール・ミューラ：ルカ・マサロン	東京化学同人	202308	4,000	3,960	1	3,960	
59	84	9784798165233	P y t h o n で動かして学ぶ！K a g g l e データ分析入門		篠田裕之	翔泳社	202010	2,600	2,574	1	2,574	
60	85	9784798179612	S Q L 1年生データベースのしくみ S Q L i t e で体験してわかる！会話でまなべる！		リブワークス	翔泳社	202310	1,980	1,960	1	1,960	
61	86	9784798165257	データサイエンスの無駄遣い：日常の些細な出来事を真面目に分析する		篠田裕之	翔泳社	202110	2,400	2,376	1	2,376	
62	87	9784798175805	図解まるわかりデータサイエンスのしくみ		増井敏克	翔泳社	202207	1,680	1,663	1	1,663	
63	88	9784296106899	ハンズオンで分かりやすく学べるG o o g l e C l o u d 実践活用術 A l ・機械学習：G o o g l e 監修		日経クロステック：大澤文孝	日経BP(発売：日経B P マーケティン)	202105	2,700	2,673	1	2,673	
64	89	9784296109098	ハンズオンで分かりやすく学べるG o o g l e C l o u d 実践活用術 データ分析・シ：G o o g l e 監修		日経クロステック：大澤文孝	日経BP(発売：日経B P マーケティン)	202106	3,600	3,564	1	3,564	

通番	頁学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
65	90	9784873119298	初めてのマルウェア解析：Windowsマルウェアを解析するための概念、ツ－		モナッパ・ケー・エー：石川朝久	オライリー・ジャパン(発売：オ－ム社)	202012	4,000	3,960	1	3,960	
66	91	9784873119748	詳解インシデントレスポンス：現代のサイバー攻撃に対処するデジタルフォレンジック		スティーブ・アンソン：石川朝久	オライリー・ジャパン(発売：オ－ム社)	202201	4,200	4,158	1	4,158	
67	92	9784757103924	制御システムセキュリティ入門：Society 5.0／Industry 4.0時代に		満永拓邦：池上祐太	N T T 出版	202003	3,600	3,564	1	3,564	
68	93	9784295010029	ホワイトハッカー入門		阿部ひろき	インプレス	202010	2,600	2,574	1	2,574	
69	94	9784274231032	「サイバーセキュリティ、マジわからん」と思ったときに読む本		大久保隆夫	オ－ム社	202310	1,800	1,782	1	1,782	
70	95	9784274228797	マスタリングTCP／IP 情報セキュリティ編	第2版	齋藤孝道	オ－ム社	202206	3,200	3,168	1	3,168	
71	96	9784274228162	情報セキュリティ	改訂2版	宮地充子：菊池浩明	オ－ム社	202202	3,000	2,970	1	2,970	
72	97	9784873119731	サイバーセキュリティプログラミング：Pythonで学ぶハッカーの思考	第2版	ジャスティン・サイツ：ティム・アーノルド	オライリー・ジャパン(発売：オ－ム社)	202204	3,200	3,168	1	3,168	
73	98	9784873119212	リアルワールドバグハンティング：ハッキング事例から学ぶウェブの脆弱性		ピーター・ヤウォルスキー：玉川竜司	オライリー・ジャパン(発売：オ－ム社)	202009	3,000	2,970	1	2,970	
74	99	9784910108063	フェイクとの闘い：暗号学者が見た大戦からコロナ禍まで		辻井重男	コトニ社(発売：トランスビュー)	202109	2,500	2,475	1	2,475	
75	100	9784339029246	ネットワークセキュリティ概論		井関文一	コロナ社	202203	2,700	2,673	1	2,673	
76	101	9784339029291	ネットワークセキュリティ詳説 PKI／TLSプロトコル		加藤聰彦	コロナ社	202210	3,700	3,663	1	3,663	
77	103	9784839977382	サイバー術：プロに学ぶサイバーセキュリティ		ベン・マッカーティ：Smoky	マイナビ出版	202111	3,280	3,247	1	3,247	
78	104	9784839968250	暗号技術実践活用ガイド		ジャン・フィリップ・オーマソン：Smoky	マイナビ出版	202009	3,620	3,583	1	3,583	
79	106	9784297121068	情報セキュリティの技術と対策がこれ1冊でしっかりわかる教科書		中村行宏：若尾靖和	技術評論社	202105	2,280	2,257	1	2,257	
80	107	9784297131807	入門セキュリティコンテスト CTFを解きながら学ぶ実践技術		中島明日香	技術評論社	202212	2,680	2,653	1	2,653	
81	108	9784320124738	情報セキュリティ入門：情報倫理を学ぶ人のために	第2版	佐々木良一：会田和弘	共立出版	202111	2,800	2,772	1	2,772	
82	109	9784766428278	サイバーセキュリティ入門：図解×Q&A	第2版	羽室英太郎	慶應義塾大学出版会	202205	3,200	3,168	1	3,168	
83	110	9784065200896	絵でわかるサイバーセキュリティ		岡嶋裕史	講談社	202006	2,200	2,178	1	2,178	
84	111	9784798069753	セキュアなソフトウェアの設計と開発：脅威モデリングに基づく普遍的アプローチ		ローレン・コンフェルダ－：秋勇紀	秀和システム	202309	3,800	3,762	1	3,762	
85	112	9784798068206	図解入門よくわかる最新サイバーセキュリティ対策の基本		福田敏博	秀和システム	202302	1,800	1,782	1	1,782	
86	113	9784798064635	図解入門よくわかる最新情報セキュリティの技術と対策		若狭直道	秀和システム	202112	1,900	1,881	1	1,881	
87	114	9784526080234	I o Tセキュリティ技術入門		松井俊浩	日刊工業新聞社	202001	2,000	1,980	1	1,980	
88	115	9784526082467	サイバースクママネジメントの強化書 経団連「サイバースクハンドブック」実践の手		梶浦敏範：佐藤徳之	日刊工業新聞社	202301	2,500	2,475	1	2,475	
89	116	9784296202980	マルウェアの教科書：“超”基礎から高度な手口／解析のはじめ方まで完全網	増補改訂版	吉川孝志	日経B P (発売：日経B P マーケティン)	202308	4,000	3,960	1	3,960	
90	117	9784296080199	現代暗号技術入門		デイビット・ウォン：高橋聡（翻訳）	日経B P (発売：日経B P マーケティン)	202207	3,400	3,366	1	3,366	
91	118	9784595323539	情報セキュリティ概論		山田恒夫：辰巳丈夫	放送大学教育振興会(発売：N H K 出版)	202203	3,000	2,970	1	2,970	
92	119	9784254122534	現代社会と情報システム		室蘭工業大学現代情報学研究会	朝倉書店	202004	2,500	2,475	1	2,475	
93	120	9784621305034	教養のコンピュータサイエンス情報科学入門	第3版	小籠香椎子：岡部洋一	丸善出版	202003	3,000	2,970	1	2,970	
94	121	9784339029062	実践コンピュータアーキテクチャ	改訂版	坂井修一	コロナ社	202004	2,500	2,475	1	2,475	
95	631	9784779514746	社会調査のための計量テキスト分析：内容分析の継承と発展を目指して	第2版	樋口耕一	ナカニシヤ出版	202004	2,800	2,772	1	2,772	
96	123	9784873119991	R a s p b e r r y P iをはじめよう	第4版	マット・リチャードソン：ショ－ン・ウォレス	オライリー・ジャパン(発売：オ－ム社)	202209	2,000	1,980	1	1,980	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
97	143	9784595322167	ユーザ調査法	新訂	高橋秀明	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	202003	2,500	2,475	1	2,475	
98	147	9784295011033	1週間でC++の基礎が学べる本		亀田健司	インプレス	202103	2,600	2,574	1	2,574	
99	148	9784297119997	C++ポケットリファレンス	改訂第4版	高橋晶：安藤敏彦	技術評論社	202104	2,980	2,950	1	2,950	
100	149	9784297131265	かんたんVisual C++	改訂3版	堀義博	技術評論社	202212	3,200	3,168	1	3,168	
101	150	9784798066219	Visual C++ 2022パーフェクトマスター	改訂版	金城俊哉	秀和システム	202204	3,400	3,366	1	3,366	
102	151	9784798172941	スラスラわかるC++：Beginner's Best Guide to	第3版	矢沢久雄	翔泳社	202207	2,580	2,554	1	2,554	
103	168	9784815607647	Python [完全] 入門：独学に最適！初心者でも安心して学べる親切な解説		松浦健一郎：司ゆき	SBCクリエイティブ	202101	2,900	2,871	1	2,871	
104	169	9784815613358	Pythonで学ぶはじめてのプログラミング入門教室		柴田淳	SBCクリエイティブ	202312	2,200	2,178	1	2,178	
105	170	9784815613723	確かな力が身につくPython「超」入門	第2版	鎌田正浩	SBCクリエイティブ	202203	2,400	2,376	1	2,376	
106	171	9784815617837	新・明解Python入門	第2版	柴田望洋	SBCクリエイティブ	202309	2,700	2,673	1	2,673	
107	172	9784815607951	動画×会話でゼロからはじめるPython入門		赤司達彦	SBCクリエイティブ	202106	1,800	1,782	1	1,782	
108	174	9784295017745	Pythonデータ分析実践ハンドブック 実務で使えるデータ加工のテクニック		寺田学：神沢雄大	インプレス	202309	3,000	2,970	1	2,970	
109	175	9784295011194	Pythonで学ぶアルゴリズムの教科書：一生モノの知識と技術を身につける		廣瀬豪	インプレス	202103	2,450	2,425	1	2,425	
110	176	9784295009849	Pythonで学ぶ音源分離		戸上真人	インプレス	202008	3,500	3,465	1	3,465	
111	177	9784295012276	Pythonで学ぶ音声合成		山本龍一：高道慎之介	インプレス	202108	3,500	3,465	1	3,465	
112	178	9784295011385	Pythonで学ぶ音声認識		高島達一	インプレス	202105	3,500	3,465	1	3,465	
113	179	9784295015994	Pythonで学ぶ画像認識		田村雅人：中村克行	インプレス	202303	3,500	3,465	1	3,465	
114	180	9784295010074	Python機械学習プログラミング：達人データサイエンティストによる理論と実践	第3版	セバスチャン・ラシュカ：ヴァヒド・ミルジャリリ	インプレス	202010	4,000	3,960	1	3,960	
115	181	9784295009856	いちばんやさしいPythonの教本：人気講師が教える基礎からサーバサイド開発まで	第2版	鈴木たかのり：ビーブラウド	インプレス	202008	2,200	2,178	1	2,178	
116	182	9784295016076	いちばんやさしいPython機械学習の教本：人気講師が教える業務で役立つ実践ノウハウ	第2版	鈴木たかのり：降旗洋行	インプレス	202302	2,600	2,574	1	2,574	
117	183	9784295009948	スッキリわかるPythonによる機械学習入門		フレアリンク：須藤秋良	インプレス	202010	3,000	2,970	1	2,970	
118	184	9784295011743	スラスラ読めるPythonふりがなプログラミング	増補改訂版	ビーブラウド：リブワークス	インプレス	202107	1,980	1,960	1	1,960	
119	185	9784295009207	つなげば動く！Pythonふりがなプログラミングパターン文例80		ビーブラウド：リブワークス	インプレス	202007	2,200	2,178	1	2,178	
120	186	9784295012634	プロフェッショナルPythonソフトウェアデザインの原則と実践		デーン・ヒラード：武倉広幸	インプレス	202111	3,000	2,970	1	2,970	
121	187	9784295010630	基礎Python	改訂2版	大津真	インプレス	202101	2,680	2,653	1	2,653	
122	188	9784274229480	Java & Python 最適化・制約充足の問題解法		森澤利浩	オーム社	202211	3,600	3,564	1	3,564	
123	189	9784274226984	Pythonコンピュータシミュレーション入門：人文・自然・社会科学の数理モデル		橋本洋志：牧野浩二	オーム社	202104	3,400	3,366	1	3,366	
124	190	9784274225345	Pythonデータエンジニアリング入門：高速化とデバイスデータアクセスの基本と応用		橋本洋志：牧野浩二	オーム社	202004	3,600	3,564	1	3,564	
125	192	9784274225963	Pythonで学ぶはじめてのAIプログラミング：自然言語処理と音声処理		小高知宏	オーム社	202009	2,700	2,673	1	2,673	
126	193	9784274225888	Pythonによるアルゴリズム入門		酒井和哉	オーム社	202009	3,200	3,168	1	3,168	
127	194	9784274228988	Python意思決定の数理入門		橋本洋志：牧野浩二	オーム社	202208	3,400	3,366	1	3,366	
128	195	9784274231148	データサイエンス教本：Pythonで学ぶ統計分析・パターン認識・時系列デ	第2版	牧野浩二：橋本洋志	オーム社	202311	3,800	3,762	1	3,762	

通番	頁学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
129	196	9784873119175	E f f e c t i v e P y t h o n : P y t h o n プログラムを改良する 9 0 項目	第 2 版	ブレット・スラットキン： 黒川利明	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202007	3,600	3,564	1	3,564	
130	197	9784873119359	P y t h o n チュートリアル: P y t h o n 3. 9. 0 対応	第 4 版	グイド・ヴァン・ロッサム： 鴨澤真夫	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202101	1,800	1,782	1	1,782	
131	198	9784873119106	P y t h o n ではじめる教師なし学習：機械学習の可能性を広げるラベルなしデータの利用		アンクル・A. バテル：中田秀基	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202004	3,600	3,564	1	3,564	
132	199	9784873119304	P y t h o n ではじめる数学の冒険：プログラミングで図解する代数、幾何学、三角関数		ピーター・ファレル：鈴木幸敏	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202011	3,000	2,970	1	2,970	
133	200	9784873119328	入門 P y t h o n 3	第 2 版	ビル・ルバノビック：鈴木駿	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202103	3,800	3,762	1	3,762	
134	202	9784339029307	P y t h o n によるアルゴリズム設計		神野健哉	コロナ社	202209	2,600	2,574	1	2,574	
135	203	9784339029017	P y t h o n 版 つくって学ぶ P r o c e s s i n g プログラミング入門		長名優子：石畑宏明	コロナ社	202001	2,400	2,376	1	2,376	
136	204	9784339029123	実践 P y t h o n によるデータベース入門：M y S Q L , M o n g o D B , C o u c h D B の基本操作からアプリプログラミングまで		藤野巖	コロナ社	202008	3,300	3,267	1	3,267	
137	205	9784781915852	P y t h o n による数理・データサイエンス・A I : 理論とプログラム		皆本晃弥	サイエンス社	202311	2,300	2,277	1	2,277	
138	206	9784839977733	P y t h o n によるディープラーニング		フランソワ・ショレ：黒籠悠輔	マイナビ出版	202203	3,980	3,940	1	3,940	
139	207	9784839982966	P y t h o n による時系列予測		マルコ・ベシシェイロ：クイープ	マイナビ出版	202310	3,800	3,762	1	3,762	
140	208	9784839968687	P y t h o n ハッカーガイドブック：達人が教えるデブロイ、スケラビリティ、テストのコツ		ジュリアン・ダンジュー：寺田学	マイナビ出版	202006	2,720	2,692	1	2,692	
141	209	9784839977405	きれいな P y t h o n プログラミング：クリーンなコードを書くための最適な方法		アル・スウェイガート：岡田佑一	マイナビ出版	202202	3,280	3,247	1	3,247	
142	210	9784839973575	つくりながら学ぶ！ P y t h o n による因果分析：因果推論・因果探索の実践入門		小川雄太郎	マイナビ出版	202006	2,880	2,851	1	2,851	
143	211	9784839975951	解きながら学ぶ P y t h o n つみあげトレーニングブック		リブワークス：ビーブラウド	マイナビ出版	202107	2,480	2,455	1	2,455	
144	1101	9784779516191	組織マネジメントの社会哲学：ビジネスにおける合理性を問い直す		中村隆文	ナカニシヤ出版	202203	2,000	1,980	1	1,980	
145	213	9784297125769	P y t h o n エンジニア育成推進協会監修 P y t h o n 実践レシピ		鈴木たかのり：筒井隆次	技術評論社	202202	2,700	2,673	1	2,673	
146	214	9784297118617	P y t h o n コードレシピ集：スグに使えるテクニック 3 0 2		黒住敬之	技術評論社	202102	2,680	2,653	1	2,653	
147	215	9784297127794	P y t h o n で理解する微積分の基礎		井口和之：辻真吾	技術評論社	202205	2,600	2,574	1	2,574	
148	216	9784297121839	P y t h o n プログラミング完全入門：ノンプログラマーのための実務効率化テキスト		高橋宣成	技術評論社	202108	3,200	3,168	1	3,168	
149	217	9784297115685	P y t h o n ユーザのための J u p y t e r [実践] 入門	改訂版	池内孝啓：片柳薫子	技術評論社	202009	3,280	3,247	1	3,247	
150	218	9784297111113	P y t h o n 実践入門：言語の力を引き出し、開発効率を高める		陶山嶺	技術評論社	202002	2,980	2,950	1	2,950	
151	219	9784297120221	R と P y t h o n で学ぶ [実践的] データサイエンス & 機械学習	増補改訂版	有賀友紀：大橋俊介	技術評論社	202105	3,620	3,583	1	3,583	
152	221	9784297116378	なんでも P y t h o n プログラミング 平林万能 I T 技術研究所の奇妙な実験		平林純	技術評論社	202010	2,380	2,356	1	2,356	
153	222	9784297112233	パーフェクト P y t h o n	改訂 2 版	露木誠：小田切篤	技術評論社	202005	3,280	3,247	1	3,247	
154	223	9784297121174	やさしくわかる P y t h o n の教室		リブワークス：ビーブラウド	技術評論社	202105	2,100	2,079	1	2,079	
155	224	9784297115722	最短距離でゼロからしっかり学ぶ P y t h o n 入門 実践編：ゲーム開発・データ可視化・Web 開発		エリック・マッテス：鈴木たかのり	技術評論社	202009	3,300	3,267	1	3,267	
156	225	9784297115708	最短距離でゼロからしっかり学ぶ P y t h o n 入門 必修編：プログラミングの基礎からエラー処理、テストコードの書き方まで		エリック・マッテス：鈴木たかのり	技術評論社	202009	3,200	3,168	1	3,168	
157	226	9784297125004	試してわかる P y t h o n [基礎] 入門		谷尻かおり	技術評論社	202112	2,680	2,653	1	2,653	
158	227	9784320124684	P y t h o n による予測分析：課題発見から予測モデルのデプロイまで徹底解説		A l v a r o F u e n t e s : 井手鞠絵	共立出版	202103	3,700	3,663	1	3,663	
159	228	9784320124615	実用的でない P y t h o n プログラミング：楽しくコードを書いて賢くならう！		リー・ヴォーン：高島亮祐	共立出版	202008	3,900	3,861	1	3,861	
160	229	9784764906426	P y t h o n プログラミング A B C : 正確に・美しく・簡潔に！		寺下陽一：松尾正信	近代科学社	202209	2,400	2,376	1	2,376	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
161	230	9784764906334	P y t h o n言語で学ぶ基礎からのプログラミング		小高知宏	近代科学社	202107	2,400	2,376	1	2,376	
162	231	9784764906464	P y t h o n言語によるプログラミングイントロダクション：計算モデリングとデータサイエンスの応用とともに	第3版	ジョン・V. グッターグ：久保幹雄	近代科学社	202301	5,500	5,445	1	5,445	
163	232	9784065337639	P y t h o nでスラスラわかるベイズ推論「超」入門		赤石雅典：須山敦志	講談社	202311	2,800	2,772	1	2,772	
164	233	9784065279786	P y t h o nではじめるベイズ機械学習入門		森賀新：木田悠歩	講談社	202205	2,800	2,772	1	2,772	
165	234	9784065227350	P y t h o n数値計算プログラミング		幸谷智紀	講談社	202103	2,400	2,376	1	2,376	
166	235	9784065206126	ゼロからつくるP y t h o n機械学習プログラミング入門		八谷大岳	講談社	202008	3,000	2,970	1	2,970	
167	236	9784065218839	ゼロから学ぶP y t h o nプログラミング：G o o g l e C o l a b o r a t o r yでらくらく導入		渡辺宙志	講談社	202012	2,400	2,376	1	2,376	
168	237	9784798062419	P y t h o n D j a n g o 4 超入門		掌田津耶乃	秀和システム	202309	3,000	2,970	1	2,970	
169	238	9784798070902	P y t h o n × A P I で動かして学ぶA I 活用プログラミング		下山輝昌：黒木賢一	秀和システム	202311	2,600	2,574	1	2,574	
170	239	9784798070667	P y t h o nプログラミングパーフェクトマスター：最新V i s u a l S t u d i o C o d e 対応	第4版	金城俊哉	秀和システム	202311	3,200	3,168	1	3,168	
171	240	9784798068510	P y t h o n実践データ分析入門キホンの5つの型		中村智：下山輝昌	秀和システム	202212	2,000	1,980	1	1,980	
172	241	9784798068053	P y t h o n統計分析&機械学習マスタリングハンドブック		チーム・カルボ	秀和システム	202305	2,700	2,673	1	2,673	
173	59	9784839970017	現場のブロが伝える前処理技術：基礎から実践まで学ぶテーブルデータ／自然言語／画像		石井大輔：漆畑充	マイナビ出版	202008					品切れ・重版未定です。
174	243	9784798071558	現場ですぐに使える！最新P y t h o nプログラミング逆引き大全4 5 0 の極意	改訂版	金城俊哉	秀和システム	202312	3,000	2,970	1	2,970	
175	244	9784798061320	図解！P y t h o nのツボとコツがゼッタイにわかる本 プログラミング実践編：最初からそう教えてくれればいいのに！		立山秀利	秀和システム	202104	2,400	2,376	1	2,376	
176	245	9784798061870	世界でいちばん簡単なP y t h o nプログラミングのe本：P y t h o nアプリの考え方が身に付く	A n a c o n d a	金城俊哉	秀和システム	202006	1,600	1,584	1	1,584	
177	246	9784627818613	P y t h o nではじめる情報検索プログラミング		佐藤進也	森北出版	202012	2,400	2,376	1	2,376	
178	247	9784627856516	P y t h o nで学ぶ解析表現文法と構文解析		倉光君郎	森北出版	202202	3,400	3,366	1	3,366	
179	248	9784627856615	P y t h o nで実践する強化学習と転移学習		河野仁	森北出版	202208	3,000	2,970	1	2,970	
180	249	9784254122589	P y t h o nインタラクティブ・データビジュアライゼーション入門：P l o t l y / D a s h によるデータ可視化とW e b アプリ構築		@ d r i l l e r：小川英幸	朝倉書店	202012	4,000	3,960	1	3,960	
181	250	9784254275889	P y t h o nによる金融テキストマイニング		和泉潔：坂地泰紀	朝倉書店	202207	3,000	2,970	1	2,970	
182	251	9784254122732	P y t h o nによる実務で役立つ最適化問題1 0 0 +、1		久保幹雄	朝倉書店	202212	3,000	2,970	1	2,970	
183	252	9784254122749	P y t h o nによる実務で役立つ最適化問題1 0 0 +、2		久保幹雄	朝倉書店	202212	3,000	2,970	1	2,970	
184	253	9784254122756	P y t h o nによる実務で役立つ最適化問題1 0 0 +、3		久保幹雄	朝倉書店	202212	3,000	2,970	1	2,970	
185	254	9784254122947	P y t h o n時系列分析クックブック、1		タレク・A. アトワーン：黒川利明	朝倉書店	202311	3,500	3,465	1	3,465	
186	255	9784254122954	P y t h o n時系列分析クックブック、2		タレク・A. アトワーン：黒川利明	朝倉書店	202311	3,600	3,564	1	3,564	
187	257	9784807920068	1 3歳からのP y t h o n入門：新時代のヒーロー養成塾		ジェームス・R. ベイン：竹内薫	東京化学同人	202107	2,200	2,178	1	2,178	
188	258	9784807909957	P y t h o n、R で学ぶデータサイエンス		シャントラル・D. ラロース：ダニエル・T. ラロース	東京化学同人	202011	2,400	2,376	1	2,376	
189	259	9784807909995	P y t h o n・クラウドを用いた実践A I 開発		ノア・ギフト：清水美樹	東京化学同人	202107	3,000	2,970	1	2,970	
190	260	9784807920266	P y t h o nで学ぶプログラミング入門		ブラッドリー・N. ミラー：デイヴィッド・L. ラーヌン	東京化学同人	202206	3,500	3,465	1	3,465	
191	261	9784807920020	ダイテルP y t h o nプログラミング：基礎からデータ分析・機械学習まで		ポール・ダイテル：ハーベイ・ダイテル	東京化学同人	202105	4,800	4,752	1	4,752	
192	262	9784296070718	P y t h o nデータ分析ハンズオンセミナー		小川英幸	日経B P (発売：日経B P マーケティン)	202308	2,400	2,376	1	2,376	

通番	頁学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
193	263	9784296203550	P y t h o nでデスクトップアプリを作ろう		中島省吾（プログラミング）	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202311	2,500	2,475	1	2,475	
194	264	9784296203284	P y t h o nで学ぶアルゴリズム&改良テクニック集		矢沢久雄	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202311	2,500	2,475	1	2,475	
195	265	9784296201600	P y t h o nライブラリの教科書		立山秀利	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202303	3,200	3,168	1	3,168	
196	266	9784296201129	最短コースでわかる P y t h o nプログラミングとデータ分析		赤石雅典	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202212	2,900	2,871	1	2,871	
197	267	9784822295974	文系でも必ずわかる中学数学× P y t h o n超簡単プログラミング入門		谷尻かおり	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202009	2,400	2,376	1	2,376	
198	268	9784798182230	C h a t G P Tと学ぶ P y t h o n入門：「 P y t h o n × A I」で誰でも最速でプログラミング		熊澤秀道	翔泳社	202311	1,980	1,960	1	1,960	
199	269	9784798170862	p a n d a sデータ処理ドリル： P y t h o nによるデータサイエンスの腕試し		ビーブラウド： P y Q チーム	翔泳社	202303	3,200	3,168	1	3,168	
200	270	9784798170381	P y t h o n 1年生：体験してわかる！会話でまなべる！プログラミングのしくみ	第2版	森巧尚	翔泳社	202208	1,980	1,960	1	1,960	
201	271	9784798164960	P y t h o n 2年生データ分析のしくみ：体験してわかる！会話でまなべる！		森巧尚	翔泳社	202008	2,200	2,178	1	2,178	
202	275	9784798163239	P y t h o nではじめるアルゴリズム入門：伝統的なアルゴリズムで学ぶ定石と計算量		増井敏克	翔泳社	202001	2,200	2,178	1	2,178	
203	276	9784798171944	P y t h o nで学ぶあたらしい統計学の教科書	第2版	馬場真哉	翔泳社	202206	3,300	3,267	1	3,267	
204	277	9784798178684	P y t h o nで動かして学ぶ！あたらしい線形代数の教科書		かくあき	翔泳社	202308	2,600	2,574	1	2,574	
205	278	9784798157672	P y t h o nトリック：真に効果的な P y t h o nプログラミング手法		ダン・バダー：クイープ	翔泳社	202004	2,800	2,772	1	2,772	
206	279	9784798176611	P y t h o nによるあたらしいデータ分析の教科書	第2版	寺田学：辻真吾	翔泳社	202210	2,580	2,554	1	2,554	
207	280	9784798169361	スラスラわかる P y t h o n	第2版	岩崎圭：北川慎治	翔泳社	202111	2,300	2,277	1	2,277	
208	281	9784798163970	データ分析者のための P y t h o n データビジュアライゼーション入門：コードと運動してわかる可視化手法		小久保奈都弥	翔泳社	202008	2,400	2,376	1	2,376	
209	282	9784798142685	現場で使える！ P y t h o n 自然言語処理入門		赤石雅典：江澤美保	翔泳社	202001	3,200	3,168	1	3,168	
210	283	9784798163406	実務で役立つ P y t h o n 機械学習入門：課題解決のためのデータ分析の基礎		池田雄太郎：田尻俊宗	翔泳社	202311	3,000	2,970	1	2,970	
211	284	9784798163642	独習 P y t h o n		山田祥寛	翔泳社	202006	3,000	2,970	1	2,970	
212	287	9784000056212	ソフトウェア工学の基礎	改訂新版	玉井哲雄	岩波書店	202206	3,900	3,861	1	3,861	
213	288	9784296001231	コンピュータはなぜ動くのか：知っておきたいハードウェア & ソフトウェアの基礎知識	第2版	矢沢久雄	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202210	2,400	2,376	1	2,376	
214	289	9784296000197	プログラムはなぜ動くのか：知っておきたいプログラミングの基礎知識	第3版	矢沢久雄	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202105	2,400	2,376	1	2,376	
215	290	9784296203819	間違いだらけの設計レビュー：なぜ重大な問題を見逃すのか？	第3版	森崎修司	日経 B P (発売：日経 B P マーケティング)	202311	3,500	3,465	1	3,465	
216	291	9784274224003	A P I ではじめるディープラーニング・アプリケーション開発： G o o g l e C l o u d A P I 活用入門		キャッツ：渡辺政彦	オーム社	202001	3,200	3,168	1	3,168	
217	293	9784339029222	プログラムがコンピュータで動く仕組み：ハードウェア記述言語・ C P U アーキテクチャ・アセンブラ・コンパイラ超入門		中野浩嗣：伊藤靖朗	コロナ社	202111	2,600	2,574	1	2,574	
218	294	9784781914831	プログラム意味論の基礎		小林直樹：住井英二郎	サイエンス社	202008	1,900	1,881	1	1,881	
219	302	9784065128442	問題解決力を鍛える！アルゴリズムとデータ構造		大槻兼資：秋葉拓哉	講談社	202009	3,000	2,970	1	2,970	
220	304	9784798062471	最新 M A T L A B ハンドブック：機械学習・ディープラーニング対応	第七版	小林一行	秀和システム	202012	3,200	3,168	1	3,168	
221	305	9784627885110	実践 R によるテキストマイニング：センチメント分析・単語分散表現・機械学習・ Python ラッパー		石田基広	森北出版	202003	2,400	2,376	1	2,376	
222	306	9784254122657	T r a n s f o r m e r による自然言語処理		デニス・ロスマン：黒川利明	朝倉書店	202204	4,200	4,158	1	4,158	
223	307	9784254122879	データ構造とアルゴリズム：上達のための基本・常識		J a y W e n g r o w：黒川利明	朝倉書店	202307	4,500	4,455	1	4,455	
224	309	9784130624596	M A T L A B クイックスタート：数式処理から機械学習まで		藤原毅夫	東京大学出版会	202101	2,500	2,475	1	2,475	

通番	書学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
225	310	9784296110322	最短コースでわかるPyTorch & 深層学習プログラミング		赤石雅典	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	202109	3,700	3,663	1	3,663	
226	311	9784595322198	アルゴリズムとプログラミング	改訂版	鈴木一史	放送大学教育振興会(発売:NHK出版)	202003	2,900	2,871	1	2,871	
227	312	9784595324154	自然言語処理	三訂版	黒橋祐夫	放送大学教育振興会(発売:NHK出版)	202303	2,400	2,376	1	2,376	
228	313	9784798163826	プログラマを育てる脳トレパズル:遊んでおぼえるPythonプログラミング&アルゴリズム		増井敏克	翔泳社	202012	1,800	1,782	1	1,782	
229	314	9784798163284	図解まるわかりプログラミングのしくみ		増井敏克	翔泳社	202007	1,680	1,663	1	1,663	
230	315	9784815603199	新・明解Pythonで学ぶアルゴリズムとデータ構造		柴田望洋	SBCクリエイティブ	202001	2,400	2,376	1	2,376	
231	316	9784295017530	Go言語100Tips:ありがちなミスを把握し、実装を最適化する		ティヴァ・ハルサニー:柴田芳樹	インプレス	202308	3,600	3,564	1	3,564	
232	317	9784295015581	Python機械学習プログラミングPyTorch&scikit-learn編		セバスチャン・ラシュカ:ユーシー・ヘイデン・リュウ	インプレス	202212	4,200	4,158	1	4,158	
233	318	9784295011132	PyTorch自然言語処理プログラミング:word2vec/LSTM/seq2seq/BERTで日本語テキスト解析!		新納浩幸	インプレス	202103	2,800	2,772	1	2,772	
234	319	9784295016366	スッキリわかるPython入門	第2版	国本大悟:須藤秋良	インプレス	202311	2,500	2,475	1	2,475	
235	320	9784295012962	スラスラ読めるPythonふりがなプログラミングスクレイピング入門		ビーブラウド:リブワークス	インプレス	202112	1,980	1,960	1	1,960	
236	321	9784295010623	ディープラーニング実装入門:PyTorchによる画像・自然言語処理		吉崎亮介:祖父江誠人	インプレス	202012	3,600	3,564	1	3,564	
237	322	9784274230493	Juliaによる数値計算とシミュレーション		小高知宏	オーム社	202306	2,600	2,574	1	2,574	
238	323	9784274226403	動かしながら学ぶPyTorchプログラミング入門		斎藤勇哉	オーム社	202011	2,700	2,673	1	2,673	
239	324	9784873119960	Scratchであそぶ機械学習:AIプログラミングのかんたんレシピ集		石原淳也:小川智史	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)	202207	2,200	2,178	1	2,178	
240	325	9784873119908	ハイパフォーマンスPython	第2版	ミヒヤ・ゴアリク:イアン・オズワルド	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)	202304	3,900	3,861	1	3,861	
241	326	9784814400041	初めてのGo言語:他言語プログラマーのためのイディオマティックGo実践ガイド		ジョン・ボドナー:武倉広幸	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)	202209	3,600	3,564	1	3,564	
242	327	9784339029055	1から始めるJuliaプログラミング		進藤裕之:佐藤建太	コロナ社	202004	2,700	2,673	1	2,673	
243	328	9784339029345	Juliaによる数理最適化		小林和博	コロナ社	202305	3,200	3,168	1	3,168	
244	329	9784339018226	コンピュータプログラミング:Pythonでアルゴリズムを実装しながら問題解決を行う		電子情報通信学会:富樫敦	コロナ社	202204	3,300	3,267	1	3,267	
245	330	9784839973063	プログラミングのための数学		ポール・オーランド:松田晃一	マイナビ出版	202106					品切れ・重版未定です。
246	331	9784297134198	Go言語プログラミングエッセンス		mattn	技術評論社	202303	3,200	3,168	1	3,168	
247	332	9784297132927	Pythonでチャレンジするプログラミング入門:もう挫折しない!10の壁を越えてプログラマーになろう		石上晋:横山直敬	技術評論社	202302	2,200	2,178	1	2,178	
248	333	9784297116866	Pythonによる問題解決のためのアルゴリズム設計技法		マグナス・リー・ヘットランド:辻真吾	技術評論社	202011	3,480	3,445	1	3,445	
249	334	9784297125196	エキスパートたちのGo言語 一流のコードから応用力を学ぶ		上田拓也	技術評論社	202201	2,980	2,950	1	2,950	
250	335	9784297116170	たった1日で基本が身に付く!Go言語超入門		清水美樹	技術評論社	202011	2,480	2,455	1	2,455	
251	336	9784297133504	実践Julia入門		後藤俊介	技術評論社	202303	3,600	3,564	1	3,564	
252	337	9784320125025	ディープラーニングによる自然言語処理		山田育矢:柴田知秀	共立出版	202305	3,300	3,267	1	3,267	
253	338	9784320125667	もっと実用的でないPythonプログラミング:ハッカー目線のリアルコーディング		リー・ヴォーン:武川文則	共立出版	202307	3,900	3,861	1	3,861	
254	339	9784764906143	最適化問題入門:離最適化・整数最適化・ネットワークモデルの組合せによる		小林和博	近代科学社	202006	3,200	3,168	1	3,168	
255	340	9784065282823	1週間で学べる!Julia数値計算プログラミング		永井佑紀	講談社	202206	3,000	2,970	1	2,970	
256	341	9784065318195	Juliaプログラミング大全		佐藤建太	講談社	202305	5,800	5,742	1	5,742	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
257	342	9784065190067	PythonではじめるKaggleスタートブック		石原祥太郎・村田秀樹	講談社	202003	2,000	1,980	1	1,980	
258	343	9784798063997	Go言語ハンズオン		掌田津耶乃	秀和システム	202103	2,800	2,772	1	2,772	
259	344	9784254122817	Pythonによる実務で役立つデータサイエンス練習問題 200+. 1		久保幹雄	朝倉書店	202305	2,700	2,673	1	2,673	
260	345	9784254122824	Pythonによる実務で役立つデータサイエンス練習問題 200+. 2		久保幹雄	朝倉書店	202305	3,300	3,267	1	3,267	
261	346	9784254122831	Pythonによる実務で役立つデータサイエンス練習問題 200+. 3		久保幹雄	朝倉書店	202305	2,700	2,673	1	2,673	
262	347	9784807920211	天才プログラマー・タンメイが教えるJulia超入門		タンメイ・バクシ；菅原宏治	東京化学同人	202202	2,700	2,673	1	2,673	
263	348	9784130624602	考え方から学ぶプログラミング講義：Pythonではじめる		森畑明昌	東京大学出版会	202110	2,200	2,178	1	2,178	
264	349	9784296070343	独学コンピューターサイエンティスト Pythonで学ぶ アルゴリズムとデータ構造		コーリー・アルソフ；清水川貴之	日経BP（発売：日経BPマーケティング）	202208	2,300	2,277	1	2,277	
265	350	9784798166469	Python FlaskによるWebアプリ開発入門：物体検知アプリ&機械学習APIの作り方		佐藤昌基；平田哲也	翔泳社	202201	3,400	3,366	1	3,366	
266	351	9784798174990	Python2年生デスクトップアプリ開発のしくみ：体験してわかる！会話でまなべる！		森巧尚	翔泳社	202212	2,200	2,178	1	2,178	
267	352	9784798170268	コピペで簡単実行！キテレツおもしろ自然言語処理：PythonとCollaboratoryで身につく基礎		y o u w h t	翔泳社	202112	2,480	2,455	1	2,455	
268	353	9784815608750	ソフトウェアテストの教科書：この1冊でよくわかる	増補改訂 第2版	布施昌弘；江添智之	S Bクリエイティブ	202108	2,500	2,475	1	2,475	
269	354	9784274227943	実践ソフトウェアエンジニアリング	第9版	ロジャー・S. プレスマン；ブルース・R. マキシム	オーム社	202112	8,000	7,920	1	7,920	
270	355	9784814400454	C++ソフトウェア設計：高品質設計の原則とデザインパターン		クラウド・イグルベルガー；千住治郎	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202310	4,000	3,960	1	3,960	
271	356	9784873119977	Go言語による分散サービス：信頼性、拡張性、保守性の高いシステムの構築		トラビス・ジェフェリー；柴田芳樹	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202208	3,200	3,168	1	3,168	
272	357	9784814400461	Python Distilled：プログラミング言語Pythonのエッセンス		デイビッド・M. ビーズリー；鈴木駿	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202310	3,600	3,564	1	3,564	
273	358	9784814400003	Pythonではじめるオープンエンドな進化的アルゴリズム：分散型の機械学習による多様な解の探索		岡端起；斉藤拓己	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202310	3,200	3,168	1	3,168	
274	359	9784873119427	PyTorchとfastaiではじめるディープラーニング：エンジニアのためのAIアプリケーション開発		ジェレミー・ハワード；シルヴェイン・ガガー	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202105	3,800	3,762	1	3,762	
275	360	9784873119823	ソフトウェアアーキテクチャの基礎：エンジニアリングに基づく体系的アプローチ		マーク・リチャーズ；ニール・フォード	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202203	3,800	3,762	1	3,762	
276	361	9784814400317	ソフトウェア設計のトレードオフと誤り：プログラミングの際により良い選択をするには		レック、トマッシュ；スキート、ジョン	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202305	3,800	3,762	1	3,762	
277	362	9784814400553	データ保護完全ガイド：あらゆるデータの保全と回復を可能にする		W. カーティス・プレストン；佐野泰之	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202312	4,000	3,960	1	3,960	
278	363	9784814400225	プログラミング文体練習：Pythonで学ぶ40のプログラミングスタイル		クリスティナ・ヴィディラ・ロベス；菊池彰	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202306	3,000	2,970	1	2,970	
279	364	9784814400416	ルールズ・オブ・プログラミング：より良いコードを書くための21のルール		Chris Zimmerman；久富木隆一	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202308	2,800	2,772	1	2,772	
280	365	9784814400171	ロバストPython：クリーンで保守しやすいコードを書く		パトリック・ヴィアフォア；鈴木駿	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202303	3,600	3,564	1	3,564	
281	366	9784873119502	機械学習による実用アプリケーション構築：事例を通じて学ぶ、設計から本番稼働までのプロセス		エマニエル・アーマイゼ；菊池彰	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202104	2,800	2,772	1	2,772	
282	367	9784873119335	計算できるもの、計算できないもの：実践的アプローチによる計算理論入門		ジョン・マコーミック；松崎公紀	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202012	4,600	4,554	1	4,554	
283	368	9784873119724	実践自然言語処理：実世界NLPアプリケーション開発のベストプラクティ		ソウミヤ・ヴァジュラ；ボウディサットヴァ・マジュンダ	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202202	4,000	3,960	1	3,960	
284	369	9784873119694	実用Go言語：システム開発の現場で知っておきたいアドバイス		浪川よしき；辻大志郎	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202204	3,600	3,564	1	3,564	
285	370	9784873119274	退屈なことはPythonにやらせよう：ノンプログラマーにもできる自動化処理プログラミング	第2版	アル・スウェイガート；相川愛三	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202303	3,900	3,861	1	3,861	
286	371	9784839977092	アルゴリズムとプログラミングの図鑑	第2版	森巧尚；まつむらまきお	マイナビ出版	202210	2,490	2,465	1	2,465	
287	372	9784839968274	アルゴリズムビジュアル大事典：図解でよくわかるアルゴリズムとデータ構造 アニメー		渡部有隆；ニコライ・ミレンコフ	マイナビ出版	202003	2,980	2,950	1	2,950	
288	373	9784297129460	事業分析・データ設計のためのモデル作成技術入門		佐藤正美（情報システム・コンサルタント）；TMの会	技術評論社	202208	3,980	3,940	1	3,940	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
289	374	9784297130367	読みやすいコードのガイドライン 持続可能なソフトウェア開発のために		石川宗寿	技術評論社	202211	2,500	2,475	1	2,475	
290	376	9784297120481	良いコードを書く技術：読みやすく保守しやすいプログラミング作法	増補改訂	縣俊貴	技術評論社	202105	2,680	2,653	1	2,653	
291	377	9784320124875	アルゴリズムをめぐる冒険：勇敢な初学者のためのPythonアドベンチャー		ブラッドフォード・タック フィールド：ホクソンエム	共立出版	202209	3,200	3,168	1	3,168	
292	378	9784320124912	基礎から学ぶデータ構造とアルゴリズム	改訂版	穴田有一	共立出版	202209	2,500	2,475	1	2,475	
293	379	9784764905665	セジウィック：アルゴリズムC、第5部		ロバート・セジウィック： 田口東	近代科学社	202111	6,500	6,435	1	6,435	
294	380	9784798065052	図解！アルゴリズムのツボとコツがゼッタイにわかる本		中田亨	秀和システム	202110	1,600	1,584	1	1,584	
295	381	9784627872615	Pythonで学ぶアルゴリズムとデータ構造		藤原暁宏	森北出版	202303	2,600	2,574	1	2,574	
296	382	9784864810852	データ構造とアルゴリズム	第2版	五十嵐健夫	数理工学社(発売：サイエンス社)	202205	1,700	1,683	1	1,683	
297	383	9784296070381	紙とえんぴつで学ぶアルゴリズムとフローチャート		岩松洋	日経BP(発売：日経BP マーケティング)	202206	2,000	1,980	1	1,980	
298	384	9784296200238	身近な疑問を解いて身につける必修アルゴリズム		矢沢久雄：日経ソフトウェア	日経BP(発売：日経BP マーケティング)	202211	2,500	2,475	1	2,475	
299	385	9784798167343	Rによる機械学習	第3版	プレット・ランツ：クイープ	翔泳社	202102	3,800	3,762	1	3,762	
300	386	9784798172439	アルゴリズム図鑑：絵で見てわかる33のアルゴリズム	増補改訂版	石田保暉：宮崎修一（情報学）	翔泳社	202302	2,480	2,455	1	2,455	
301	387	9784798179797	データ指向プログラミング		イエホナサン・シャープビット：クイープ	翔泳社	202304	3,600	3,564	1	3,564	
302	388	9784798165226	モダン・ソフトウェアエンジニアリング		イグナー・ヤコブソン：ハ ロルド・バッド・ローソン	翔泳社	202005	3,600	3,564	1	3,564	
303	389	9784798171609	図解まるわかりアルゴリズムのしくみ：データ構造、ソート、探索etc... 基本から応用まで全部図解！		増井敏克	翔泳社	202112	1,680	1,663	1	1,663	
304	390	9784815605582	はじめてのディープラーニング：Pythonで実装する再帰型ニューラルネットワーク、2		我妻幸長	SBCクリエイティブ	202003	2,800	2,772	1	2,772	
305	391	9784295012672	プログラマーなら知っておきたい40のアルゴリズム：定番・最新の概念とPythonの活用		イムラン・アフマド：クイープ	インプレス	202110	3,600	3,564	1	3,564	
306	392	9784873119281	scikit-learn、Keras、TensorFlowによる実践機械学習	第2版	オーレリアン・ジュロン： 下田倫大	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202010	4,800	4,752	1	4,752	
307	393	9784862464729	OpenAI Gym/Baselines 深層学習・強化学習人工知能プログラミング		布留川英一	ポーンデジタル	202002	3,200	3,168	1	3,168	
308	394	9784839982324	JAX/FIaxで学ぶディープラーニングの仕組み：新しいライブラリーと畳み込みニューラルネットワーク		中井悦司	マイナビ出版	202302	2,890	2,861	1	2,861	
309	395	9784839974985	Kaggle Grandmasterに学ぶ 機械学習実践アプローチ		アビシェーク・タクル：石原祥太郎	マイナビ出版	202108	2,690	2,663	1	2,663	
310	396	9784839974695	PyTorch実践入門：ディープラーニングの基礎から実装へ		エリ・スティープンス：ル カ・アンティガ	マイナビ出版	202101	3,620	3,583	1	3,583	
311	397	9784839966607	機械学習・深層学習による自然言語処理入門：scikit-learnとTensorFlowを使った実践プログラミング		中山光樹	マイナビ出版	202002	2,880	2,851	1	2,851	
312	398	9784297112097	AIエンジニアを目指す人のための機械学習入門：実装しながらアルゴリズムの流れを学ぶ		清水琢也：小川雄太郎	技術評論社	202004	2,780	2,752	1	2,752	
313	399	9784297118051	AIセキュリティから学ぶディープラーニング [技術] 入門		田龍照博	技術評論社	202101	3,500	3,465	1	3,465	
314	400	9784297122331	ITエンジニアのための機械学習理論入門	改訂新版	中井悦司	技術評論社	202107	2,680	2,653	1	2,653	
315	401	9784297112769	楽しいAI体験から始める機械学習：算数・数学をやらせてみたら		Kay：Mr. Φ	技術評論社	202005	2,180	2,158	1	2,158	
316	402	9784297122195	機械学習がわかる統計学入門		涌井良幸：涌井貞美	技術評論社	202107	2,200	2,178	1	2,178	
317	403	9784297122263	機械学習を解釈する技術：予測力と説明力を両立する実践テクニック		森下光之助	技術評論社	202108	2,680	2,653	1	2,653	
318	404	9784297112677	知識ゼロからの機械学習入門		太田和樹：TechAcademy	技術評論社	202004	2,180	2,158	1	2,158	
319	405	9784320124943	6ステップでマスターする機械学習：Pythonによる丁寧な実践ハンズオン		Manohar Swamy nathan：菊地弘晶	共立出版	202210	4,300	4,257	1	4,257	
320	212	9784862833396	作りながら丁寧に学ぶPythonプログラミング入門		大用麻智：山田孝子	関西学院大学出版会	202205	2,400	2,376	1	2,376	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
321	407	9784764906365	Pythonでプログラミングして理解する機械学習アルゴリズム		神野健哉	近代科学社	202202	2,700	2,673	1	2,673	
322	408	9784764906204	機械学習		周志華：大和田勇人	近代科学社	202210	8,000	7,920	1	7,920	
323	409	9784764906754	図解深層学習：数理で理解する基本原理		小池敦	近代科学社	202312	3,500	3,465	1	3,465	
324	410	9784065305133	Kaggleに挑む深層学習プログラミングの極意		小寺耕平：秋葉拓哉	講談社	202301	2,600	2,574	1	2,574	
325	412	9784798066875	PC・IT図解 機械学習の技術としくみ：仕組みを知って仕事に生かす！		金城俊哉	秀和システム	202310	1,900	1,881	1	1,881	
326	413	9784807920389	Python, TensorFlowで実践する深層学習入門：しくみの理解と応用		ジョン・クローン：鈴木賢治（工学）	東京化学同人	202209	3,600	3,564	1	3,564	
327	414	9784807920297	データサイエンスと機械学習：理論からPythonによる実装まで		D. P. Kroese：金森敬文	東京化学同人	202212	5,400	5,346	1	5,346	
328	415	9784798169446	AIエンジニアのための機械学習システムデザインパターン		造井雄介	翔泳社	202105	3,600	3,564	1	3,564	
329	416	9784798173399	PyTorchで作る！深層学習モデル・AIアプリ開発入門		我妻幸長	翔泳社	202209	3,200	3,168	1	3,168	
330	417	9784798155012	なっとく！ディープラーニング		アンドリュース・W. トラスク：クイープ	翔泳社	202003	2,600	2,574	1	2,574	
331	418	9784798173405	現場で使える！機械学習システム構築実践ガイド：デザインパターンを利用した最適な設計・構築・運用手法		造井雄介	翔泳社	202211	3,400	3,366	1	3,366	
332	419	9784254275872	不動産テック		清水千弘	朝倉書店	202011	3,600	3,564	1	3,564	
333	420	9784254275865	分散型台帳テクノロジー：ブロックチェーン／DLTの基礎知識とCorda入門		津田博史：嶋田康史	朝倉書店	202009	3,600	3,564	1	3,564	
334	422	9784295013709	AI技術史 考える機械への道とディープラーニング		マイケル・ウルドリッジ：神林靖	インプレス	202203	2,700	2,673	1	2,673	
335	423	9784295016557	実践XAI [説明可能なAI]：機械学習の予測を説明するためのPythonコーディング		ブラディープタ・ミシュラ：クイープ	インプレス	202306	3,600	3,564	1	3,564	
336	424	9784862465092	BERT／GPT-3／DALL-E 自然言語処理・画像処理・音声処理 人工知能プログラミング実践入門		布留川英一	ポーンデジタル	202109	3,600	3,564	1	3,564	
337	425	9784862465597	OpenAI GPT-4／ChatGPT／LangChain 人工知能プログラミング実践入門		布留川英一	ポーンデジタル	202306	3,600	3,564	1	3,564	
338	426	9784839983659	解釈可能なAI：機械学習モデルの解釈手法を実践的に理解する		Ajay Thampi：松田晃一	マイナビ出版	202309	4,530	4,484	1	4,484	
339	427	9784297130428	AIデータサイエンスリテラシー入門		吉岡剛志：森倉悠介	技術評論社	202210	1,680	1,663	1	1,663	
340	428	9784297132187	AIのしくみと活用がこれ1冊でしっかりわかる教科書		高橋海渡：立川裕之	技術評論社	202301	2,000	1,980	1	1,980	
341	429	9784297115159	ITエンジニアのための強化学習理論入門		中井悦司	技術評論社	202007	2,980	2,950	1	2,950	
342	430	9784297125608	ディープラーニングを支える技術 「正解」を導くメカニズム [技術基礎]		岡野原大輔	技術評論社	202201	2,680	2,653	1	2,653	
343	431	9784297128111	ディープラーニングを支える技術. 2		岡野原大輔	技術評論社	202205	2,980	2,950	1	2,950	
344	432	9784297120382	はじめてのAILiteラーシー		岡嶋裕史：吉田雅裕	技術評論社	202107	1,680	1,663	1	1,663	
345	433	9784297121303	絵と図でわかるAIと社会：未来をひらく技術とのかかわり方		江間有沙	技術評論社	202106	2,000	1,980	1	1,980	
346	434	9784297136338	大規模言語モデル入門		山田育矢：鈴木正敏	技術評論社	202308	3,200	3,168	1	3,168	
347	435	9784798071305	プログラミング知識ゼロでもわかる プロンプトエンジニアリング入門		掌田津耶乃	秀和システム	202311	2,500	2,475	1	2,475	
348	436	9784296110360	「強化学習」を学びたい人が最初に読む本		伊藤真（情報科学）	日経BP（発売：日経BPマーケティング）	202111	2,900	2,871	1	2,871	
349	437	9784296070787	AITuberを作ってみたら生成AIプログラミングがよくわかった件		阿部由延	日経BP（発売：日経BPマーケティング）	202311	2,400	2,376	1	2,376	
350	438	9784296110377	ディープラーニングAIはどのように学習し、推論しているのか		立山秀利	日経BP（発売：日経BPマーケティング）	202111	2,400	2,376	1	2,376	
351	439	9784296000128	教養としてのAI講義		メラニー・ミッチェル：尼丁千津子	日経BP（発売：日経BPマーケティング）	202102	2,600	2,574	1	2,574	
352	440	9784798167206	Google Colaboratoryで学ぶ！あたらしい人工知能技術の教科書：機械学習・深層学習・強化学習で学ぶAIの基礎技術		我妻幸長	翔泳社	202109	3,400	3,366	1	3,366	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
353	441	9784798168647	P y t h o nで動かして学ぶ！あたらしいベイズ統計の教科書		かくあき	翔泳社	202108	3,000	2,970	1	2,970	
354	442	9784798170176	なっとく！A I アルゴリズム		リチャール・ハーバンス：クイープ	翔泳社	202106	3,200	3,168	1	3,168	
355	443	9784798170138	図解まるわかりA Iのしくみ：人工知能の全体像から各技術までイラスト解説で迷わずわかる		三津村直貴	翔泳社	202203	1,680	1,663	1	1,663	
356	444	9784781914787	実習R言語による統計学		内田治：笹木潤	サイエンス社	202009	1,800	1,782	1	1,782	
357	445	9784839981914	実践力をアップするP y t h o nによるアルゴリズムの教科書		クジラ飛行機	マイナビ出版	202306	2,980	2,950	1	2,950	
358	446	9784320124745	データサイエンスのためのRプログラミングスキル		マイケル・フリーマン：ジョエル・ロス	共立出版	202107	4,800	4,752	1	4,752	
359	447	9784478118184	生成A I：「C h a t G P T」を支える技術はどのようにビジネス		小林雅一	ダイヤモンド社	202307	1,800	1,782	1	1,782	
360	448	9784315524703	レコメンデーション・エンジン		マイケル・シュレージ：橋美智子	ニュートンプレス	202111	2,000	1,980	1	1,980	
361	462	9784422400822	情報デザインとコミュニケーション		土屋誠司：松本和幸	創元社	202307	2,500	2,475	1	2,475	
362	463	9784422400815	情報社会と情報技術		土屋誠司	創元社	202306	2,500	2,475	1	2,475	
363	468	9784000297035	深層学習の原理に迫る：数学の挑戦		今泉允聡	岩波書店	202104	1,200	1,188	1	1,188	
364	469	9784000297196	大規模言語モデルは新たな知能か：C h a t G P Tが変えた世界		岡野原大輔	岩波書店	202306	1,400	1,386	1	1,386	
365	473	9784860438524	D X デジタルトランスフォーメーション事例1 0 0 選		鈴木淳一	エヌ・ティール・エス	202311	30,000	29,700	1	29,700	
366	479	9784254270242	Rで学ぶゲーム理論		上條良夫：矢内勇生	朝倉書店	202303	3,800	3,762	1	3,762	
367	481	9784535540514	初歩からの多変量統計	新装版	三土修平	日本評論社	202208	3,600	3,564	1	3,564	
368	492	9784535559981	文系のための統計学入門：データサイエンスの基礎		河口洋行	日本評論社	202107	2,800	2,772	1	2,772	
369	495	9784315524291	統計データの落とし穴：その数字は真実を語るのか？		ピーター・シュライバー：土屋隆裕	ニュートンプレス	202108	2,527	2,501	1	2,501	
370	496	9784065284506	社会科学のための統計学入門 実例からていねいに学ぶ		毛塚和宏	講談社	202206	2,800	2,772	1	2,772	
371	499	9784254122787	社会調査ハンドブック：復刊		林知己夫	朝倉書店	202211	18,000	17,820	1	17,820	
372	500	9784296113453	統計で騙されない1 0の方法		ティム・ハーフォード：上原裕美子	日経B P(発売：日経B Pマーケティン)	202205	2,000	1,980	1	1,980	
373	501	9784563010355	応用に重点をおいた確率・統計入門		金川秀也：川崎秀二	培風館	202307	2,300	2,277	1	2,277	
374	506	9784641165960	基本統計学	第5版	宮川公男	有斐閣	202204	2,900	2,871	1	2,871	
375	509	9784528022973	統計から読み解く4 7都道府県ランキング 消費・子供・スポーツ編		久保哲朗	日東書院本社	202007	1,800	1,782	1	1,782	
376	513	9784254122930	P y t h o nで学ぶファイナンス論×データサイエンス		永野護	朝倉書店	202311	3,200	3,168	1	3,168	
377	516	9784274226151	コンピュータアーキテクチャ	改訂5版	馬場敬信	オーム社	202011	3,700	3,663	1	3,663	
378	517	9784873119113	ゼロからはじめるデータサイエンス：P y t h o nで学ぶ基本と実践	第2版	ジョエル・グルス：菊池彰	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202004	3,400	3,366	1	3,366	
379	519	9784320123595	情報とデザイン		久野靖：小池星多	共立出版	202011	3,000	2,970	1	2,970	
380	520	9784764906297	テキスト処理の要素技術		山本和英	近代科学社	202103	3,400	3,366	1	3,366	
381	521	9784764906570	対話システムの作り方		東中電一郎	近代科学社	202302	3,500	3,465	1	3,465	
382	522	9784807909889	進化するオートメーション：A I・ビッグデータ・I o Tそしてオートノマスが拓く		ティモシー・E. カローン：松元明弘	東京化学同人	202003	2,200	2,178	1	2,178	
383	523	9784339027976	C Gによるシミュレーションと可視化		菊池司：竹島由里子	コロナ社	202304	2,700	2,673	1	2,673	
384	524	9784339013733	可視化と科学・文化・社会		竹島由里子：伊藤貴之	コロナ社	202310	3,800	3,762	1	3,762	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
385	525	9784320124998	なぜ世界はデジタルになったのか：マシンの離散的な魅		ケン・スティグリッツ：岩野和生	共立出版	202305	2,900	2,871	1	2,871	
386	526	9784789845205	算数&ラズパイから始めるディープ・ラーニング：TensorFlow版 CNN/RNN/AE/DQNで画像・音声・データ分析	改訂	牧野浩二：西崎博光	CQ出版	202304	2,800	2,772	1	2,772	
387	527	9784274225413	Pythonによる異常検知		曾我部東馬：曾我部完	オーム社	202102	3,200	3,168	1	3,168	
388	528	9784274226731	TensorFlowによる深層強化学習入門：OpenAI Gym+PyBulletによるシミュレーション		牧野浩二：西崎博光	オーム社	202102	2,800	2,772	1	2,772	
389	529	9784274224980	データサイエンス短期集中コース		アンドリュース・キルハー：アダム・キルハー	オーム社	202012	3,600	3,564	1	3,564	
390	530	9784274225673	機械学習エンジニアのための知財&契約ガイド		渡辺知晴：齊藤友紀	オーム社	202007	2,300	2,277	1	2,277	
391	531	9784274230448	機械学習トレーニングデータがわかる本		吉崎哲郎	オーム社	202307	2,400	2,376	1	2,376	
392	532	9784274231087	機械学習のための確率過程入門：確率微分方程式からベイズモデル、拡散モデルまで		内山祐介	オーム社	202309	2,700	2,673	1	2,673	
393	533	9784274227615	機械学習をめぐる冒険		小高知宏	オーム社	202111	2,200	2,178	1	2,178	
394	534	9784274228889	深層学習		柳井啓司：中鹿亘	オーム社	202211	3,000	2,970	1	2,970	
395	535	9784873119625	AIの心理学：アルゴリズムックバイアスとの闘い方を通して学ぶビジ		トバイアス・ベア：武倉広幸	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202110	3,000	2,970	1	2,970	
396	536	9784873119168	ウェブ最適化ではじめる機械学習：A/Bテスト、メタヒューリスティクス、バンディット		飯塚修平	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202011	3,500	3,465	1	3,465	
397	537	9784873119076	セキュリティエンジニアのための機械学習：AI技術によるサイバーセキュリティ対策入門		シハブ・シャビー：新井悠	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202111	3,000	2,970	1	2,970	
398	538	9784873119953	機械学習エンジニアのためのTransformers：最先端の自然言語処理ライブラリによるモデル開発		ルイス・タンスタール：レアンドロ・フォン・ウェラ	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202208	4,000	3,960	1	3,960	
399	539	9784814400409	機械学習システムデザイン：実運用レベルのアプリケーションを実現する継続的改善		チップ・フエン：江川崇	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202308	4,400	4,356	1	4,356	
400	540	9784873119564	機械学習デザインパターン：データ準備、モデル構築、MLOpsの実践上の問題と解決		バリアッパ・ラクシュマナン：サラ・ロビンソン	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202110	3,800	3,762	1	3,762	
401	541	9784873119472	仕事ではじめる機械学習	第2版	有賀康顕：中山心太	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202104	3,000	2,970	1	2,970	
402	542	9784873119205	生成 Deep Learning：絵を描き、物語や音楽を作り、ゲームをプレイする		デビット・フォスター：松田晃一	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202010	3,800	3,762	1	3,762	
403	543	9784873119519	入門機械学習パイプライン：TensorFlowで学ぶワークフローの自動化		ハネス・ハブケ：キャサリン・ネルソン	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202109	3,800	3,762	1	3,762	
404	544	9784339029116	作って学ぶニューラルネットワーク：機械学習の基礎から追加学習まで		山内康一郎	コロナ社	202010	1,900	1,881	1	1,881	
405	545	9784839978358	機械学習エンジニアリング		アンドリー・ブルコフ	マイナビ出版	202204	2,980	2,950	1	2,950	
406	546	9784621307809	AIリスク・マネジメント：信頼できる機械学習ソフトウェアへの工学的的方法論		中島震	丸善出版	202212	2,800	2,772	1	2,772	
407	547	9784621305737	ソフトウェア工学から学ぶ機械学習の品質問題		中島震	丸善出版	202011	2,800	2,772	1	2,772	
408	548	9784320125094	スパース推定100問with Python		鈴木謙	共立出版	202101	3,000	2,970	1	2,970	
409	549	9784320125087	スパース推定100問with R		鈴木謙	共立出版	202010	3,000	2,970	1	2,970	
410	550	9784320124882	機械学習, 1		岡留剛	共立出版	202208	2,200	2,178	1	2,178	
411	551	9784320124899	機械学習, 2		岡留剛	共立出版	202208	2,400	2,376	1	2,376	
412	552	9784320124905	機械学習, 3		岡留剛	共立出版	202208	1,800	1,782	1	1,782	
413	553	9784320124967	機械学習：ベイズと最適化の観点から	原著第2版	セルジオス・テオドリディス：岩野和生	共立出版	202212	15,000	14,850	1	14,850	
414	554	9784320125179	機械学習アルゴリズム		鈴木顕	共立出版	202106	2,600	2,574	1	2,574	
415	555	9784320125124	機械学習のためのカーネル100問with R		鈴木謙	共立出版	202111	3,000	2,970	1	2,970	
416	556	9784320124721	深層強化学習入門		ヴァンサン・フランソワ・ラヴェ：ピーター・ヘンダーソン	共立出版	202104	2,900	2,871	1	2,871	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
417	557	9784320125148	渡辺澄夫ベイズ理論100問 with R／Stan		鈴木 謙	共立出版	202309	3,900	3,861	1	3,861	
418	558	9784320125070	統計的機械学習の数理100問 with Python		鈴木 謙	共立出版	202004	3,000	2,970	1	2,970	
419	559	9784320125063	統計的機械学習の数理100問with R		鈴木 謙	共立出版	202004	3,000	2,970	1	2,970	
420	560	9784320124622	量子コンピュータによる機械学習		大関真之：荒井俊太	共立出版	202008	4,400	4,356	1	4,356	
421	561	9784764906174	データアナリティクスのための機械学習入門：アルゴリズム・実例・ケーススタディ		J. D. ケラハー：B. マクナミー	近代科学社	202208	8,000	7,920	1	7,920	
422	562	9784764906129	はっきりわかるデータサイエンスと機械学習		横内大介：大槻健太郎	近代科学社	202005	3,200	3,168	1	3,168	
423	563	9784065186206	スパース回帰分析とパターン認識		梅津佑太：西井龍映	講談社	202002	2,600	2,574	1	2,574	
424	564	9784065238080	ディープラーニング学習する機械：ヤン・ルカン、人工知能を語る		ヤン・ルカン：松尾豊	講談社	202110	2,500	2,475	1	2,475	
425	565	9784065285862	機械学習工学		石川冬樹：丸山宏	講談社	202207	3,000	2,970	1	2,970	
426	566	9784065259818	現場で活用するための機械学習エンジニアリング		藤井亮宏	講談社	202111	2,700	2,673	1	2,673	
427	567	9784065305140	最適輸送の理論とアルゴリズム		佐藤竜馬	講談社	202301	3,000	2,970	1	2,970	
428	568	9784065133323	深層学習	改訂第2版	岡谷貴之	講談社	202201	3,000	2,970	1	2,970	
429	569	9784627850712	はじめてのパターン認識 ディープラーニング編		平井有三	森北出版	202212	3,600	3,564	1	3,564	
430	570	9784627857315	モデルベース深層学習と深層展開		和田山正	森北出版	202306	3,600	3,564	1	3,564	
431	571	9784627826625	強化学習	第2版	リチャード・S. サットン：アンドリュース・G. バルト	森北出版	202210	6,000	5,940	1	5,940	
432	572	9784807920303	ミュー-Pythonで学ぶ深層学習		J. P. Mueller：L. Massaron	東京化学同人	202303	3,500	3,465	1	3,465	
433	573	9784798171494	Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書	第3版	伊藤 真（情報科学）	翔泳社	202207	2,700	2,673	1	2,673	
434	574	9784798174457	なっとく！機械学習		ルイス・G. セラーノ：クイープ	翔泳社	202204	3,200	3,168	1	3,168	
435	575	9784339033854	機械学習の可能性		計測自動制御学会：浮田浩行	コロナ社	202301	3,600	3,564	1	3,564	
436	576	9784789845199	試せる45！人工知能アルゴリズム全集：主成分分析，決定木／分類木，k-近傍法，クラスタリ		牧野浩二	CQ出版	202305	3,200	3,168	1	3,168	
437	577	9784274225581	プログラミングなしではじめる人工知能		天野直紀	オーム社	202009	2,800	2,772	1	2,772	
438	578	9784873119670	SPRESENSEではじめるローパワーエッジAI		太田義則	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202202	3,200	3,168	1	3,168	
439	579	9784814400386	コンピュータビジョンのための実践機械学習：モデルアーキテクチャからMLOpsまで		バリアバ・ラクシャマナン：マーティン・ガーナー	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202307	4,200	4,158	1	4,158	
440	580	9784814400287	ディープラーニング実践ガイド：クラウド、モバイル、ブラウザ、エッジデバイス向けAI		AnirudhKoul：SiddhaGanju	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202304	4,500	4,455	1	4,455	
441	581	9784873119120	人工知能のアーキテクトたち：AIを築き上げた人々が語るその真実		マーティン・フォード：松尾豊	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202008	3,200	3,168	1	3,168	
442	582	9784873119809	動かして学ぶAI・機械学習の基礎：TensorFlowによるコンピュータビジョン、自		ローレンス・モロニー：菊池彰	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202206	3,600	3,564	1	3,564	
443	583	9784339029284	基礎から学ぶ推薦システム：情報技術で嗜好を予測する		奥健太	コロナ社	202207	4,500	4,455	1	4,455	
444	584	9784781915494	コンピュータが考える：人工知能とはなにか		小林一郎（工学）	サイエンス社	202207	1,900	1,881	1	1,881	
445	585	9784315523003	AI大図鑑		松尾豊	ニュートンプレス	202012	2,800	2,772	1	2,772	
446	586	9784315523591	人工知能の可能性：機械は人間と同じ思考力を持てるのか		ブライアン・キャントウェル・スミス：川村秀憲	ニュートンプレス	202104	1,545	1,529	1	1,529	
447	588	9784320125704	信頼できるAIへのアプローチ：AI活用で踏まえておきたい9つのチェックポイント		BeenaAmmanath：森正弥	共立出版	202310	2,800	2,772	1	2,772	
448	589	9784320125681	人工知能入門	第2版	小高知宏	共立出版	202308	2,400	2,376	1	2,376	

通番	頁学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
449	590	9784764906389	一般教養としての人工知能入門		上野晴樹	近代科学社	202201	2,100	2,079	1	2,079	
450	591	9784764906105	情報抽出・固有表現抽出のための基礎知識		岩倉友哉：関根聡	近代科学社	202003	3,000	2,970	1	2,970	
451	592	9784764906259	浅田稔のA I 研究道：人工知能はココロを持てるか		浅田稔	近代科学社	202011	2,700	2,673	1	2,673	
452	593	9784065218846	イラストで学ぶ人工知能概論	改訂第2版	谷口忠大	講談社	202012	2,600	2,574	1	2,574	
453	594	9784794972972	A I が会話できないのはなぜか：コモングラウンドがひらく未来		西田豊明	晶文社	202202	2,300	2,277	1	2,277	
454	595	9784422400495	はじめてのA I		土屋誠司	創元社	202008	1,800	1,782	1	1,782	
455	596	9784501557508	A I リテラシーの教科書		浅岡伴夫：松田雄馬	東京電機大学出版局	202010	2,600	2,574	1	2,574	
456	597	9784296112913	A I 技術の最前線 これからのA I を読み解く先端技術73		岡野原大輔	日経B P (発売：日経B P マーケティング)	202208	3,500	3,465	1	3,465	
457	598	9784595322129	A I システムと人・社会との関係		山口高平：中谷多哉子	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	202003	2,700	2,673	1	2,673	
458	599	9784781915609	コンピュータと情報システム	第3版	草薙信照	サイエンス社	202211	2,000	1,980	1	1,980	
459	406	9784320124950	Federated Learning：プライバシー保護下における機械学習		Q i a n g Y a n g : Y a n g L i u	共立出版	202210	4,300	4,257	1	4,257	
460	602	9784254122596	情報科学入門		野本弘平	朝倉書店	202101	2,800	2,772	1	2,772	
461	601	9784772220293	あいまいな時空間情報の分析		浅見泰司：薄井宏行	古今書院	202012	4,800	4,752	1	4,752	
462	604	9784595322150	情報技術が拓く人間理解		仁科エミ：辰巳丈夫	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	202003	2,700	2,673	1	2,673	
463	605	9784595322136	データの分析と知識発見	改訂版	秋光淳生	放送大学教育振興会(発売：NHK出版)	202003	3,000	2,970	1	2,970	
464	606	9784862658753	P y t h o n で学ぶ回路シミュレーションとモデリング		盛健次：松澤昭	鳥影社	202104	5,600	5,544	1	5,544	
465	607	9784274224584	コンピュータ概論：未来をひらく情報技術		向井信彦：田村慶信	オーム社	202003	2,600	2,574	1	2,574	
466	628	9784589041906	質的調査の方法：都市・文化・メディアの感じ方	第3版	工藤保則：寺岡伸悟	法律文化社	202201	2,600	2,574	1	2,574	
467	629	9784589042682	数学嫌いのための社会統計学	第3版	津島昌寛：山口洋	法律文化社	202304	2,700	2,673	1	2,673	
468	904	9784771033689	消費行動	第3版	武居奈緒子	晃洋書房	202004	2,800	2,772	1	2,772	
469	633	9784823410727	テキスト計量の最前線：データ時代の社会知を拓く		左古輝人	ひつじ書房	202102	2,800	2,772	1	2,772	
470	634	9784623095247	最新・社会調査へのアプローチ：論理と方法		大谷信介：木下栄二	ミネルヴァ書房	202309	2,500	2,475	1	2,475	
471	635	9784623096268	社会にひらく 社会調査入門		文貞寛：山口恵子（都市社会学）	ミネルヴァ書房	202311	2,800	2,772	1	2,772	
472	636	9784621306314	社会調査の方法論		松本渉	丸善出版	202109	3,000	2,970	1	2,970	
473	637	9784393499177	エスノグラフィー入門：〈現場〉を質的研究する	改訂版	小田博志	春秋社（千代田区）	202309	3,200	3,168	1	3,168	
474	638	9784790717775	はじめての社会調査		三井さよ：三谷はるよ	世界思想社	202303	2,400	2,376	1	2,376	
475	639	9784589041418	入門・社会調査法：2ステップで基礎から学ぶ	第4版	轟亮：杉野勇	法律文化社	202104	2,500	2,475	1	2,475	
476	652	9784781914862	ソーシャルメディア論：行動データが解き明かす人間社会と心理		土方嘉徳	サイエンス社	202010	1,900	1,881	1	1,881	
477	664	9784326154777	情報の哲学のために：データから情報倫理まで		ルチアーノ・フロリディ：塩崎亮	勁草書房	202107	3,000	2,970	1	2,970	
478	665	9784621305881	A I の倫理学		マーク・クーケルパーク：直江清隆	丸善出版	202012	2,400	2,376	1	2,376	
479	682	9784274230028	R による実証分析：回帰分析から因果分析へ	第2版	星野匡郎：田中久穂	オーム社	202301	3,300	3,267	1	3,267	
480	685	9784274227387	入門統計学：検定から多変量解析・実験計画法・ベイズ統計学まで	第2版	東原伸一	オーム社	202107	2,600	2,574	1	2,574	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
481	686	9784873119267	データサイエンスのための統計学入門：予測、分類、統計モデリング、統計的機械学習とR/Pythonプログラミング	第2版	ピーター・ブルース：アンドリュース・ブルース	オライリー・ジャパン(発売：オーム社)	202011	3,200	3,168	1	3,168	
482	689	9784781915739	実習R言語による多変量解析：基礎から機械学習まで		内田治：佐野夏樹	サイエンス社	202305	1,600	1,584	1	1,584	
483	692	9784315526387	統計			ニュートンプレス	202212	3,173	3,141	1	3,141	
484	694	9784762030093	ビッグデータ時代の統計学入門：データサイエンスを支える統計の基本		藤江昌嗣	学文社	202103	2,400	2,376	1	2,376	
485	695	9784621307465	わかりやすい統計学 データサイエンス応用		松原望：森本栄一	丸善出版	202302	2,400	2,376	1	2,376	
486	696	9784621306536	わかりやすい統計学データサイエンス基礎		松原望：森本栄一	丸善出版	202111	2,000	1,980	1	1,980	
487	697	9784000050159	Rによる時系列モデリング入門		北川源四郎	岩波書店	202012	3,800	3,762	1	3,762	
488	698	9784000298964	テキストアナリティクスの基礎と実践		金明哲	岩波書店	202103	3,800	3,762	1	3,762	
489	699	9784000298995	テキストデータマネジメント：前処理から分析へ		波多野賢治：天立俊之	岩波書店	202212	3,600	3,564	1	3,564	
490	708	9784320114449	Pythonで理解を深める統計学		長畑秀和	共立出版	202103	2,900	2,871	1	2,871	
491	714	9784320125186	データサイエンスのための確率統計		尾畑伸明	共立出版	202107	2,700	2,673	1	2,673	
492	715	9784320115514	データ解析のための数理統計入門		久保川達也	共立出版	202310	2,900	2,871	1	2,871	
493	716	9784320114869	データ分析入門：Excelで学ぶ統計		岩城秀樹	共立出版	202302	2,500	2,475	1	2,475	
494	717	9784320114791	よくわかる！Rで身につく統計学入門		兵頭昌：中川智之	共立出版	202212	2,400	2,376	1	2,376	
495	739	9784065285701	予測にいかす統計モデリングの基本：ベイズ統計入門から応用まで	改訂第2版	樋口知之	講談社	202207	2,800	2,772	1	2,772	
496	740	9784798067728	R統計解析パーフェクトマスター（R4完全対応）【統計&機械学習第2版】		金城俊哉	秀和システム	202210	2,900	2,871	1	2,871	
497	741	9784627082717	事例で学ぶ実務者のための統計解析		野口博司	森北出版	202311	2,700	2,673	1	2,673	
498	742	9784627082519	時系列データ解析		白石博	森北出版	202202	4,000	3,960	1	3,960	
499	755	9784753601271	Rで学ぶ確率統計学 実データ分析編		神永正博：木下勉	内田老鶴圃	202309	3,800	3,762	1	3,762	
500	758	9784585240112	R・Pythonによる統計データ科学		杉山高一：藤越康祝	勉誠社	202001	2,700	2,673	1	2,673	
501	784	9784320125216	Pythonで学ぶ確率統計		尾畑伸明：荒木由布子	共立出版	202310	3,200	3,168	1	3,168	
502	809	9784627052727	情報数学の基礎：例からはじめてよくわかる	第2版	幸谷智紀：國持良行	森北出版	202011	2,200	2,178	1	2,178	
503	828	9784320114364	情報系のための離散数学		猪股俊光：南野謙一	共立出版	202009	2,500	2,475	1	2,475	
504	829	9784320114685	離散数学：応用事例とイラストでわかる カンタンな数学でAIも理解できる!?	第2版	延原肇	共立出版	202203	2,500	2,475	1	2,475	
505	838	9784274230639	Rによるやさしいテキストアナリティクス		小林雄一郎	オーム社	202306	2,800	2,772	1	2,772	
506	839	9784274229671	やさしく学べるサポートベクトルマシン：数学の基礎とPythonによる実践		田村孝廣	オーム社	202211	3,000	2,970	1	2,970	
507	857	9784274231247	アンケート調査とAHPデータ分析：単純集計では見えない消費者の本音を探る		木下栄蔵：法雲俊栄	オーム社	202311	2,500	2,475	1	2,475	
508	858	9784339029086	実データで体験するビッグデータ活用マーケティング・サイエンス：はじめてでもわかる「R」によるデータ分析		横山真一郎：大神田博	コロナ社	202006	2,500	2,475	1	2,475	
509	859	9784320124561	Rによる実践的マーケティングリサーチと分析	原著第2版	クリス・チャップマン：エレア・マクドネル・フェイト	共立出版	202003	6,600	6,534	1	6,534	
510	867	9784883355105	デジノグラフィ：インサイト発見のためのビッグデータ分析		博報堂生活総合研究所	宣伝会議	202103	1,850	1,831	1	1,831	
511	868	9784492558287	デジタルマーケティングの教科書：データ資本主義時代の流通小売戦略		牧田幸裕	東洋経済新報社	202310	2,000	1,980	1	1,980	
512	870	9784883843671	Rによるマーケティング・データ分析：基礎から応用まで		ウィラワン・ドニ・ダハナ：勝又壮太郎	新世社（渋谷区）(発売：サイエンス社)	202303	2,500	2,475	1	2,475	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
513	872	9784805112113	ヘルスケア・サービスのマーケティング：消費者の自己効力 感マネジメント		森藤ちひろ	千倉書房	202103	3,600	3,564	1	3,564	
514	873	9784805112861	感覚訴求が消費者の感情と認知に及ぼす影響：無自覚な連鎖 反応のメカニズム		西井真祐子	千倉書房	202305	3,200	3,168	1	3,168	
515	875	9784805112595	地域経営のための新しい流通・マーケティング		岡田一範：井上和久	千倉書房	202208	3,200	3,168	1	3,168	
516	878	9784502467219	これからはじめるデジタル時代のマーケティング		向正通：宮元万菜美	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202309	2,700	2,673	1	2,673	
517	879	9784502475917	デジタル・メディア・ブランディング：消費生活者起点のマ ーケティング・コミュニケーション		山本ひとみ：大島一豊	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202312	2,500	2,475	1	2,475	
518	883	9784502335716	文化を競争力とするマーケティング：カルチャー・コンピタ ンスの戦略原理		K M S 研究会：齊藤通貴	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202003	3,300	3,267	1	3,267	
519	886	9784535540156	需要予測の戦略的活用：マーケティングとサプライチェーン マネジメント（S C		山口雄大	日本評論社	202109	2,500	2,475	1	2,475	
520	888	9784561652328	消費者行動論：モノからコト・トキ消費へ		金成沫	白桃書房	202003	2,700	2,673	1	2,673	
521	889	9784842918549	新時代のマーケティング：デジタル経済を動かすキー・ワード		宮下雄治	八千代出版	202310	1,800	1,782	1	1,782	
522	890	9784902078671	文化とアートのマーケティング		フランソワ・コルベール： フィリップ・ラヴァナス	美学出版	202108	2,800	2,772	1	2,772	
523	905	9784782305935	持続可能な社会のマーケティング		辻幸恵	嵯峨野書院	202004	2,400	2,376	1	2,376	
524	984	9784382158351	心理的安全性が作りだす組織の未来：アメリカ発の心理的 安全性を日本流に転換せよ		仁科雅朋	産業能率大学出版部	202303	1,800	1,782	1	1,782	
525	912	9784502421617	1 からのマーケティング分析	第2 版	恩蔵直人：富田健司	碩学舎(発売：中央経済グ ループパブ)	202203	2,400	2,376	1	2,376	
526	242	9784798064598	スマートな良いコードのために P y t h o n で学ぶアルゴリ ズム入門		松浦健一郎：司ゆき	秀和システム	202112					品切れ・重版未定です。
527	921	9784811906096	戦前日本のマーケティング		野村比加留	筑波書房	202109	2,800	2,772	1	2,772	
528	922	9784502377716	マーケティングとS N S のミカタ：地方創生への処方箋		西村順二	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202106	2,400	2,376	1	2,376	
529	923	9784022518187	コトラーのマーケティング5、0：デジタル・テクノロジー 時代の革新戦略		フィリップ・コトラー：ヘ ルマワン・カルタジャヤ	朝日新聞出版	202204	2,500	2,475	1	2,475	
530	924	9784022516763	コトラーのリテール4、0：デジタルトランスフォーメー ション時代の1 0 の法則		フィリップ・コトラー： ジュゼッペ・ステリアーノ	朝日新聞出版	202004	2,400	2,376	1	2,376	
531	929	9784495650056	ケースで学ぶ価値共創マーケティングの展開：新たなビジネ ス領域への挑戦		村松潤一：藤岡芳郎	同文館出版	202008	2,300	2,277	1	2,277	
532	935	9784495650032	学としてのマーケティング：マーケティング学の論理と方法		上沼克徳	同文館出版	202003	3,800	3,762	1	3,762	
533	937	9784495650148	地域流通とマーケティング		吉川勝彦	同文館出版	202203	2,500	2,475	1	2,475	
534	963	9784757123786	D X 経営戦略：成熟したデジタル組織をめざして		ジェラルド・C. ケイン： アン・グエン・フィリップ ス	N T T 出版	202011	3,300	3,267	1	3,267	
535	964	9784419069285	D X と人的資本		境睦：鳥居陽介	税務経理協会	202304	2,300	2,277	1	2,277	
536	979	9784762032301	心理的エンパワーメントと組織の再活性化		富岡政義	学文社	202302	3,700	3,663	1	3,663	
537	1173	9784839421854	会計規準の統合と分岐：E U とドイツのなかの I F R S		佐藤誠二	森山書店	202010	3,300	3,267	1	3,267	
538	985	9784883843220	グラフィック経営組織論		中野勉：加藤俊彦	新世社（渋谷区）(発売： サイエンス社)	202103	2,100	2,079	1	2,079	
539	986	9784419069582	影響力の法則：現代組織を生き抜くバイブル	新版	アラン・R. コーエン：デ ビッド・L. ブラッドフォ ード	税務経理協会	202311	2,900	2,871	1	2,871	
540	1008	9784561267768	個人と組織不適合のダイナミクス：適合と不適合が牽引する 外部環境適応		山崎京子	白桃書房	202302	3,091	3,060	1	3,060	
541	1021	9784478118078	戦略としての企業価値		佐藤克宏	ダイヤモンド社	202306	3,200	3,168	1	3,168	
542	1035	9784805112304	経営情報戦略入門：文理融合へのいざない		宮元万菜美	千倉書房	202109	2,800	2,772	1	2,772	
543	1042	9784502450310	ダイナミック・ケイパビリティのフレームワーク：資源ベ ース再構成の組織能力		木下耕二	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202304	3,000	2,970	1	2,970	
544	1053	9784502476815	中小企業の国際化		弘中史子	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202312	3,000	2,970	1	2,970	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
545	1067	9784495390693	デジタル時代のエコシステム経営：共創・共栄する仕組みづくりの論理		松崎和久	同文館出版	202209	2,700	2,673	1	2,673	
546	1080	9784532324469	情報資源の経営戦略：SNS時代の競争優位		西野和美	日経BPM（日本経済新聞出版本部）	202112	2,500	2,475	1	2,475	
547	1084	9784535540675	経営戦略の経済学	新版	浅羽茂	日本評論社	202307	2,700	2,673	1	2,673	
548	1087	9784561267560	戦略経営論：動的適応システムの構築		徳永善昭	白桃書房	202112	4,727	4,679	1	4,679	
549	1098	9784641165977	企業戦略論：構造をデザインする		牛島辰男	有斐閣	202205	3,200	3,168	1	3,168	
550	1174	9784839421830	会計制度の論点		五十嵐邦正	森山書店	202007	3,500	3,465	1	3,465	
551	1122	9784830950995	組織設計と個人行動：「H. ミンツバーグ組織設計論」と「組織行動論」	増補版	丁園鎮	文真堂	202009	2,800	2,772	1	2,772	
552	1130	9784883843312	コア・テキスト経営情報論		生稲史彦・高井文子	新世社（渋谷区）（発売：サイエンス社）	202106	2,900	2,871	1	2,871	
553	1132	9784502359910	デジタル戦略の教科書		今枝昌宏	中央経済社（発売：中央経済グループパブ）	202010	2,500	2,475	1	2,475	
554	1137	9784641222083	経営情報学：理論と現象をつなぐ論理		木嶋恭一・岸真理子	有斐閣	202303	2,300	2,277	1	2,277	
555	1142	9784883843190	グラフィックマーケティング		上田隆穂・造谷覚	新世社（渋谷区）（発売：サイエンス社）	202012	2,550	2,524	1	2,524	
556	1145	9784595324109	経営情報学入門	新訂	岸真理子・佐藤亮（経営学）	放送大学教育振興会（発売：NHK出版）	202303	3,000	2,970	1	2,970	
557	1151	9784873119557	AI技術を活かすためのスキル：データをビジネスの意思決定に繋げるために		ダニエル・ヴォーン・西内啓	オライリー・ジャパン（発売：オーム社）	202111	2,800	2,772	1	2,772	
558	1153	9784830950841	組織を生きる・活かす心理学：組織心理学入門		小林裕	文真堂	202004	1,800	1,782	1	1,782	
559	1163	9784478113547	企業価値向上のための経営指標大全		大津広一	ダイヤモンド社	202201	3,600	3,564	1	3,564	
560	1164	9784623088355	教養の会計学：ゲーム理論と実験でデザインする		田口聡志	ミネルヴァ書房	202004	2,800	2,772	1	2,772	
561	1166	9784766428490	会計学を索ねて：基本概念と存在理由		友岡賢	慶應義塾大学出版会	202210	2,500	2,475	1	2,475	
562	1167	9784275021205	会計アノマリーの研究		中川豊隆	御茶の水書房	202001	4,200	4,158	1	4,158	
563	1168	9784785729776	取締役会等の意思決定援助 会計的アプローチから		古田清和	商事法務	202207	2,700	2,673	1	2,673	
564	1176	9784839421892	財務会計制度の論と理		中村文彦	森山書店	202107	2,800	2,772	1	2,772	
565	1188	9784881253847	環境会計各論		植田敦紀	専修大学出版局	202310	2,700	2,673	1	2,673	
566	920	9784909933430	コンテンツの、コンテンツによる、コンテンツのためのマーケティング 映画・アニメ・		辻本法子・田口順等	大阪公立大学出版会	202302	2,000	1,980	1	1,980	
567	1177	9784419068264	ノーベス会計学入門		クリストファー・ノーベス：水谷文宣	税務経理協会	202110	1,800	1,782	1	1,782	
568	1179	9784419067595	会計・ファイナンス入門	第3版	鯖田豊則	税務経理協会	202010	2,200	2,178	1	2,178	
569	1180	9784419067960	会計学を学ぶ：経済常識としての会計学入門	第2版	田中弘：向伊知郎	税務経理協会	202104	1,800	1,782	1	1,782	
570	1182	9784419067151	基礎から学ぶ簿記会計・経営分析		三枝幸文：石垣美佳	税務経理協会	202004	3,000	2,970	1	2,970	
571	1184	9784419068493	財務会計論	新版（四訂版）	井上良二：山田康裕	税務経理協会	202205	4,700	4,653	1	4,653	
572	1185	9784419067939	財務報告の再検討：基準・規範・制度		シャム・サンダー：徳賀芳弘	税務経理協会	202103	2,700	2,673	1	2,673	
573	1186	9784419068240	世界をめぐる会計歴史紀行：新たな地平を求めて		渡邊泉	税務経理協会	202109	1,800	1,782	1	1,782	
574	1187	9784881253793	FASB概念フレームワークの形成過程の論理		川津大樹	専修大学出版局	202302	3,000	2,970	1	2,970	
575	603	9784816929533	日本情報通信史事典：トピックス1854-2022		日外アソシエーツ	日外アソシエーツ	202302	13,600	13,464	1	13,464	
576	1197	9784502452819	ポスト実証主義の会計学		新谷司	中央経済社（発売：中央経済グループパブ）	202303	6,600	6,534	1	6,534	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
577	1198	9784502381614	引当金・準備金制度論：会計制度と税法の各国比較と主要論 点の考察		佐藤信彦	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202105	3,600	3,564	1	3,564	
578	1199	9784502336713	会計のヒストリー 8 0		野口昌良：清水泰洋	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202004	2,600	2,574	1	2,574	
579	1201	9784502379314	会計学の手法：実証・分析・実験によるアプローチ	第2版	田村威文：中條祐介	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202103	2,700	2,673	1	2,673	
580	1203	9784502357411	会計研究の挑戦：理論と制度における「知」の融合		河崎照行	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202010	6,300	6,237	1	6,237	
581	1204	9784502354717	会計構造の深層論理：真の模式簿記システムの探究		上野清貴	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202008	5,400	5,346	1	5,346	
582	1207	9784502373510	会計利益の基礎概念		浅見裕子	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202103	4,500	4,455	1	4,455	
583	1208	9784502410413	経営企画のための財務会計入門：利益変動のロジックを追い 掛ける		後藤史守弥	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202201	2,700	2,673	1	2,673	
584	1210	9784502427619	財務会計の理論と実証	新版	ウィリアム・R. スコッ ト：バトリシア・C. オブ ライエン	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202204	6,300	6,237	1	6,237	
585	1218	9784502341618	森田哲彌学説の研究：一橋会計学の展開		安藤英義：新田忠誓	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202006	5,000	4,950	1	4,950	
586	1220	9784502421518	戦略的コストマネジメント		梶原武久	中央経済社(発売：中央経 済グループパブ)	202203	3,800	3,762	1	3,762	
587	1227	9784495210274	価値共創のための統合報告：情報開示から情報利用へ		伊藤和憲	同文館出版	202107	2,500	2,475	1	2,475	
588	1228	9784495210205	会計・監査研究の展開		高田敏文	同文館出版	202101	4,300	4,257	1	4,257	
589	1230	9784495210496	会計と倫理：信頼と公平を携えた 8 0 0 年の軌跡		渡邊泉	同文館出版	202307	2,400	2,376	1	2,376	
590	1236	9784495210199	原点回帰の会计学：経済的格差の是正に向けて		渡辺泉（会计学）	同文館出版	202009	2,600	2,574	1	2,574	
591	1237	9784495210335	国際会計の軌跡：歴史的アプローチによる会計基準、会計教 育、内部統制		橋本尚	同文館出版	202203	4,200	4,158	1	4,158	
592	1241	9784495210120	詳解財務会計論：制度と慣習と政策のルール		星野一郎	同文館出版	202006	4,300	4,257	1	4,257	
593	1245	9784495210144	理論とケースで学ぶ財務分析		金子智朗	同文館出版	202007	1,900	1,881	1	1,881	
594	1246	9784532322847	会計×戦略思考：ビジネススクールで身につける		大津広一	日経 B P M（日本経済新聞 出版本部）	202101	1,800	1,782	1	1,782	
595	1247	9784532135256	新・現代会計入門	第5版	伊藤邦雄	日経 B P M（日本経済新聞 出版本部）	202203	4,000	3,960	1	3,960	
596	1248	9784561342298	フォレンジック会計：会計と企業法務との連携		中島真澄：片山智裕	白桃書房	202308	3,364	3,330	1	3,330	
597	1249	9784561362227	価値のための会計：賢明なる投資家のバリュエーションと会 計		S. H. ベンマン：杉本徳 栄	白桃書房	202106	4,273	4,230	1	4,230	
598	1251	9784903281575	公会計論の研究		鶴川正樹	武蔵野大学出版会	202303	2,500	2,475	1	2,475	
599	1257	9784805112168	財務諸表と企業分析入門	改訂版	古賀智敏	千倉書房	202010	2,400	2,376	1	2,376	
600	1258	9784478112885	企業価値評価：バリュエーションの理論と実践、下	第7版	マッキンゼー・アンド・カ ンパニー：ティム・コラー	ダイヤモンド社	202201	4,500	4,455	1	4,455	
601	1259	9784478112878	企業価値評価：バリュエーションの理論と実践、上	第7版	マッキンゼー・アンド・カ ンパニー：ティム・コラー	ダイヤモンド社	202201	4,500	4,455	1	4,455	
602	1263	9784297116842	Rによるセイバーメトリクス入門		マックス・マーチ：ジム・ アルバート	技術評論社	202011	3,400	3,366	1	3,366	
603	1264	9784534060679	野球データでやさしく学べる P y t h o n 入門：いきなり 「グラフ作成」「顧客分析」ができる		齋藤周	日本実業出版社	202312	1,900	1,881	1	1,881	
604	1266	9784759820676	アメリカン・ベースボール革命：データ・テクノロジーが野 球の常識を変える		ベン・リンドバーク：トラ ビス・ソーチック	化学同人	202105	3,200	3,168	1	3,168	
605	1267	9784000296236	勝てる野球の統計学：セイバーメトリクス		鳥越規央：データスタジ ア株式会社	岩波書店	201403	1,300	1,287	1	1,287	
606	1269	9784774187273	プロ野球でわかる！はじめての統計学		佐藤文彦：岡田友輔	技術評論社	201703	2,280	2,257	1	2,257	
607	1273	9784295015253	N B A バスケ超分析 語りたくなる 5 0 の新常識		佐々木クリス	インプレス	202209	1,900	1,881	1	1,881	
608	1274	9784528023819	データで強くなる！バスケットボール最強の確率		小谷究：木村和希	日東書院本社	202205	1,800	1,782	1	1,782	

通番	貴学 No.	ISBN (13桁)	書名	版次	著者名	出版社	出版年月	本体定価	見積価格 (税込)	冊数	見積金額 (税込)	備考
609	1275	9784880652863	セイバーメトリクス・レポート、 1			DELTA (発売：水曜社)	201203	2,200	2,178	1	2,178	
610	1276	9784862555151	新時代の野球データ論：フライボール革命のメカニズム		神事努：Baseball Geeks編集部	カンゼン	201907	1,600	1,584	1	1,584	
611	1277	9784880653198	セイバーメトリクス・レポート、 2		岡田友輔：道作	水曜社	201303	2,400	2,376	1	2,376	
612	1278	9784880653402	セイバーメトリクス・レポート、 3		岡田友輔：三宅博人	水曜社	201404	2,000	1,980	1	1,980	
613	1279	9784880653570	セイバーメトリクス・レポート、 4		岡田友輔：道作	水曜社	201503	2,000	1,980	1	1,980	
614	1280	9784880653846	セイバーメトリクス・レポート、 5		岡田友輔：道作	水曜社	201605	2,000	1,980	1	1,980	
615	1282	9784880655499	デルタ・ベースボール・レポート	6	岡田友輔：道作	水曜社	202306	2,200	2,178	1	2,178	
616	1283	9784880654317	デルタ・ベースボール・レポート、 1		岡田友輔：蛭川皓平	水曜社	201709	2,000	1,980	1	1,980	
617	1284	9784880654560	デルタ・ベースボール・レポート、 2		岡田友輔：道作	水曜社	201810	2,000	1,980	1	1,980	
618	1285	9784880654768	デルタ・ベースボール・レポート、 3		岡田友輔：道作	水曜社	201912	2,000	1,980	1	1,980	
619	1286	9784880655031	デルタ・ベースボール・レポート、 4		岡田友輔：道作	水曜社	202103	2,000	1,980	1	1,980	
620	1287	9784880655260	デルタ・ベースボール・レポート、 5		岡田友輔：道作	水曜社	202204	2,200	2,178	1	2,178	
621	1288	9784801927827	野球データ革命：数字が示す、新たな勝利の方程式		森本峻太	竹書房	202109	1,800	1,782	1	1,782	
622	1290	9784797392692	野球の科学：解剖学、力学、統計学でプレーを分析！		川村卓	SBCクリエイティブ	202103	1,000	990	1	990	
623	1291	9784040823287	ビッグデータベースボール		トラヴィス・ソーチック： 桑田健	KADOKAWA	201907	1,200	1,188	1	1,188	
624	1293	9784065274552	統計学が見つけた野球の真理最先端のセイバーメトリクスが 明らかにしたもの		鳥越規央	講談社	202203	1,000	990	1	990	
625	1296	9784759816655	スポーツを10倍楽しむ統計学：データで変えるスポーツ 観戦		鳥越規央	化学同人	201505	1,600	1,584	1	1,584	

622 1,898,570

通番	貴学No.	ProductID	書籍底本ISBN	書名	版次	著者名	出版社	販売開始日	本体定価	見積価格 (本体)	同時アクセス数
1	121	KP00070124	9784502423710	サステナブル経営を実現する金融機関の管理会計 :いま経営に必要な叡智とは			中央経済社	20220908	14,300	14,300	1
2	127	KP00051701	9784502385711	企業会計における評価差額の認識 :純利益と包括利益の境界線			中央経済社	20211013	12,650	12,650	1
3	128	KP00053475	9784502391217	企業統治の会計史 :戦前期日本企業の所有構造と会計行動			中央経済社	20211118	10,175	10,175	1
4	129	KP00044999	9784502335617	危険とリスクの会計 :アメリカ会計基準の設定過程を通じた理論研究			中央経済社	20210422	24,750	24,750	1
5	132	KP00070121	9784502418013	経済学で考える制度会計			中央経済社	20220908	8,250	8,250	1
6	134	KP00067250	9784502415111	原子力発電の会計学			中央経済社	20220706	13,750	13,750	1
7	136	KP00089298	9784502465215	財務会計のファンダメンタルズ			中央経済社	20231214	10,450	10,450	1
8	142	KP00089284	9784502453311	日本の中小企業会計制度 :歴史的変遷と現行システムの解明			中央経済社	20231214	14,300	14,300	1
9	145	KP00054825	9784502396717	非営利組織会計の基礎概念 :利益測定の計算構造と財務報告			中央経済社	20211221	11,000	11,000	1
10	147	KP00044840	9784535559745	楢円の思考と現代会計 :会計の世界で何が起きているか			日本評論社	20210422	6,270	6,270	2
11	154	KP00064496	9784502336713	会計のヒストリー80		野口昌良	中央経済社	20220517	7,150	7,150	1
12	156	KP00045006	9784502354717	会計構造の深層論理 :真の複式簿記システムの探究			中央経済社	20210422	14,850	14,850	1
13	157	KP00051691	9784502373510	会計利益の基礎概念			中央経済社	20211012	12,375	12,375	1
14	195	KP00041058	9784502330810	新興国・開発途上国の会計 :最良の会計ルールを求めた知的実践			中央経済社	20210215	12,925	12,925	1
15	203	KP00084445	9784561352280	ケースでまなぶ財務会計 第9版 :新聞記事のケースを通して財務会計の基礎をまなぶ			白桃書房	20230909	6,820	6,820	1

10%課税対象合計 (本体) 180,015

消費税額 (10%) 18,001

合計 198,016

学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）

目次

（１） 新設組織の概要	P2
（２） 人材需要の社会的な動向等	P3
（３） 学生確保の見通し	P8
（４） 新組織の定員設定の理由	P29

(1) 新設組織の概要

① 新設組織の概要

新設組織	入学定員	収容定員	所在地
横浜商科大学大学院 商学研究科 商学専攻 修士課程	5 名	10 名	神奈川県横浜市 鶴見区東寺尾 4-11-1

② 新設組織の特色

ア. 既設組織

既設組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
商学部	330 名	10 名	1340 名	神奈川県横浜市 鶴見区東寺尾 4-11-1
商学科	180 名	6 名	732 名	
観光マネジメント学科	70 名	4 名	288 名	
経営情報学科	80 名		320 名	

本学では、商学を軸として、ビジネスに欠かせないマーケティングや I C T、商品開発、経営、会計などの基礎知識を学び、観光、スポーツや情報関連の分野に特化した専門知識から社会で活躍する人材の養成を行っている。

今回設置する大学院は、既存組織である商学部を基盤とし、汎用的知識・技術を身につけた人材を育成し、社会へと輩出することを目的としている。

2023 年度より「データサイエンス

教育プログラム」を開設し、データサイエンス・AI に関する知識・技能を習得し、情報倫理の必要性を理解した上で、社会における課題解決のために基礎的なデータ活用を実践できる人材の養成を進めている。

イ. 新設組織の特色

本学の学びの特色は「実効型ビジネス教育」である。「実践力」「行動力」「協働を図る力」を育む中で、効果的な課題解決能力を身に付けようとするものである。「やってみる」と「考え」を繰り返し、実効力ある解決手法を実践の中で実現しようとするものである。新たな学問領域であるデータサイエンスも、事象（データ）間の中から因果関係や相関関係等を見出し、新たな知見を得て、より実効力のある解決手法を見出そうとするものであり、本学の実践的教育にも裨益し、課題解決型人材には不可欠なスキルだと考えている。

横浜商科大学大学院商学研究科商学専攻では、この学びの特色を活かすとともに、社会・企業・組織が持つ経営上の課題や社会的課題を解決するにあたり、本学が教育・研究の中心とする商学の知識と、データサイエンスから導き出される知見を組み合わせ活用し、実践的・実務的な環境に応じて、本質的に効果的な真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じ、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人財を養成することにある。

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

新設組織で養成する人材の需要について、次の動向を踏まえて分析する。

ア. 内閣府 AI 戦略会議「AI 戦略 2019」における目標について

内閣府 AI 戦略会議は、令和元年 6 月 11 日「AI 戦略 2019」において、大学・高専・社会人向けに、具体的目標として（目標 1）文理を問わず、全ての大学・高専生（約 50 万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス AI を習得」「（目標 2）多くの社会人（約 100 万人/年）が、基本的情報知識と、データサイエンス・AI 等の実践的活用スキルを習得できる機会をあらゆる手段を用いて提供」「（目標 3）大学生、社会人に対するリベラルアーツ教育の充実（一面的なデータ解析の結果や AI を鵜呑みにしないための批判的思考力の養成も含む）」を掲げている。これらの目標は、令和 4 年 4 月 22 日「AI 戦略 2022」においても引き継がれているところである。

イ. 閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2022」について

令和 4 年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2022 新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～（骨太方針 2022）」では、「新しい資本主義に向けた重点投資分野」として人への投資と分配が掲げられており、「人への投資を通じた「成長と分配の好循環」を教育・人材育成においても実現し、「新しい資本主義」の実現に資するため、デジタル化に対応したイノベーション人材の育成等、大学、高等専門学校、専門学校等の社会の変化への対応を加速する。」としている。

ウ. 文部科学省におけるプログラミング教育について

文部科学省では、例えば、小学校でのプログラミング教育の必修化、STEM（Science, Technology, Engineering, and Mathematics）教育の推進、未来の産業や社会に必要な人材を育成するための「未来投資人材育成プログラム」の推進などが進められており、それらの政策にはデータサイエンス分野も含まれている。

エ. 経済産業省におけるデジタル人材育成について

経済産業省では、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を図るという方針のもとで、デジタル人材育成の支援や DX 人材養成プログラムの推進、デジタル人材育成における産・官・学連携の推進などの政策が進められており、これらの政策においてもデータサイエンス分野の人材の育成に力点が置かれている。

オ. 本学が立地する神奈川県や横浜市での取り組みについて

本学が立地する神奈川県や横浜市においては、デジタルトランスフォーメーションの推進への取り組みが進められており、それを担うデータサイエンス分野の人材の育成が重視されている。

例えば、横浜市では 2022 年 9 月に「横浜DX戦略」を策定・公表し、「行政のDX」、「地域のDX」、「都市のDX」の推進に取り組むことを表明している。さらに、2022 年度から 27 年度までの 6 年間を計画期間とする「横浜市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略」も策定している。

この戦略は、デジタル技術の活用によって地域の個性を生かしながら社会課題解決や魅力向上の取り組みを加速化・深化するという国の「デジタル田園都市国家構想」に基づくもので、SDGs の実現、地域コミュニティ強化、DX の推進とデータ活用・オープンイノベーションの推進、協働・共創、脱炭素社会実現の 5 つの視点の重視を基本姿勢とし、市民、企業、大学等と連携して横浜ならではの地方創生の実現を目指している。

そして、こうした政策や都市戦略を担う人材を育成するために、2018 年 4 月、横浜国立大学にデータサイエンス学部を開設、さらに 2020 年 4 月には大学院にデータサイエンス研究科を開設している。特に前者は全国で 2 番目に開設された学部であり、横浜市はデータサイエンス分野の人材の育成において先進的な都市の 1 つであると考えている。

以上のように、国や本学が立地する横浜市の取り組みからも明らかなように、新設組織が養成するデータサイエンス分野の人材の需要は高いと捉えている。本学は、そうした横浜市に立地する大学として、データサイエンス分野の人材育成に貢献したいと考えている。

② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

本学が設置する大学院への志願者および入学者は、既設組織である商学部の卒業生が多く、主なターゲットと想定している。大学院への志願者、入学者を確保する上で、既設組織である商学部の学生確保が重要であると考えている。

18 歳人口の全国的、地域的動向の予測については、文部科学省が 2020（令和 2 年）10 月に発表した『地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン 参考資料集』の P8 に掲載されている「大学進学者数の推計」によれば、2040（令和 22）年の推計 18 歳人口は 881,782 人、大学進学者数は 506,005 人となっている。【図 2-1】

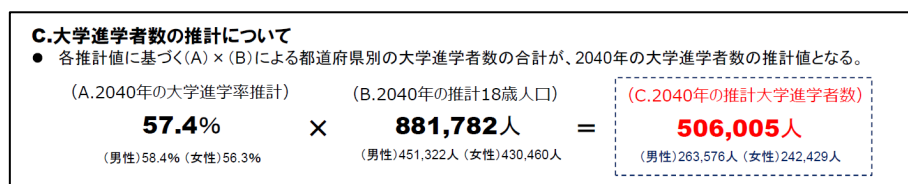
本学商学部の過去 5 年間の志願者数をもとに、18 歳人口に占める割合を計算すると、2020（令和 2 年）が最も高く志願者数 1464 人で 0.125%、2022（令和 4）年が最も低く 605 人で 0.054%となっている。【図 2-2】

この 18 歳人口に占める本学商学部の志願者数の割合をもとに、2040（令和 22 年の推計 18 歳人口 881,782 人から、最も低い割合の 0.054%で計算すると、本学商学部の推計志願者数は 476 人となる。

この結果より、2040（令和 22 年）の本学商学部の推計志願者数は 476 人、本学商学部の入学定員数 330 人に対し、倍率 1.44 倍となる。

以上のことから、商学部の収容定員が充足できることにより、大学院志願者のニーズにあった教育課程を編成し、それを的確にアピールできれば、収容定員の充足は十分に可能であると判断できる。

【図 2-1】文部科学省『地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン参考資料集』P8



【図 2-2】本学商学部 of 過去 5 年の志願者数と 18 歳人口比

年	18 歳人口(人)	志願者数(人)	18 歳人口比
	全国	商学部	商学部
2019	1, 174, 801	1, 166	0. 099%
2020	1, 167, 348	1, 464	0. 125%
2021	1, 141, 140	1, 054	0. 092%
2022	1, 121, 285	605	0. 054%
2023	1, 097, 416	648	0. 059%
2040	881, 782	476	0. 054%

③ 新設組織の主な学生募集地域

本学商学部が学生募集の対象としている地域は、本学所在地の神奈川県、隣接する静岡県、そして東京都、及び関東近辺の首都圏となっている。

この地域は、本学志願者の都道府県別出身地域とおおよそ一致しており、直近の 2023 年 4 月入試では、1 位が神奈川県で志願者全体の 66%、2 位が静岡県で 7%、3 位が東京都で 6%、4 位が千葉県で 2%、5 位が長野県で 2%となり、5 位までで志願者全体の約 8 割となっている。過去 5 年でみても、上位 3 位（神奈川県、静岡県、東京都）までの順位に変化はなく、3 位以下も関東近辺の都道府県がほとんどである。【図 2-3】

志願者が最も多い神奈川県の 18 歳人口の動向は、2023 年が 80,345 人、2014 年と比較すると 81,555 人で、2013 と 2023 年の増減が 1,210 人の減、減少率が 1.48%となり、全国に比べると神奈川県の 18 歳人口の減少率はなだらかに推移する状態にある。【図 2-4】

学校基本調査を基に教育企画センターがまとめた「都道府県 18 歳人口予測値推移」の資料によると、2020 年から 2032 年の 18 歳人口の減少率は、全国が 11.1%の減少に対し、神奈川県は 5.6%の減少、静岡県が 17.2%の減少、東京都は 3.1%の増加となっている。【図 2-6】

この減少率をもとに神奈川県の 2032 年の 18 歳人口を計算すると約 76,000 人、静岡県の減少率が全国より多いが、東京都では増加することを踏まえると、本学の学生確保の見込みがあると考えている。商学部の学生確保として、神奈川県、東京都等が多いことから、大学院についても引き続き、同地域からの志願者が多いと考えている。

【図 2-3】 本学過去 5 年間の地域別志願者数の割合

	2019年4月入試			2020年4月入試			2021年4月入試			2022年4月入試			2023年4月入試		
順位	都道府県	志願者数	割合	都道府県	志願者数	割合	都道府県	志願者数	割合	都道府県	志願者数	割合	都道府県	志願者数	割合
1	神奈川県	720	61%	神奈川県	854	58%	神奈川県	680	64%	神奈川県	395	65%	神奈川県	428	66%
2	東京都	109	9%	東京都	165	11%	東京都	105	10%	東京都	68	11%	静岡県	46	7%
3	静岡県	52	4%	静岡県	69	5%	静岡県	54	5%	静岡県	28	5%	東京都	39	6%
4	埼玉県	17	1%	長野県	22	1%	埼玉県	24	2%	山梨県	7	1%	千葉県	15	2%
5	新潟県	16	1%	茨城県	18	1%	山梨県	18	2%	千葉県	7	1%	長野県	12	2%
6	茨城県	14	1%	山口県	18	1%	茨城県	14	1%	新潟県	6	1%	新潟県	8	1%
7	千葉県	13	1%	千葉県	18	1%	千葉県	10	1%	北海道	6	1%	奈良県	6	1%
8	長野県	13	1%	栃木県	16	1%	宮城県	9	1%	沖縄県	5	1%	栃木県	5	1%
9	群馬県	11	1%	福島県	16	1%	群馬県	9	1%	宮崎県	5	1%	福島県	5	1%
10	青森県	11	1%	新潟県	15	1%	新潟県	8	1%	群馬県	5	1%	山口県	5	1%

【図 2-4】 文部科学省『学校基本調査』 「高等教育機関への入学状況」より「2013～2023 年の 10 年間の 18 歳人口」及び神奈川県『学校基本調査』「年齢(各歳・5 歳階級)別、男女別人口」をもとに作成

年		18 歳人口 (人)			
		全国	前年比	神奈川県	前年比
25	2013	1, 231, 117		84, 458	
26	2014	1, 180, 838	△ 50, 279	81, 555	△ 2, 903
27	2015	1, 199, 977	19, 139	82, 688	1, 133
28	2016	1, 190, 262	△ 9, 715	86, 598	3, 910
29	2017	1, 198, 290	8, 028	85, 760	△ 838
令和元	2019	1, 174, 801	△ 5, 007	86, 770	2, 123
2	2020	1, 167, 348	△ 7, 453	84, 061	△ 2, 709
3	2021	1, 141, 140	△ 26, 208	82, 551	△ 1, 510
4	2022	1, 121, 285	△ 19, 855	80, 993	△ 1, 558
5	2023	1, 097, 416	△ 23, 869	80, 345	△ 648
2014-2023 の増減		△ 83, 422		△ 1, 210	
2014-2023 の増減率		-7. 06%		-1. 48%	

【図 2-5】(株) 教育企画センター「都道府県別 18 歳人口予測値推移」

都道府県別 18 歳人口予測値推移

※ 2020 年を 100% とし、以降の増減を% で表示しています。

赤字文字：全国計より 3% 以上低い

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	2032 年度	2032-2020年度 減少率
全国計	100.0%	98.3%	96.1%	93.1%	95.6%	95.7%	94.4%	93.8%	93.6%	92.0%	90.7%	89.7%	88.9%	-11.1%
北海道	100.0%	98.4%	94.5%	91.2%	93.0%	91.5%	90.8%	89.2%	89.0%	87.2%	85.1%	84.4%	82.2%	-17.8%
北海道計	100.0%	98.4%	94.5%	91.2%	93.0%	91.5%	90.8%	89.2%	89.0%	87.2%	85.1%	84.4%	82.2%	-17.8%
青森	100.0%	95.1%	91.0%	85.1%	86.2%	83.9%	83.0%	78.9%	80.3%	78.3%	74.5%	74.8%	73.1%	-26.5%
岩手	100.0%	97.9%	93.9%	88.6%	91.3%	88.8%	87.2%	86.2%	84.7%	82.3%	81.1%	80.2%	77.6%	-22.4%
宮城	100.0%	98.9%	94.9%	91.6%	94.1%	95.1%	93.3%	91.8%	91.2%	88.8%	90.4%	88.6%	86.4%	-13.6%
秋田	100.0%	96.8%	95.3%	90.7%	92.3%	89.5%	87.2%	86.7%	83.1%	81.4%	78.2%	75.6%	73.9%	-26.1%
山形	100.0%	95.5%	93.6%	88.7%	90.8%	89.2%	85.5%	85.0%	84.6%	82.4%	79.4%	78.9%	76.4%	-23.6%
福島	100.0%	98.0%	94.1%	90.2%	90.1%	88.2%	85.6%	83.7%	83.5%	80.5%	77.6%	82.9%	81.2%	-18.8%
東北計	100.0%	97.4%	93.9%	89.5%	91.1%	89.7%	87.6%	85.9%	85.3%	83.0%	81.3%	81.6%	79.5%	-20.5%
茨城	100.0%	98.3%	95.9%	91.2%	94.2%	92.8%	88.8%	91.1%	88.5%	86.7%	86.0%	83.6%	83.0%	-17.0%
栃木	100.0%	98.9%	96.1%	94.5%	94.0%	94.6%	91.7%	91.3%	89.3%	86.5%	85.9%	83.8%	85.0%	-15.0%
群馬	100.0%	98.5%	95.0%	91.6%	93.1%	91.6%	89.1%	89.1%	86.7%	84.4%	82.3%	80.8%	80.3%	-19.7%
埼玉	100.0%	98.5%	96.9%	94.8%	97.5%	97.5%	96.3%	97.1%	96.1%	93.2%	92.8%	92.4%	91.6%	-8.4%
千葉	100.0%	98.2%	97.2%	93.6%	96.5%	96.5%	96.0%	96.2%	95.3%	93.7%	91.9%	90.8%	91.1%	-8.9%
東京	100.0%	99.9%	98.2%	96.1%	100.4%	102.0%	101.4%	99.8%	100.0%	99.0%	99.9%	101.2%	103.1%	3.1%
神奈川	100.0%	99.3%	97.0%	94.6%	97.3%	98.1%	96.7%	98.3%	98.4%	95.9%	95.7%	93.7%	94.4%	-5.6%
関東計	100.0%	99.0%	97.1%	94.5%	97.5%	98.0%	96.7%	96.8%	96.2%	94.2%	93.9%	93.3%	93.8%	-6.2%
新潟	100.0%	99.5%	96.7%	92.6%	95.2%	93.1%	92.2%	90.5%	91.7%	88.6%	86.7%	85.9%	82.8%	-17.2%
富山	100.0%	98.9%	96.4%	93.6%	92.3%	90.6%	88.7%	88.2%	84.4%	83.3%	81.5%	81.0%	79.7%	-20.3%
石川	100.0%	101.1%	96.1%	93.1%	95.5%	97.7%	94.4%	91.5%	89.3%	92.3%	88.6%	89.1%	86.2%	-13.8%
福井	100.0%	96.3%	95.2%	93.9%	95.0%	94.7%	92.6%	92.1%	90.1%	86.5%	86.0%	84.0%	81.8%	-18.2%
山梨	100.0%	97.2%	94.4%	91.8%	91.3%	89.8%	88.6%	86.2%	85.6%	83.5%	81.1%	80.0%	80.2%	-19.8%
長野	100.0%	97.0%	94.2%	91.7%	93.0%	92.1%	89.8%	87.0%	87.1%	85.8%	82.8%	81.8%	81.6%	-18.4%
岐阜	100.0%	97.1%	93.0%	90.9%	92.5%	90.9%	90.2%	88.3%	89.0%	87.4%	85.1%	82.6%	79.8%	-20.2%
静岡	100.0%	97.8%	96.5%	92.7%	94.6%	95.7%	93.4%	91.8%	91.7%	89.9%	88.0%	86.4%	82.8%	-17.2%
愛知	100.0%	98.3%	97.5%	94.3%	97.5%	98.0%	97.2%	96.9%	97.0%	95.5%	94.3%	92.3%	91.7%	-8.3%
中部計	100.0%	98.1%	96.1%	93.1%	95.2%	95.0%	93.6%	92.3%	92.1%	90.6%	88.7%	87.1%	85.4%	-14.6%
三重	100.0%	96.8%	94.4%	90.4%	92.8%	91.7%	90.7%	90.0%	89.1%	88.1%	85.2%	83.1%	81.3%	-18.7%
滋賀	100.0%	97.9%	96.1%	92.9%	96.4%	95.8%	95.8%	96.0%	96.1%	94.4%	93.3%	92.0%	90.7%	-9.3%
京都	100.0%	98.2%	96.4%	95.9%	97.3%	96.2%	92.7%	91.2%	91.1%	89.4%	87.0%	86.8%	85.7%	-14.3%
大阪	100.0%	97.4%	95.3%	91.5%	93.6%	93.7%	92.4%	91.7%	91.3%	89.9%	88.5%	86.7%	86.5%	-13.5%
兵庫	100.0%	97.0%	95.3%	91.8%	93.8%	93.9%	93.1%	93.4%	93.8%	92.5%	90.3%	88.5%	87.7%	-12.3%
奈良	100.0%	99.0%	95.8%	92.7%	94.9%	94.8%	91.6%	88.6%	87.0%	86.0%	85.3%	83.2%	79.4%	-20.6%
和歌山	100.0%	97.7%	92.2%	89.8%	90.2%	90.7%	89.6%	86.3%	85.2%	86.0%	83.6%	80.0%	80.8%	-19.2%
近畿計	100.0%	97.5%	95.3%	92.1%	94.1%	94.0%	92.6%	91.8%	91.5%	90.2%	88.4%	86.7%	85.9%	-14.1%
鳥取	100.0%	101.3%	97.8%	94.9%	95.4%	94.8%	89.1%	93.9%	91.0%	94.8%	89.5%	91.9%	88.4%	-11.6%
島根	100.0%	96.4%	96.1%	91.1%	96.2%	95.0%	89.2%	93.1%	92.4%	92.5%	90.9%	90.8%	88.4%	-11.6%
岡山	100.0%	97.2%	95.1%	92.2%	94.4%	95.0%	93.0%	91.6%	92.0%	90.4%	89.3%	87.8%	87.6%	-12.4%
広島	100.0%	99.3%	96.7%	94.5%	97.1%	97.9%	96.5%	97.3%	97.6%	96.1%	94.5%	92.7%	91.5%	-8.5%
山口	100.0%	97.6%	95.5%	91.6%	93.0%	93.5%	92.0%	92.4%	93.6%	88.9%	87.9%	86.6%	82.6%	-17.4%
中国計	100.0%	98.3%	96.1%	93.1%	95.4%	95.8%	93.5%	94.2%	94.4%	92.9%	91.2%	90.0%	88.3%	-11.7%
徳島	100.0%	97.2%	94.7%	89.3%	91.9%	89.5%	89.9%	87.8%	90.1%	86.3%	86.1%	83.6%	83.5%	-16.5%
香川	100.0%	96.0%	96.1%	91.2%	91.7%	91.8%	91.8%	90.7%	89.2%	89.6%	87.3%	86.8%	84.9%	-15.1%
愛媛	100.0%	100.2%	95.4%	91.1%	94.4%	94.5%	92.2%	92.6%	91.1%	91.3%	88.0%	85.9%	83.7%	-16.3%
高知	100.0%	97.2%	93.2%	92.2%	94.0%	89.5%	91.8%	86.7%	86.8%	84.2%	84.6%	83.2%	81.7%	-18.3%
四国計	100.0%	97.9%	95.1%	91.0%	93.1%	91.9%	91.6%	90.1%	89.6%	89.0%	86.8%	85.2%	83.6%	-16.4%
福岡	100.0%	97.9%	97.3%	95.1%	98.9%	101.5%	101.2%	101.0%	102.0%	101.0%	99.8%	99.5%	98.5%	-1.5%
佐賀	100.0%	97.1%	96.0%	92.7%	95.9%	96.8%	93.3%	92.1%	92.5%	92.5%	88.9%	88.4%	86.5%	-13.5%
長崎	100.0%	98.0%	95.6%	93.1%	94.0%	93.6%	94.4%	91.6%	92.3%	91.6%	89.3%	89.6%	88.3%	-11.7%
熊本	100.0%	97.7%	96.5%	93.8%	95.7%	98.9%	97.5%	97.5%	98.3%	97.0%	95.0%	94.8%	93.9%	-6.1%
大分	100.0%	99.4%	96.3%	94.2%	97.7%	97.2%	97.0%	95.9%	97.4%	93.9%	92.7%	92.1%	87.7%	-12.3%
宮崎	100.0%	97.6%	96.5%	93.1%	95.6%	99.6%	96.9%	97.4%	97.3%	96.6%	92.8%	93.5%	90.6%	-9.4%
鹿児島	100.0%	98.8%	96.7%	94.9%	96.8%	97.1%	97.5%	97.0%	97.5%	97.3%	95.2%	92.6%	91.7%	-8.3%
沖縄	100.0%	98.6%	98.8%	96.6%	100.0%	101.0%	102.8%	102.7%	105.1%	103.4%	103.1%	104.0%	101.0%	1.0%
九州・沖縄計	100.0%	98.1%	96.9%	94.6%	97.4%	99.1%	98.8%	98.3%	99.5%	98.1%	96.4%	96.1%	94.4%	-5.6%

令和 3 年度および過去 3 年間の学校基本調査より算出・加工 / 今回より、高校 3 年生相当年齢の年度を 18 歳人口年度と設定

© Planning Center of Professional Education. All rights reserved.

株式会社 教育企画センター
Planning Center of Professional Education

④ 既存組織の定員充足の状況

本学大学院商学研究科商学専攻修士課程は、商学科、観光マネジメント学科、経営情報学科の3つの学科のある商学部が基礎の課程となる。2023(令和5年)年の商学部の収容定員は1200名、学生数は1354名、収容定員充足率は1.13となっている。学科別にみると、商学科は収容定員592名、学生数757名、収容定員充足率1.28、観光マネジメント学科は、収容定員288名、学生数239名、収容定員充足率0.83、経営情報学科は、収容定員320名、学生数358名、収容定員充足率1.12となっている。商学科は2023(令和5)年8月30日に、文科省より入学定員の増員が認可され、145名から180名となる。過去5年間の平均の志願者数が564名、入学者数が194名であり、定員充足率は1.08である。商学科については、高校生や高校教員に対し入学定員が増員となったことを広報することによって、学校推薦型や総合型選抜での志願者を増やし定員充足が見込めると考えている。

入学志願者の状況は、2021(令和3)年に各学科各入試種別において減少する傾向にあったが、これは新型コロナウイルス感染症による影響が減少の要因と考えており、2022(令和4)年、2023(令和5)年と回復する傾向がみられている。また、観光マネジメント学科においては、過去5年間の入学状況から入学定員充足率が2020(令和2)年から0.89、2021(令和3)年が0.77、2022(令和4)年が0.70と減少したが、2023(令和5)年に0.91に持ち直す状況となっている。新型コロナウイルス感染症による移動制限で社会的に「観光」をする機会が減り、海外からの旅行者も減ったなどの理由から、観光サービス業全体の景気が低迷したことから、高校生の観光マネジメント学科への志願が減ったのだと捉えている。今後は、国内外ともに観光する人の数が増え、観光サービス業に活気が戻り、それにより観光マネジメント学科の志願者数が持ち直すと考えている。この傾向は、屋外で活動するスポーツ関連のビジネスにおいても同様だと考えており、経営情報学科への志願者数は増え定員充足ができると考えている。

(3) 学生確保の見直し等

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

商学部における学生募集のための主要なPR活動としては、オープンキャンパスの実施、大学案内の配付、高校でのガイダンス参加を行なっている。PR活動の手順としては、本学ホームページや進学媒体によって商学部の認知を測り、合わせて高校でのガイダンスに参加して高校生への直接的なPRを行ないオープンキャンパスへの来場を促進している。

2023(令和5)年度入学者入試では、1140人が来場し、うち800人が受験対象者であり、260人が入学者となり入学率は32.5%となっている。このことから、学生確保のためにオープンキャンパスでは、入学定員330名に対し受験対象者1000名、参加者総数1400名を目標としてPR活動を実施することを考えている。

本学入学後に1年次生に実施したアンケートでは、進路担当の教員や担任からの薦めが本学への志願につながっている割合も多く、それら教員は必ずオープンキャンパスの参加を薦めている。

イ 新設組織における取組とその目標

本学大学院における学生募集は、まずは本学商学部の入学者数を確保することであり、本学商学部の収容定員を充足することによって、本学大学院の学内からの進学者を確保することとなる。

具体的には、大学院担当の教員を介して、ゼミの学生への指導、またデータサイエンス教育プログラムの受講者への説明などをおして、大学院の魅力を伝え、継続的に学生確保ができる仕組みをつくる。

ゼミの学生への大学院の説明については、11月に開催する大学祭で実施する全2年次生対象の「ゼミ説明会」で実施することを考えている。今回の「学生確保に関するアンケート調査」では、大学院担当の教員6名が、担当するゼミに所属する3年次生74名に対し大学院の説明を行い、志願者数が13名となった。

データサイエンス教育プログラムは、プログラムを構成し1年次必修科目であるICTリテラシーの中で、データサイエンスの活用の重要性とともに大学院で行う教育内容について説明を行うことを考えている。

以上のように、本学大学院における学生募集は、各学年次に対して年次ごとの教育内容に合わせて大学院の説明を実施することを考えている。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者数の見込み数

本学大学院における学生募集の取組となる1年次生対象の「ICTリテラシー」（データサイエンス教育プログラム科目）、2年次生対象の「ゼミ説明会」によって、学年次全員に対して学部の教育内容とのつながりを持ってデータサイエンスを活用する大学院の教育内容を説明することができること、今回の「学生確保に関するアンケート調査」から3年次生の13名（3年次生解答者7%）が入学を希望していることから、本学大学院の入学定員5名、収容定員10名は、本学商学部の収容定員を充足することによって、充たされるものと考えている。

また、商学とデータサイエンスを組み合わせた大学院であることをPRすることによって、競合校を含む他大学の学生が本学大学院に進学を希望することも十分にあることと考えている。

② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

本学が設置する大学院の競合校については、学問分野において商学・経営学を専攻とし、所在地が類似する私立大学で、入学定員が10名と同規模にあり、模試実施会社による本学との併願状況から同程度の学力層として名前が挙がる大学の内、神奈川大学大学院経営学研究科国際経営専攻、関東学院大学大学院経済学研究科経営学専攻を本学大学院の競合として設定する。

これらの大学院は、同じ商学・経営学を学問分野とし、神奈川大学大学院経営学研究科国際経営専攻では、国際社会における経営的課題を企業、社会、市民の観点から分析し、国際

化への対応可能な人材の育成を目的とし、関東学院大学大学院経済学研究科経営学専攻では、経営学分野における知識と判断力を持つ高度な専門職業人の育成を目的とし、経営や会計、マーケティングなどの知識を身につける教育内容となっている。本学大学院は、経営上の課題や社会的課題の解決を担える人材の育成することを目的とし、経営や会計、マーケティングとともに、データサイエンスの知識を身につける点において優位性があると考えている。

入試の時期については、神奈川大学大学院が9月と2月に試験があり10月と4月に入学、関東学院大学大学院が9月と2月に試験があり4月に入学となり10月から3月までが手続き期間となっているが、本学大学院の入試においては影響がないものと考えている。

初年次の学生納付金では、神奈川大学大学院が954,750円、関東学院大学大学院が723,430円となっており、本学大学院の710,000円が低いことから優位性があると考えている。また本学の学部からの進学者には入学金100,000円の免除を設けている点で優位性があるが、神奈川大学大学院で修学支援奨学金や学術研究活動支援奨学金など、関東学院大学大学院では職業を有する学生に対し長期履修学生制度などがあり、修学支援の面では環境整備が必要だと考えている。

就職支援の面では、各大学共にキャリアコンサルタントを有する専門部署においておこなわれていることから等しいと考えている。資格取得については、本学において税理士や簿記の講座を提供しているが、神奈川大学の方が講座が多くオンラインにより利便性が高い。

以上のことから、教育内容においてデータサイエンスを活用する点、学生納付金が低額であることが、競合校に対して優位性が高いところである。

イ 競合校の入学志願動向など

入学志願動向については、競合校のホームページ、および事業報告書から情報を収集し、公開されている情報をもとに過去3年間を比較した。志願者数についての過去3年間の公開情報はなく、関東学院大学経済学研究科経営学専攻(入学定員10名)については、公開情報がないため経済学研究科の情報で比較している。

2つの競合校では、定員充足においては低い状況となっているが、神奈川大学大学院経営学研究科国際経営専攻では、2023年度の志願者数が17名、受験者が14名あり、関東学院大学経営学研究科では2023年度、2022年度の受験者が4名あることから、神奈川県にあって商学・経営学の分野が学べる大学院に、志願するニーズはあるものと考えている。

大学名	2021					2022					2023				
	志願	受験	合格	入学	充足率	志願	受験	合格	入学	充足率	志願	受験	合格	入学	充足率
神奈川大学 経営学研究科 国際経営専攻 入学定員10名				4	35%				2	35%	17	14	5	4	35%
関東学院大学 経済学研究科 入定員20名		1	1	1	15%		4	4	4	13%		4	3	3	17%

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等

競合校において定員が未充足の状況となっているが、2校の過去3年間の入学者数が平均で3名あること、また基礎となる学部と大学院との定員の割合が大きく募集難易度が低いこと（神奈川大学経営学部経営学科は入学定員530名、経営学研究科国際経営専攻の入学定員10名、学部生53人に1枠、関東学院大学経済学部経済学科は入学定員355名、経済学研究科の入学定員20名、学部生17.8名に1枠、本学大学院は、商学部330名、大学院5名、学部生66名に1枠）、本学大学院が教育内容とするデータサイエンスの活用ができる人材が、内閣府によるAI戦略や横浜市のDX推進などの施策として重視されていること、本学卒業生を採用した企業や神奈川県経済同友会の加盟企業の44社が修了生を採用したいと回答している点などを踏まえ、本学大学院の入学定員5名、収容定員10名は充足できると考えている。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

学納付金等710,000円（入学金100,000円、授業料等610,000円）は、競合校（神奈川大学954,750円、関東学院大学723,430円）と比較して低い金額となるように設定した。また大学院用に施設を新たに整備することなく、既存の大学施設を利用できることから、学生納付金等の金額設定を低くすることができた。

③ 先行事例分析

本学大学院の先行事例は、文部科学省が公開している情報より、大学院を新設し、社会科学系の学位取得となる大学院を抽出し、2022(令和4)年4月開設の長野県立大学院ソーシャル・イノベーション研究科（経済学関係）とした。なお、同大学院は公立であり、本学とは設置区分は異なるが、該当する条件に私立大学がないことと、長野県立大学大学院の初年度学費（入学科含め817,800円）が本学よりも高いことから、提示する事例としては影響はないと考えている。

長野県立大学院ソーシャル・イノベーション研究科が公開する入試状況では、2023年(令和5)年の募集人員10名、志願者数12名、受験者数12名、合格者数12名、入学者数12名、開設時の2022(令和4)年では募集人員10名、志願者数27名、受験者数26名、合格者数16名、入学者数16名、2023年(令和5)年の収容定員20名に対し28名となっている。また既設学部となるグローバルマネジメント学部では、2023(令和5)年の募集人員170名、志願者数658名、受験者数347名、合格者数225名、入学者数173名、2022(令和4)年の募集人員170名、志願者数623名、受験者数396名、合格者数239名、入学者数190名となっている。

設置申請時の学生確保の見通しで実施されたアンケートでは、回答したグローバルマネジメント学科の3年次生43名のうち2名(4.6%)が大学院入学を希望し、企業対象のアンケートでは回答した企業等146社のうち、採用したい23社、採用を考えたい76社、合計99社あり、ソーシャル・イノベーション研究科修了生の採用意向は回答企業の67.9%となり、大学院での人材育成への期待が高いことが推測される。

以上のことから、公立大学という本学とは異なる設置区分ではあるが、社会科学系の学位取得で大学院を新設する本学大学院においても、学生確保が見込めるものと考えている。また既

存学部から大学院への進学者については、主な進学先としてソーシャル・イノベーション研究科に進学したことが公表されていることから、学部生への大学院の説明を実施することによって、本学大学院においても既存学部からの学生確保は見込めるものと考えている。本学大学院においても、企業からの採用意向は高く人材育成を期待する企業は多いことから、アンケートに協力いただいた神奈川県経済同友会に加盟する企業などとの連携活動によって、学生確保をつなげていくことを考えている。

④ 学生確保に関するアンケート調査

学生の確保ができる見通しを測るため、入学の意向を問うアンケート調査を実施した。なお、調査は客観的な視点が必要であるため、第三者機関に委託した。概要は以下の通りである。

ア．調査の概要

調査の目的	本調査は、横浜商科大学 大学院商学研究科商学専攻修士課程（入学定員 5 人・令和 7 年度（2025 年度）設置予定）における入学者の見通しを測ることを目的とする。
調査期間	令和 6（2024）年 1 月
調査対象	令和 6 年 1 月時点で横浜商科大学の商学部 に在籍している学生 ・対象学科：商学科、観光マネジメント学科、経営情報学科 ・対象学年：1～3 年生 ※大学院が設定される令和 7 年度（2025 年度）以降、卒業するタイミングで「当該大学院への進学」という選択肢が発生する学年であるため
調査方法	調査対象である横浜商科大学の在籍者に対し、学内システムより WEB アンケートの依頼及び URL を配信し、学生に回答を呼び掛けた。 なお、複数回答を防止するため、回答時に学生に付与している大学メールアドレスを回収するとともに、回答制限を 1 回までに設定した。
調査内容	アンケート項目は全 9 問で、すべて選択枝式とした。 質問内容は、回答者の基本情報（性別～学年など）、横浜商科大学大学院「商学研究科商学専攻修士課程」の受験・入学意欲についてなど。
回答件数	559 件 （配信件数（※） 980 件 ／ 回収率 57.0%） （※：調査時点で商学部 に在籍している 1～3 年生の人数）

イ. アンケートの集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

問 1 あなたが在籍している学科を選択してください。

選択肢	回答件数	構成比
商学科	294	52.6%
観光マネジメント学科	72	12.9%
経営情報学科 スポーツマネジメントコース	122	21.8%
経営情報学科 情報マネジメントコース	71	12.7%
合計	559	100.0%

問 2 あなたの学年を選択してください。

選択肢	回答件数	構成比
3 年生	192	34.3%
2 年生	166	29.7%
1 年生	201	36.0%
合計	559	100.0%

問 3 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答件数	構成比
男性	453	81.0%
女性	98	17.5%
回答しない	6	1.1%
無回答	2	0.4%
合計	559	100.0%

問 4 あなたはデータサイエンス教育プログラムを履修していますか？

選択肢	回答件数	構成比
履修している	147	26.3%
履修していない	410	73.3%
無回答	2	0.4%
合計	559	100.0%

問 5 あなたは学部卒業後の進路をどのように考えていますか？（複数選択可）

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率＝回答件数／回答総数（559 人）

選択肢	回答件数	回答率
大学院への進学	44	7.9%
就職	526	94.1%
その他	13	2.3%
無回答	7	1.3%

《以下の問 6 以降は、問 5 で「大学院への進学」と答えた 44 人が回答対象》

問 6 志望する大学院の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率＝回答件数／回答総数（44 人）

選択肢	回答件数	回答率
私立	38	86.4%
国立	15	34.1%
公立	14	31.8%
無回答	3	6.8%

問 7 あなたが興味のある学問分野を選択してください。（複数選択可）

『その他』の欄に、興味ある学問分野を記入してください。

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率＝回答件数／回答総数（44 人）

選択肢	回答件数	回答率
商学・経営学・経済学	37	84.1%
法学・政治学	4	9.1%
社会学	7	15.9%
その他	5	11.4%
無回答	2	4.5%

（その他の回答：スポーツ：3 件、スポーツマネジメント：1 件、情報：1 件）

問 8 横浜商科大学が構想する商学研究科データサイエンス専攻修士課程（仮称・設置構想中）が開設された場合、受験を希望しますか？

選択肢	回答件数	構成比
学部卒業に合わせて、第一志望として受験する	16	36.4%
学部卒業に合わせて、第二志望として受験する	4	9.1%
学部卒業に合わせて、第三志望として受験する	1	2.3%
学部卒業時ではないが、将来の状況に応じて受験する	13	29.5%
受験しない	6	13.6%
無回答	4	9.1%
合計	44	100.0%

《以下の問 9 は、問 8 で「受験する」と答えた 34 人のみの回答結果を集計した》

問 9 横浜商科大学が構想する商学研究科データサイエンス専攻修士課程（仮称・設置構想中）を受験し合格した場合、『入学』を希望しますか。

選択肢	回答件数	構成比
入学を希望する	20	58.8%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	9	26.5%
入学しない	4	11.8%
無回答	1	2.9%
合計	34	100.0%

ウ．集計結果の要点

※「構成比」（％）はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0％と一致しない。

要点 1) 回答者の属性と回答者における学部卒業後の大学院への進学意欲

回答者 559 人を学科別でみると、「商学科」が 294 人（52.6%）、「観光マネジメント学科」が 72 人（12.9%）、「経営情報学科 スポーツマネジメントコース」が 122 人（21.8%）、「経営情報学科 情報マネジメントコース」が 71 人（12.7%）となっており、横浜商科大学が設置する全ての学科の学生より、回答が得られた。

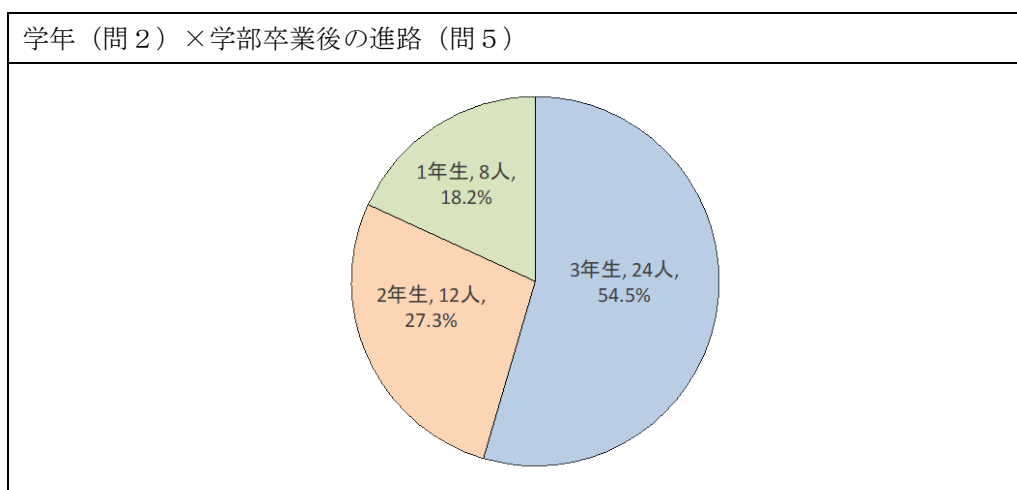
横浜商科大学が設置を構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」は、令和 7 年度（2025 年度）に開設予定であることから、令和 6 年 1 月時点の 3 年生が大学院開設時の 1 期生となることが想定される。回答者 559 人を学年別でみると、「3 年生」からの回答は 192

人（34.3%）となっている。（「2年生」は166人（29.7%）、「1年生」は201人（36.0%））

以下の表は学科と学年の回答をクロス集計したものである。各学科、各学年ともに、一定の回答を得ていることから、本調査の結果は横浜商科大学に在籍する学生の意志が十分に判定していると判断できる。

学科 \ 学年	3年生		2年生		1年生		合計	
	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比	回答件数	構成比
商学科	112	58.3%	82	49.4%	100	49.8%	294	52.6%
観光マネジメント学科	19	9.9%	27	16.3%	26	12.9%	72	12.9%
経営情報学科 スポーツマネジメントコース	34	17.7%	43	25.9%	45	22.4%	122	21.8%
経営情報学科 情報マネジメントコース	27	14.1%	14	8.4%	30	14.9%	71	12.7%
合計	192	100.0%	166	100.0%	201	100.0%	559	100.0%

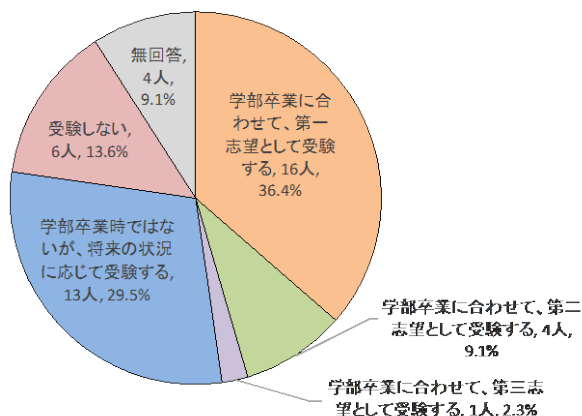
回答者 559 人に対して、学部卒業後の進路を質問した（複数選択可）ところ、7.9%にあたる 44 人が「大学院への進学」を選択した。この回答を学年別でみると、「3年生」が 24 人、「2年生」が 12 人、「1年生」が 8 人となっている。（割合は下記・円グラフ参照）



要点 2）商学研究科商学専攻修士課程への受験・入学意志

問 5・学部卒業後の進路に関する質問で「大学院への進学」を選択した 44 人に対し、横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」への受験希望について質問した。その結果、16 人が「学部卒業に合わせて、第一志望として受験する」と回答した。以下、同様に「学部卒業に合わせて、第二志望として受験する」に 4 人、「学部卒業に合わせて、第三志望として受験する」に 1 人が回答し、合計で 21 人より、学部卒業に合わせて当該研究科を受験するとの回答が得られた。また、「学部卒業時ではないが、将来の状況に応じて受験する」を回答した 13 人を加えると、大学院への進学希望者のうち 7 割以上が、横浜商科大学が構想する「商学研究科商学専攻修士課程」への受験に意志を示した。

学部卒業後の進路（問 5）×受験意志（問 8）



「商学研究科商学専攻修士課程」を受験すると回答した 34 人に対し、受験し合格した場合の入学意志について質問した。以下の表は、その回答結果を踏まえ、受験と入学への各回答をクロス集計したものである。下表の通り、「商学研究科商学専攻修士課程」を第一志望である回答の組み合わせ（「学部卒業に合わせて、第一志望として受験する」かつ、「入学を希望する」）に対する回答は、15 人であった。

受験意欲	入学意欲	入学を希望する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	合計
	学部卒業に合わせて、第一志望として受験する	15人	0人	1人	16人
	学部卒業に合わせて、第二志望として受験する	1人	3人	0人	4人
	学部卒業に合わせて、第三志望として受験する	0人	1人	0人	1人
	学部卒業時ではないが、将来の状況に応じて受験する	4人	5人	3人	12人
	合計	20人	9人	4人	33人

※「商学研究科商学専攻修士課程」を受験すると回答した 34 人のうち、1 人は問 9・入学意志への質問で無回答であったことから、上記表では省略した。

要点 3) より強い商学研究科商学専攻修士課程への入学意志

本項目では、横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」へのより強い入学意志についての分析を行う。

入学意志を明確にするため、以下の条件に合致した回答のみを抽出した。

対象の設定	抽出条件
① 問 5：学部卒業後の進路	→ 「大学院への進学」を選択

② 問 6：志望する大学院の設置者の希望	→	「私立」を選択
③ 問 7：興味のある学問分野	→	「商学・経営学・経済学」を選択
④ 問 8：「商学研究科データサイエンス専攻 修士課程」への受験意志	→	「学部卒業に合わせて、第一志望として 受験する」を選択
⑤ 問 9：「商学研究科データサイエンス専攻 修士課程」への入学意志	→	「入学を希望する」を選択

また、横浜商科大学が設置を構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」は、令和 7 年度（2025 年度）に開設予定であることから、令和 6 年 1 月時点の 3 年生が大学院開設時の 1 期生となることが想定される。したがって、抽出条件に「3 年生」のみを加え、集計した。

3 年生：回答者総数 192 人の内訳

問 5 学部卒業後の進 路	問 6 志望する大学院 の設置者の希望	問 7 興味のある 学問分野	問 8 「受験意志」	問 9 「入学意志」
「大学院への進 学」 を選択 24 人	「私立」を選択 19 人	「商学・経営 学・経済学」を 選択 19 人	「学部卒業に合 わせて、第一志 望として受験す る」 14 人	「入学を希望す る」 13 人

上記の集計結果から「13 人」が、横浜商科大学が構想中の大学院「商学研究科商学専攻修士課程」への強い入学意志を示していることが把握できた。これは、当該研究科で設定する入学定員 5 人を上回る回答数となっている。

以上の結果より、横浜商科大学が令和 7 年（2025 年）に設置を構想している大学院「商学研究科商学専攻修士課程」は、予定する入学定員を上回る強い入学意志が得られたため、学生確保の見通しは問題ないと判断できる。

添付資料

ア. アンケート調査フォーム（学生確保）

商学研究科データサイエンス専攻の設置に関するアンケート

横浜商科大学は2025（令和7）年4月に「商学研究科データサイエンス専攻」の設置を構想しています。

概要を読んで、アンケートにご協力ください。（[概要ページへ](#)）

※ 必須の質問です

メール*

☐ 返信に表示するメールアドレスとして @shodai.ac.jp を記録する

あなたのお名前を記入してください。*

【問1】あなたはデータサイエンス教育プログラムを履修していますか？（[参考ページへ](#)）

☐ 履修している。

☐ 履修していない。

【問2】あなたは学部卒業後の進路をどのように考えていますか？（複数選択可）

☐ 大学院への進学

☐ 就職

☐ その他: _____

【問2で「大学院への進学」を選択した方に質問です】

【問3】志望する大学院の設置者の希望を選択してください。

☐ 私立

☐ 国立

☐ 公立

【問4】あなたが興味のある学問分野を選択してください。

『その他』の欄に、興味ある学問分野を記入してください。

☐ 商学・経営学・経済学

☐ 法学・政治学

☐ 社会学

☐ その他: _____

【問5】横浜商科大学が構想する商学研究科データサイエンス専攻修士課程が開設された場合、受験を希望しますか？

☐ 1. 学部卒業に合わせて、第一志望として受験する

☐ 2. 学部卒業に合わせて、第二志望として受験する

☐ 3. 学部卒業に合わせて、第三志望として受験する

☐ 4. 学部卒業時ではないが、将来の状況に応じて受験する

☐ 5. 受験しない

【問5で1～4の「受験する」を選択した方に質問です】

【問6】横浜商科大学が構想する商学研究科データサイエンス専攻修士課程を受験し合格した場合、「入学」を希望しますか。

☐ 入学を希望する。

☐ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する。

☐ 入学しない。

☐ その他: _____

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 横浜商科大学 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム

イ．概要説明ページ（学生確保）

大学院アンケート

横浜商科大学

商学研究科データサイエンス専攻に関するアンケートのお願い

横浜商科大学は2025（令和7）年4月に「商学研究科データサイエンス専攻」の設置を構想しています。
概要を読んで、アンケートにご協力ください。

◆商学研究科データサイエンス専攻について

大学院の設置を担う田中辰雄教授による概要説明の録画をご覧ください。
(映像時間約4分)

2025年4月開設予定

横浜商科大学
商学研究科データサイエンス専攻
に関するアンケートのお願い

田中 辰雄 教授

《概要》

◆設置目的

実社会においてデータサイエンスの活用が急速なスピードで及んでおり、本学が教育・研究の中心としてきた商学分野、地域、中小企業もその対象となっている。さらにはデータの活用によっては、大企業と中小企業、中央と地方といったレイヤーに差がなく、小さくとも、地域からでも、より実効力のある手法をもって、経営上の課題、社会的課題の解決を図ることが可能になる可能性も展望できる。本学の「実効型ビジネス教育」という教育理念・志をより発展させるため、新たに商学研究科データサイエンス専攻を設置する。

◆概要

【名称】	横浜商科大学 商学研究科データサイエンス専攻（修士課程）
【定員増設時期】	2025（令和7）年4月
【入学定員】	5人
【取得学位】	修士（商学）
【修業年限】	2年
【場所】	神奈川横浜市中区東寺尾4-11-1
【アクセス】	京浜東北線「生麦駅」下車徒歩15分／JR横須線「大口駅」下車徒歩20分

◆養成する人材像

社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見を活用し、実践的・実証的な環境に応じて、本質的に効果的な真の方案を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じ、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人材を養成します。

◆身につける能力

(1) 社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力

(2) 課題解決に役立つデータサイエンスに関する高度な知識とスキル

(3) (1)の能力を基盤に(2)を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方案を導き出す能力・スキル

(4) (3)で導かれたソリューション（解決策）を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力を備えたスキル

(5) データ社会において(1)～(4)の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識する能力を備えたスキル

◆特色

・速報分野（経営、マーケティング、会計）

・自ら課題を発見する能力

・実践力を高める実習科目

◆就職先の分野

・情報通信業分野

・サービス業分野

・運輸業分野

・金融・保険業分野

・卸売・小売業分野

・製造業分野

・不動産業分野

・教育分野 など

◆学費（初年度）

	学外	卒業生（内部）
入学金	100,000円	0円
授業料	500,000円	500,000円
施設設備費	100,000円	100,000円
図書館費	10,000円	0円
（合計）	710,000円	600,000円

◆同じ学域分野がある近隣の大学（参考）

・産業能率大学 大学院総合マネジメント研究科 総合マネジメント専攻

・経済学院大学 大学院経済学研究科経営学専攻

・神奈川大学 大学院経営学研究科国際経営専攻

・東京経済大学 大学院経営学研究科経営学専攻

・和光大学 大学院社会文化総合研究科社会文化論専攻

—学生確保（本文）—19—

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

学生の採用見通しを測るため、人材の需要を問うアンケート調査を実施した。なお、調査は客観的な視点が必要であるため、第三者機関に委託した。

概要は以下の通りである。

ア. 調査の概要

調 査 の 目 的	本調査は、横浜商科大学 大学院商学研究科商学専攻修士課程（入学定員 5 人・令和 7 年度（2025 年度）設置予定）を修了した学生の採用見通しを測ることを目的とする。
調 査 期 間	令和 6（2024）年 2 月
調 査 対 象	修了後の学生の採用が見込まれる企業、92 社の採用担当者 ＜選定条件、内訳＞ ・神奈川県経済同友会に加盟する企業（42 社） ・過去 5 年間における横浜商科大学学部生の卒業生を採用した実績企業（50 社）
調 査 方 法	調査対象である企業等に対し、e メールで WEB アンケートの依頼及びアンケート回答画面の URL を配信した。また、e メール後には電話等で各企業の採用担当者にアンケートの協力について呼びかけを行った。
調 査 内 容	アンケート項目は全 7 問で、6 問を選択肢式、1 問を記述式とした。 質問内容は、回答者の基本情報（主業種、所在地、従業員数）、横浜商科大学大学院「商学研究科商学専攻修士課程」のニーズ及び採用意向についてなど。
回 答 件 数	48 件 （配信件数 92 件 ／ 回収率 52.2%）

イ. アンケートの集計結果

※「構成比」（％）はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

問 1 貴社・貴団体の主業種をお答えください。

選択肢	回答件数	構成比
農業・林業	0	0.0%
漁業	0	0.0%
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0%
建築業	4	8.3%
製造業	7	14.6%
電機・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
情報通信業	6	12.5%
運輸業・郵便業	2	4.2%
卸売業・小売業	11	22.9%
金融業・保険業	2	4.2%
不動産業・物品賃貸業	1	2.1%

学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	3	6.3%
生活関連サービス業・娯楽業	4	8.3%
教育・学習支援業	0	0.0%
医療・福祉	2	4.2%
複合サービス事業	1	2.1%
その他サービス業	2	4.2%
公務	0	0.0%
その他	3	6.3%
合計	48	100.0%

問2 貴社・貴団体の代表所在地をお答えください。

※回答のあった都道府県のみを集計

選択肢	回答件数	構成比
栃木県	1	2.1%
東京都	12	25.0%
神奈川県	28	58.3%
愛知県	1	2.1%
大阪府	3	6.3%
無回答	3	6.3%
合計	48	100.0%

問3 貴社・貴団体の従業員数（正規社員数）についてお答えください。

選択肢	回答件数	構成比
50名未満	14	29.2%
50名以上100名未満	5	10.4%
100名以上500名未満	11	22.9%
500名以上1,000名未満	9	18.8%
1,000名以上5,000名未満	6	12.5%
5,000名以上	3	6.3%
合計	48	100.0%

問4 横浜商科大学が構想中の「商学研究科データサイエンス専攻修士課程」（仮称・構想中）で養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。

選択肢	回答件数	構成比
ニーズは高い	25	52.1%
ニーズはある程度高い	19	39.6%
ニーズはあまりない	2	4.2%
ニーズはない	0	0.0%
わからない	2	4.2%
合計	48	100.0%

問5 横浜商科大学が構想中の「商学研究科データサイエンス専攻修士課程」（仮称・構想中）を卒業した学生を採用したいと思いますか。

選択肢	回答件数	構成比
採用したい	44	91.7%
採用しない	4	8.3%
合計	48	100.0%

《以下の問6は、問5で「採用したい」と答えた44件が回答対象》

問6 《問5で「採用したい」を選択した方に質問です》
単年度で採用可能と思われる人数は何人ですか？

選択肢	回答件数	構成比
1人	17	38.6%
2人	0	0.0%
3人以上	1	2.3%
人数は未確定	25	56.8%
無回答	1	2.3%
合計	44	100.0%

問7 横浜商科大学が構想中の「商学研究科データサイエンス専攻修士課程」(仮称・構想中)について、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

※20件の回答があった。原文ママ。なお、「特になし」等は割愛。

主業種	所在地	回答
建築業	神奈川県	情報が簡単に手に入り、過密になっているなかで正しい情報の精査や活用はより重要度を増していくと考えます。情報は、良きにも悪きにも操作できることから、より信頼性を増した専門家の育成は必須になるのではないのでしょうか。良い人材の輩出を期待しております。
製造業	栃木県	データサイエンスを意思決定や戦略計画策定の指針に導くには、他の学問分野との総合的な連携が欠かせないと思われますので、総合的なカリキュラムの充実を図られるとよいと思います。また、カリキュラム自体の学び方についても、本研究科設置のそもそもの意義から言っても、現代的な手法によるべきで、その為には研究のための設備充実を図られるとよろしいかと思います。
製造業	神奈川県	現在あるシステムの中のデータの分析をすることができていない
製造業	神奈川県	日本社会の未来に必ず必要な人材であろうと思います。是非、長期にわたっての運用をお願いしますと共に、将来人材の輩出に期待します。
情報通信業	東京都	多様化するネットワーク環境、如何に安全にデータ管理・保守していくか等時代に対応していく力
情報通信業	神奈川県	問題点を解決ポイントに変換し解決策を洗い出す方法はシステムエンジニアは行わなければならない事です。さらなる深堀や、なぜなぜ分析・マンドラチャート等を組み合わせ学生のさらなる意識改革が得られることを期待しています。
情報通信業	神奈川県	しっかりと専門知識を自分のものにしてほしい
運輸業・郵便業	東京都	現代では様々な場面でマーケティングが重要な役割を果たしており、営業活動的な要素ばかりでなく採用活動や組織構築においても、専門的な見地が求められると想定されるから。
運輸業・郵便業	神奈川県	データ分析からの活用法を社会情勢・業界情勢・歴史からの的確に導き出せるようになって欲しいと思います。
卸売業・小売業	東京都	商学部の学生様のニーズが高い事がありますが、分析力のある学生様は、当社においても市場の分析やお客様の分析など、活躍の場が多いと考えております。
卸売業・小売業	神奈川県	AI活用スキル、またデータを読み解く力と収集するデータの視点。
卸売業・小売業	神奈川県	弊社においてはデータサイエンスにおける技能が直結する業務がございますので、問5に関しては申し訳ありませんが「採用しない」という回答となってしまいました。その技能を生かせる市場は大いにあり、需要は高いと考えております。
卸売業・小売業	神奈川県	これからの世の中の動きとしては、データ解析等が求められると感じます。デジタルが普及しているので、猶更貴重な人材になるかと感じます。提案型の営業職も増えてきており、根拠となるデータの解析ができる人材は求められると思いました。

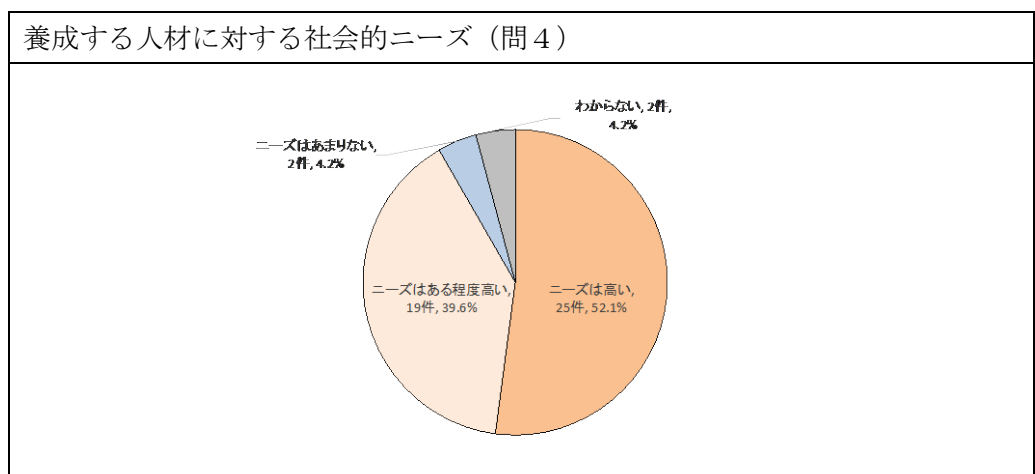
金融業・保険業	神奈川県	課題解決型の人財育成に期待できると感じております。
宿泊業・飲食サービス業	神奈川県	動画でも話があったように企業はデータを収集することはできていますが、活用できていないのが現状です。新しい分野だからこそ若い方の力が重要になっています。
宿泊業・飲食サービス業	神奈川県	分析、情報処理等の IT 分野などにも知識がある人材課と思いますので期待しております。
複合サービス事業	神奈川県	社会変化のスピードが一層早くなる中、変化に対応できる会社組織の構築が必要な時代になっています。また、企業内の限られた部署だけで社会変化に対応することは不可能な時代と判断しています。そのような中、貴学の社会商学研究科商学専攻で得られた知見は企業にとって大変有用なものと感じます。
その他サービス業	神奈川県	要望・データをどのように活用するか？は管理職でも出来る。学生は、どのようにデータ収集するのか？出来上がったデータではなく、データが出来上がる過程を重要視して、泥臭く準備段階取り実行人なら、根性ついて採用まで行けるかもしれません。
その他	東京都	今後は蓄積されたデータによって社会がつくられるので「新たな価値創造を可能にするデータ社会」に対応できる人材の育成に期待いたします。
その他	東京都	DX 化が進む昨今ではどの分野でも重宝されるかと思います。ただ昨今感じるのが情報が溢れ、便利すぎる時代になった弊害で人間力が衰えてきているのではと危惧しております。いくら時代が進歩しても結局は人と人の交流があつての社会、仕事ですので人間力教育も是非行っていただきたいです。

ウ．集計結果の要点

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

要点 1) 商学研究科商学専攻修士課程で養成する人材の社会的ニーズ

回答者 (48 件) に対し、横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」で養成する人材の社会的ニーズについて質問したところ、「ニーズは高い」に 25 件 (52.1%)、「ニーズはある程度高い」に 19 件 (39.6%) が回答した。合計すると 91.7% にあたる 44 件より高い評価を得ていることを示す回答が得られた。



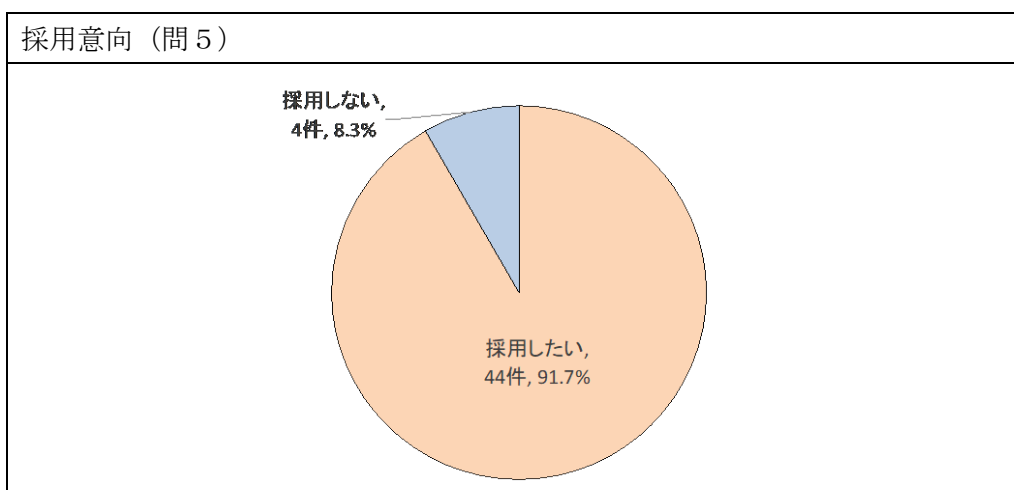
下の表は横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」で養成する人材の社会的ニーズへの回答を業種別にクロス集計したものである。下の表の通り、本調査で回

答があった全 13 業種が「社会的ニーズは高い」と回答していることから、評価の高さが伺える。

業種	ニーズは高い		ニーズはある程度高い	
	回答件数	構成比	回答件数	構成比
建築業	1	4.0%	3	15.8%
製造業	3	12.0%	2	10.5%
情報通信業	6	24.0%	0	0.0%
運輸業・郵便業	1	4.0%	1	5.3%
卸売業・小売業	5	20.0%	5	26.3%
金融業・保険業	0	0.0%	2	10.5%
不動産業・物品賃貸業	0	0.0%	1	5.3%
宿泊業・飲食サービス業	1	4.0%	2	10.5%
生活関連サービス業・娯楽業	2	8.0%	2	10.5%
医療・福祉	2	8.0%	0	0.0%
複合サービス事業	1	4.0%	0	0.0%
その他サービス業	1	4.0%	0	0.0%
その他	2	8.0%	1	5.3%
合計	25	100.0%	19	100.0%

要点 2) 商学研究科商学専攻修士課程の修了生の採用意向

回答者（48 件）に対し、横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」を修了した学生の採用意向について質問したところ、91.7%にあたる 44 件が「採用したい」と回答した。



下の表は横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」を修了した学生の採用意向への回答を業種別にクロス集計したものである。下の表の通り、本調査で回答があった13業種のうち、12業種より「採用したい」という回答があった。

業種	採用意向	採用したい	
		回答件数	構成比
建築業		3	6.8%
製造業		7	15.9%
情報通信業		6	13.6%
運輸業・郵便業		2	4.5%
卸売業・小売業		10	22.7%
金融業・保険業		2	4.5%
不動産業・物品賃貸業		0	0.0%
宿泊業・飲食サービス業		3	6.8%
生活関連サービス業・娯楽業		4	9.1%
医療・福祉		2	4.5%
複合サービス事業		1	2.3%
その他サービス業		1	2.3%
その他		3	6.8%
合計		44	100.0%

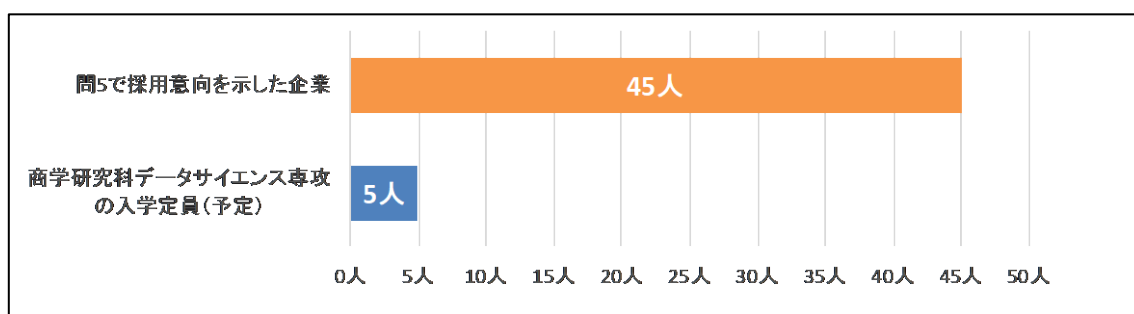
※「採用しない」と回答した4件は、「建築業」「卸売業・小売業」「不動産業・物品賃貸業」「その他サービス業」となっている。

要点3) 単年度における商学研究科商学専攻修士課程の修了生の採用可能な人数

横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」を修了した学生について、44件が「採用したい」と回答したことは上記要点2)の通りである。この採用意向を示した44件に対し、単年度における採用可能な人数を質問した。その結果、「1人」に17件、「3人以上」に1件、「人数は未確定」に25件、無回答が1件であった。この回答人数を合計したところ、下表が示す通り採用可能な人数の最低数は「45人」となった。

選択肢	回答件数		採用人数
1人	17件	→	17人
2人	0件	→	0人
3人以上 (※最低人数として、「3人」として換算)	1件	→	3人
人数は未確定 (※最低人数として、「1人」として換算)	25件	→	25人
無回答	1件	→	0人
合計	44件		45人

下グラフの通り、本調査で得られた「45 人」という単年度における採用意向人数は、横浜商科大学が構想する大学院「商学研究科商学専攻修士課程」が予定する入学定員 5 人を上回る回答数となっている。



以上の結果より、横浜商科大学が令和7年度（2025年度）に設置を構想している大学院「商学研究科商学専攻修士課程」は、予定する入学定員を上回る採用意向が得られたため、人材需要の見通しは問題ないと判断できる。

添付資料

ウ. アンケート調査フォーム（人材需要）

横浜商科大学「大学院設置」に関するアンケート調査

横浜商科大学は2025（令和7）年4月に商学研究科データサイエンス専攻修士課程（仮称・設置構想中）の設置を構想しています。

概要を読んで、アンケートにご協力ください。（[概要ページへ](#)）

問1 貴社・貴団体の主業種をお答えください。

選択

問2 貴社・貴団体の代表所在地をお答えください。

選択

問3 貴社・貴団体の従業員数（正規社員数）についてお答えください。

☐ 50名未満

☐ 50名以上100名未満

☐ 100名以上500名未満

☐ 500名以上1000名未満

☐ 1000名以上5000名未満

☐ 5000名以上

問4 横浜商科大学が構想中の「商学研究科データサイエンス専攻修士課程」（仮称・構想中）で養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか？

☐ ニーズは高い

☐ ニーズはある程度高い

☐ ニーズはあまりない

☐ ニーズはない

☐ わからない

問5 横浜商科大学が構想中の「商学研究科データサイエンス専攻修士課程」（仮称・構想中）を卒業した学生を採用したいと思いますか？

☐ 採用したい

☐ 採用しない

《問5で「採用したい」を選択した方に質問です》

問6 単年度で採用可能と思われる人数は何人ですか？

☐ 1人

☐ 2人

☐ 3人

☐ 人数は未定

問7 横浜商科大学が構想中の「商学研究科データサイエンス専攻修士課程」（仮称・構想中）について、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

回答を入力

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 横浜商科大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

エ. 概要説明ページ（人材需要）

大学院アンケート

横浜商科大学

商学研究科データサイエンス専攻に関するアンケートのお願い

横浜商科大学は2025（令和7）年4月に「商学研究科データサイエンス専攻」の設置を構想しています。

概要を読んで、アンケートにご協力ください。

◆ 商学研究科データサイエンス専攻について ◆

大学院の設置を担当する田中辰雄教授による概要説明の映像をご覧ください。
(映像時間約4分)

2025年4月開設予定

横浜商科大学

商学研究科データサイエンス専攻

に関するアンケートのお願い

田中 辰雄 教授

《概要》

◆設置目的

実社会においてデータサイエンスの活用が急速なスピードで及んでおり、本学が教育・研究の中心としてきた商学分野、地域、中小企業もその対象となっている。さらにはデータの活用によっては、大企業と中小企業、中央と地方といったレイヤーに差がなく、小さくとも、地域からでも、より実効力のある手法をもって、経営上の課題、社会的課題の解決を図ることが可能になる可能性も展望できる。本学の「実効型ビジネス教育」という教育理念・手法をより発展させるため、新たに商学研究科データサイエンス専攻を設置する。

◆概要

【名称】横浜商科大学 商学研究科データサイエンス専攻 修士課程（仮称・設置構想中）

【設置時期】2025（令和7）年4月

【入学定員】5人

【取得学位】修士（商学）

【修業年数】2年

【場所】神奈川県横浜市中区東寺尾4-11-1

【アクセス】京浜急行線「主要駅」下車徒歩15分／JR横浜線「大口駅」下車徒歩20分

◆養成する人材像

社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、データサイエンスから導き出される知見を活用し、実践的・実務的な環境に応じて、本質的に効果的な真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、社会等への具体的な働きかけを通じて、新たな価値創造を可能にするデータ社会におけるプロフェッショナル人材を養成します。

◆身につける能力

(1) 社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力

(2) 課題解決に役立つデータサイエンスに関する高度な知識とスキル

(3) (1)の能力を起点に(2)を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力・スキル

(4) (3)で得られたソリューション（解決策）を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力を備えたスキル

(5) データ社会において(1)～(4)の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識する能力を備えたスキル

◆求める学生像

求める学生像として、以下のとおりアドミッション・ポリシーを定め、知識と能力を備えた学生を受け入れます。

(1) データサイエンスを学ぶ上で必要な知識

(2) 社会・企業・組織が持つ課題を発見し、その解決策を見出そうとするための思考力

(3) 社会・企業・組織が持つ課題を発見し、その解決策を見出し、実行しようとする意欲

◆特色

・選べる分野（経営、マーケティング、会計）

・自ら課題を発見する能力

・実践力を高める演習科目

◆就職先の分野

・情報通信業分野

・サービス業分野

・運輸業分野

・金融・保険業分野

・卸売・小売業分野

・製造業分野

・不動産業分野

・教育分野 など

◆学費（初年度）

学外

卒業生(内部)

◆同じ学問分野がある近隣の大学（参考）

入学金

100,000円

0円

・産業能率大学 大学院総合マネジメント研究科 総合マネジメント専攻

授業料

500,000円

500,000円

・関東学院大学 大学院経済学研究科経営学専攻

施設設備費

100,000円

100,000円

・神奈川大学 大学院経営学研究科国際経営専攻

周遊会費

10,000円

0円

・東京経済大学 大学院経営学研究科経営学専攻

〈合計〉

710,000円

600,000円

・和光大学 大学院社会文化融合研究科社会文化論専攻

—学生確保（本文）—28—

(4) 新設組織の定員設定の理由

商学研究科商学専攻の入学定員は 5 名とし、基礎となる学部である商学部からの進学者を想定している。

本研究科の設置目的は、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を解決するにあたり、分散されたデータから知見を得て、実践的・実務的な環境に応じて、本質的に効果的な真の方策を見出し、データ社会の持つ倫理的な課題にも十分に配慮し、意思決定、政策実行を高い次元に引き上げる人材をつくり出すことである。これは、データサイエンスの知見を中小規模のビジネスの現場に導入することのできる、より経営の実践を重んじた人材であり、基礎となる学部が中心としてきた商学（経営戦略論・マーケティング・会計学）で得られる知見・価値をデータ利活用で活かそうとするものである。

研究科への内部進学者を確保するために、専任教員は学部レベルの経営、マーケティング、会計、統計、データサイエンスを担当する教員を中心に構成し、基礎となる商学部との連続性を高め、より専門分野の知見の幅を広げ、深めるための教員を配置および教育課程編成とした。

このことは、本学位プログラムの学位分野である商学関係およびデータサイエンス関係を担保しつつ、経営、マーケティング、会計、スポーツ、観光など多様な学問分野をカバーし、それらの学問分野を実社会に応用・展開していく力が養成するという本研究科の目的を示すものであり、従来の大学院が有していた専門知識の深化や学問的探究に加え、実社会への応用・展開やそれを遂行する実践力の養成という要素をより強調する。

本学商学部から他大学への大学院進学者数（進学率）の過去 3 年間の実績は、2020（令和 2）年 2 名（0.7%）、2021（令和 3）年 3 名（0.9%）、2022（令和 4）1 名（0.3%）になっている。

さらに、本研究科への学内からの進学意向として、本学が第三者機関に依頼して行ったアンケート調査の結果において、本学の 3 年次生の進学希望者数は本研究科の入学定員 5 名を 13 名と大きく上回っている。

また、本学が立地する神奈川県や横浜市において、横浜市は 2022 年 9 月に「横浜 DX 戦略」を策定・公表し、「行政の DX」、「地域の DX」、「都市の DX」の推進に取り組むことを表明している。さらに、2022 年度から 27 年度までの 6 年間を計画期間とする「横浜市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略」も策定している。

実際に、横浜市に事業所がある企業に対してアンケート調査を実施し、本研究科に対する社会的要請を確認した。その結果、アンケート回答企業は、デジタルトランスフォーメーションの推進への取り組みが進められており、それを担うデータサイエンス分野の人材育成が重視されていることを把握することができ、本研究科の設置することは社会的要請への応えるものであり、内部進学者に対して進学動機につながるものと考ええる。

これらの結果を踏まえ、基礎となる学部の進学状況、教育課程を担う教員組織の編成方針を前提に、立地、社会的要請等の諸条件も考慮して、実質的に充足できる見込みのある最低限の入学定員を 5 名と推定したところである。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目次

新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙1）	2
既設学科等の収容定員の充足状況（別紙2の1）	3
既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）商学科（別紙2の2-1）	4
既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）観光マネジメント学科（別紙2の2-1	5
既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）経営情報学科（別紙2の2-1）	6
既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績（別紙3）	7

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	神奈川県	18,080人	53.8%
2	東京都	10,365人	30.8%
3	千葉県	2,239人	6.7%
4	静岡県	2,065人	6.1%
5	長野県	878人	2.6%
	全 体	33,627人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	神奈川県	101.01%	102.54%	102.00%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	商学部	99.81%	104.86%	103.54%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

申請者が設置する全ての大学等（大学、短期大学、高等専門学校のみ）の既設の学部（短期大学又は高等専門学校は学科）について記載してください。

[illegible]

※上記には、「大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項を適用した場合の学生数及び収容定員充足率を記入してください。その場合は、備考にその内訳を記入してください。
※大学院、専攻科、別科、募集停止を行った学部等については記載不要です。
※行は適宜追加してください。

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	166人	133人	129人	54人	66人	110人
		受験者数	161人	131人	127人	54人	63人	107人
		合格者数	48人	21人	12人	37人	50人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	3人	2人	1人
	実人数	志願者数	166人	133人	129人	54人	66人	110人
		受験者数	161人	131人	127人	54人	63人	107人
		合格者数	48人	21人	12人	37人	50人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	3人	2人	1人
	入学者数		46人	21人	12人	34人	48人	32人
学校推薦型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	149人	177人	189人	105人	122人	148人
		受験者数	149人	177人	189人	105人	122人	148人
		合格者数	145人	173人	186人	105人	122人	146人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	5人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	149人	177人	189人	105人	122人	148人
		受験者数	149人	177人	189人	105人	122人	148人
		合格者数	145人	173人	186人	105人	122人	146人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	5人	0人	0人	1人
	入学者数		145人	171人	181人	105人	122人	145人
一般選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	236人	331人	198人	109人	101人	195人
		受験者数	210人	311人	181人	95人	95人	178人
		合格者数	14人	7人	11人	54人	45人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	6人	10人	40人	34人	20人
	実人数	志願者数	221人	297人	191人	107人	95人	182人
		受験者数	196人	279人	178人	93人	89人	167人
		合格者数	14人	7人	11人	54人	45人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	6人	10人	40人	34人	20人
	入学者数		4人	1人	1人	14人	11人	6人
共通テスト利用入試	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	125人	115人	56人	43人	29人	74人
		受験者数	125人	115人	56人	43人	29人	74人
		合格者数	15人	4人	3人	11人	12人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	4人	3人	10人	11人	8人
	実人数	志願者数	125人	115人	56人	43人	29人	74人
		受験者数	125人	115人	56人	43人	29人	74人
		合格者数	15人	4人	3人	11人	12人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	4人	3人	10人	11人	8人
	入学者数		4人	0人	0人	1人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	41人	75人	46人	21人	15人	40人
		受験者数	37人	72人	46人	19人	15人	38人
		合格者数	15人	15人	4人	14人	8人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	2人	0人	5人	0人	2人
	実人数	志願者数	41人	75人	46人	21人	15人	40人
		受験者数	37人	72人	46人	19人	15人	38人
		合格者数	15人	15人	4人	14人	8人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	2人	0人	5人	0人	2人
	入学者数		12人	13人	4人	9人	8人	9人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	717人	831人	618人	332人	333人	566人
		受験者数	682人	806人	599人	316人	324人	545人
		合格者数	237人	220人	216人	221人	237人	226人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	14人	18人	58人	47人	33人
	実人数	志願者数	702人	797人	611人	330人	327人	553人
		受験者数	668人	774人	596人	314人	318人	534人
		合格者数	237人	220人	216人	221人	237人	226人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	26人	14人	18人	58人	47人	33人
	入学者数		211人	206人	198人	163人	190人	194人

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平 均
入 学 定 員	145人	145人	145人	145人	145人	145人
入 学 定 員 充 足 率	1.46	1.42	1.37	1.12	1.31	1.34
歩 留 率	0.89	0.94	0.92	0.74	0.80	0.86

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
学科毎の募集人員は設けていないため、若干名と同様の0を記入している。

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	80人	43人	25人	19人	20人	37人
		受験者数	79人	41人	24人	18人	20人	36人
		合格者数	27人	12人	7人	16人	11人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	80人	43人	25人	19人	20人	37人
		受験者数	79人	41人	24人	18人	20人	36人
		合格者数	27人	12人	7人	16人	11人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	2人	0人	1人
	入学者数		26人	12人	7人	14人	11人	14人
学校推薦型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	45人	38人	44人	27人	38人	38人
		受験者数	44人	38人	44人	27人	38人	38人
		合格者数	43人	38人	44人	27人	38人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	45人	38人	44人	27人	38人	38人
		受験者数	44人	38人	44人	27人	38人	38人
		合格者数	43人	38人	44人	27人	38人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		43人	38人	44人	27人	38人	38人
一般選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	65人	120人	27人	31人	50人	59人
		受験者数	62人	112人	24人	27人	50人	55人
		合格者数	29人	16人	9人	26人	47人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	8人	8人	18人	35人	17人
	実人数	志願者数	50人	86人	21人	29人	47人	47人
		受験者数	49人	82人	19人	26人	47人	45人
		合格者数	29人	15人	9人	26人	47人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	7人	8人	18人	35人	17人
	入学者数		12人	8人	1人	8人	12人	8人
共通テスト利用入試	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	24人	25人	14人	15人	16人	19人
		受験者数	24人	25人	14人	15人	16人	19人
		合格者数	4人	6人	5人	12人	14人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	6人	4人	12人	11人	7人
	実人数	志願者数	24人	25人	14人	15人	16人	19人
		受験者数	24人	25人	14人	15人	16人	19人
		合格者数	4人	6人	5人	12人	14人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	6人	4人	12人	11人	7人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	3人	1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	15人	18人	14人	0人	2人	10人
		受験者数	14人	15人	14人	0人	2人	9人
		合格者数	4人	4人	0人	0人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	15人	18人	14人	0人	2人	10人
		受験者数	14人	15人	14人	0人	2人	9人
		合格者数	4人	4人	0人	0人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	4人	0人	0人	0人	1人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	229人	244人	124人	92人	126人	163人
		受験者数	223人	231人	120人	87人	126人	157人
		合格者数	107人	76人	65人	81人	110人	88人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	24人	14人	12人	32人	46人	26人
	実人数	志願者数	214人	210人	118人	90人	123人	151人
		受験者数	210人	201人	115人	86人	123人	147人
		合格者数	107人	75人	65人	81人	110人	88人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	24人	13人	12人	32人	46人	25人
	入学者数		83人	62人	53人	49人	64人	62人

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平 均
入 学 定 員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入 学 定 員 充 足 率	1.19	0.89	0.76	0.70	0.91	0.89
歩 留 率	0.78	0.83	0.82	0.60	0.58	0.72

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
学科毎の募集人員は設けていないため、若干名と同様の0を記入している。

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	44人	70人	57人	29人	45人	49人
		受験者数	41人	69人	57人	28人	45人	48人
		合格者数	16人	28人	2人	23人	27人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	44人	70人	57人	29人	45人	49人
		受験者数	41人	69人	57人	28人	45人	48人
		合格者数	16人	28人	2人	23人	27人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		15人	28人	2人	23人	27人	19人
学校推薦型選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	28人	20人	105人	49人	49人	50人
		受験者数	28人	20人	105人	49人	49人	50人
		合格者数	27人	20人	104人	49人	49人	50人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	28人	20人	105人	49人	49人	50人
		受験者数	28人	20人	105人	49人	49人	50人
		合格者数	27人	20人	104人	49人	49人	50人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		27人	20人	104人	49人	49人	50人
一般選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	83人	255人	121人	66人	67人	118人
		受験者数	72人	236人	110人	58人	65人	108人
		合格者数	48人	53人	12人	38人	49人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	33人	11人	27人	38人	26人
	実人数	志願者数	73人	167人	102人	57人	53人	90人
		受験者数	64人	156人	95人	54人	52人	84人
		合格者数	48人	47人	12人	38人	49人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	27人	11人	27人	38人	24人
	入学者数		29人	20人	1人	11人	11人	14人
共通テスト利用入試	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	46人	44人	52人	35人	26人	41人
		受験者数	46人	44人	52人	35人	26人	41人
		合格者数	7人	20人	5人	18人	16人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	15人	5人	16人	13人	11人
	実人数	志願者数	46人	44人	52人	35人	26人	41人
		受験者数	46人	44人	52人	35人	26人	41人
		合格者数	7人	20人	5人	18人	16人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	15人	5人	16人	13人	11人
	入学者数		2人	5人	0人	2人	3人	2人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	19人	0人	2人	2人	2人	5人
		受験者数	17人	0人	2人	2人	2人	5人
		合格者数	4人	0人	0人	0人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	19人	0人	2人	2人	2人	5人
		受験者数	17人	0人	2人	2人	2人	5人
		合格者数	4人	0人	0人	0人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		2人	0人	0人	0人	1人	1人
合計	募集人員		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	220人	389人	337人	181人	189人	263人
		受験者数	204人	369人	326人	172人	187人	252人
		合格者数	102人	121人	123人	128人	142人	123人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	48人	16人	43人	51人	37人
	実人数	志願者数	210人	301人	318人	172人	175人	235人
		受験者数	196人	289人	311人	168人	174人	228人
		合格者数	102人	115人	123人	128人	142人	122人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	42人	16人	43人	51人	36人
	入学者数		75人	73人	107人	85人	91人	86人

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平 均
入 学 定 員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入 学 定 員 充 足 率	0.94	0.91	1.34	1.06	1.14	1.08
歩 留 率	0.74	0.63	0.87	0.66	0.64	0.71

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
学科毎の募集人員は設けていないため、若干名と同様の0を記入している。

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：横浜商科大学商学部のオープンキャンパス

	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	520人	1140人	①取組概要 受験希望者を対象にキャンパスを開放し、商学部の3学科の特色や求める人材像を紹介、模擬授業、模擬面接、学生との交流、キャンパスツアー、個別相談を実施。 R5年度入試（R4開催）：6回(6/11. 7/23/7/29. 7/30/8/20. 9/3) R4年度入試（R3開催）：5回(6/20. 7/25. 8/1. 8/22. 9/12)※内8/1. 8/22. 9/12はオンライン) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 総合型および学校推薦型の受験希望者の参加割合が多い傾向にある。R3開催ではコロナ禍の影響により参加者数が減少。実質値はR4開催程度。参加者総数を1400人以上、受験者対象数950人以上を目標とすることによって、入学者数300名以上が見込めると考えている。 ③受験対象者数以下は詳細な記録がないことから、R5年実施の実績から、参加者の7割、受験者数、入学者数は総合型と学校選抜の9割の設定で算出し見込を計画している。
うち受験対象者数 (b)	350人	800人	
うち受験者数 (c)	250人	300人	
うち入学者数 (d)	220人	260人	
(受験率 c/b)	71. 4%	37. 5%	
(入学率 d/b)	62. 9%	32. 5%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：横浜商科大学商学部の大学案内の配付（郵送）

	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	13000人	11000人	①取組概要 本学HPおよび進学媒体(Webと冊子)を利用して資料請求した受験生に対し大学案内を配付。資料請求者の内、神奈川、東京、静岡の3年生にオープンキャンパスの案内を配付。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 進学媒体による広報活動には入学率において6. 3、5. 2程度の効果がある。今後はWeb広告を活用して、参加者総数12000人以上、オープンキャンパスへの誘客をおこない入学率を5%以上として入学者数300以上を見込む。 ③受験対象者数は資料請求した3年生の総数。受験者数、入学者数は実績の9割に設定し見込を計画している。
うち受験対象者数 (b)	5000人	4900人	
うち受験者数 (c)	500人	570人	
うち入学者数 (d)	260人	310人	
(受験率 c/b)	10. 0%	11. 6%	
(入学率 d/b)	5. 2%	6. 3%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：横浜商科大学商学部の高校でのガイダンス参加

	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	900人	1000人	①取組概要 進学媒体会社が主催する高校でのガイダンスに参加。100校を目標に2名体制で実施。商学部の特色や受験対策、キャンパスでおこなうイベントを案内を実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 高校でのガイダンスは、受験希望者がいる確率が高いが、他大学と比較するため、参加する高校を増やすことで、受験対象者数と入学者数を増やすことを見込む。 ③受験対象者数は、ガイダンス参加した3年生の総数。受験者数、入学者数は学校推薦型の9割に設定し見込を計算している。
うち受験対象者数 (b)	800人	900人	
うち受験者数 (c)	170人	180人	
うち入学者数 (d)	150人	160人	
(受験率 c/b)	21. 3%	20. 0%	
(入学率 d/b)	18. 8%	17. 8%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)			
(入学率 d/b)			

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度 入学者入試	R5年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
(受験率 c/b)			
(入学率 d/b)			

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	ハダ イサオ 羽田 功 ＜令和6年4月＞		文学修士		横浜商科大学学長 (令和6.4～令和10.3)

教 員 の 氏 名 等												
（商学研究科商学専攻）												
調書 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目 の名称	配 年 次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る研 究科等の職務 に従事する 週当たり平均 日 数
1	専	教授 (研究科長)	タナカ タツオ 田中 辰雄 ＜令和7年4月＞		学士（教養）※		データアナリシス1 データアナリシス2	1前 1後	2 2	1 1	横浜商科大学 商学部経営情報学科 教授 (令5.4)	5日
							データサイエンスと商学 演習1 演習2 演習3	1前 1後 2前 2後	2 2 2 2	1 1 1 1		
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
2	専	教授	ウキタ ヨシフミ 浮田 善文 ＜令和7年4月＞		博士（工学）		プログラミング論 データ処理論	1前 1後	2 2	1 1	横浜商科大学 商学部経営情報学科 教授 (平13.4)	5日
							機械学習論 演習1 演習2 演習3	1後 1後 2前 2後	2 2 2 2	1 1 1 1		
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
3	専	教授	トモオカ ススム 友岡 賛 ＜令和7年4月＞		博士（商学）		会計情報論	1後・2前	4	2	横浜商科大学 商学部 教授 (令6.4)	5日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
4	専	教授	ハラ イクヨ 原 郁代 ＜令和7年4月＞		博士（法学）		経営分析論	2前	2	1	横浜商科大学 商学部商学科 教授 (令5.9)	5日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
5	専	教授	ヒライ ユウコウ 平井 友行 ＜令和7年4月＞		博士（政策研究）		経営とデータサイエンス	1前	2	1	わかもと製菓株式会社 (令5.4)	3日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1	わかもと製菓株式会社 (令5.4)	4日
6	専	教授	マツシマ トモコ 松嶋 智子 ＜令和7年4月＞		博士（工学）		情報セキュリティ論	1前	2	1	横浜商科大学 商学部経営情報学科 教授 (令3.4)	5日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
7	専	教授	モロカミ(トウカイ) シホ 諸上(東海) 詩帆 ＜令和7年4月＞		博士（商学）		組織行動論1 組織行動論2	1後・2前 2前	4 2	2 1	横浜商科大学 商学部商学科 教授 (平26.4)	5日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
8	専	教授	ヤナギダ ヨシツグ 柳田 義継 ＜令和7年4月＞		博士（経営学）		ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動	1後・2前	4	2	横浜商科大学 商学部経営情報学科 教授 (平16.4)	5日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
9	専	准教授	シブセ マサヒコ 渋瀬 雅彦 ＜令和7年4月＞		博士（経営学）		データモデリング マーケティングリサーチ特論 演習1 演習2 演習3	1前 1後・2前 1後 2前 2後	2 4 2 2 2	1 2 1 1 1	横浜商科大学 商学部観光マネジメント学科 准教授 (令3.4)	5日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		

10	専	准教授	ナガノ トモヒサ 永野 智久 ＜令和7年4月＞		博士（学術）		スポーツアナリティクス特論	1後・2前	4	2	横浜商科大学 商学部経営情報学科 准教授 （平31. 4）	5日
							研究指導（修論指導）1 研究指導（修論指導）2	2前 2後	2 2	1 1		
11	その他	准教授	タカガキ ケン 高柿 健 ＜令和7年4月＞		博士（経営学）		経営戦略論	1後・2前	4	2	城西大学 経営学部マネジメント総合学科 准教授 （平成30. 4～令和6. 3） 星槎大学 共生科学部 非常勤講師 （平成30. 4） 早稲田大学 スポーツ科学研究センター 招聘研究員 （令和6. 4）	

